

105
合40
30

新編武藏風土記稿

久我岐那

二千三
千四

新篇武藏風土記稿

久良岐郡 卷四之
卷六

十三

105
30

館書圖京東				
八	一	一	一	一
冊	號	架	函	類門

新編武藏風土記稿卷之七十六目錄

久良岐郡之四

金澤領

谷津村

富岡村

坂本村

氷取澤村

金井村

吉原村

柴村

宿村

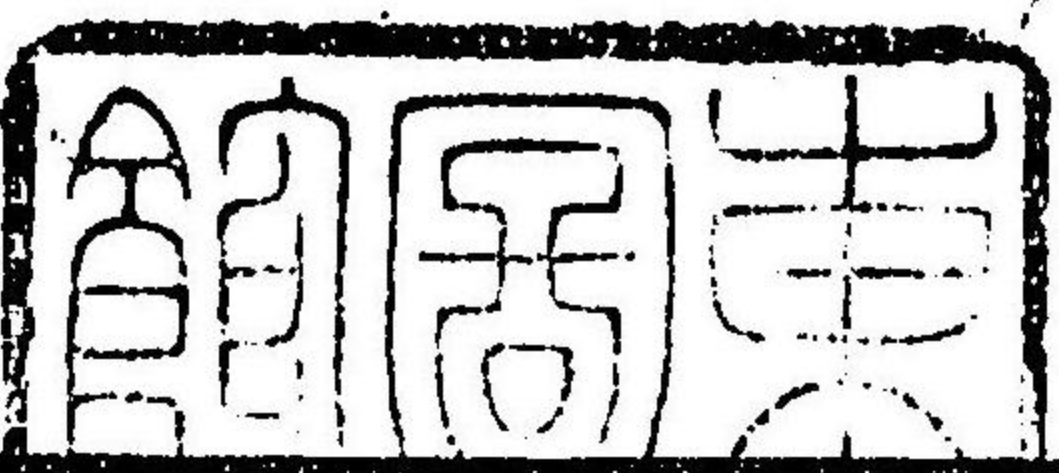
赤井村

宮谷村

宮下村

新編武藏風土記稿卷之七十六

久良岐郡之四



金澤領

谷津村

谷津村ハ郡ノ南ニアリ六浦庄ニ屬ス江戸日本橋ヨリ十二里餘民戸二十軒東ヨリ南ニアタリテス寺前町屋柴ノ三村西ハ赤井村北ハ富岡村ナリ東西へ十丁南北十二三丁西北ハ山谷打交リ土地不平ナリ土症ハ赤土山ニヨリシ處ハヘナ岩等モアリ水陸ノ田圃ノ等分谷津川及所々ノ谷水ヲ用水トナセト早損アリ村内ニ一條ノ往還アリ鎌倉及浦賀へノ街道ニテコレ鎌倉ノ古街道ナリ北方田圃ノ傍ニ染井ト云井アリ水イト濁リ赤キ色ナリ古クハ此水ニテ物ヲ染メシニカキ色トナレリ故ニ名トス土人ノ話ナリ又弘法大師ノ堀リシ井トモ云金澤五井ノ一ナリ村民農桑ノ暇ニハ薪ヲ伐リ鹽燒場ニ持行テ鬻ケリ御入國ノ後御料所トナリ正保ノ頃ハ八木次郎右衛門カ支配トナリ寛文ノ初久世大和守廣之ニ賜ヒ後倉橋某ニ替賜ハリ子孫内匠カ知ル所也

高札場村ノ北方小名谷コアリ

小名

白井崎赤井村ナリカヒテ云

白方東方ナリ

蘆荻戸北ナリ

コウシ谷北ヨリ

關谷コシ

ケリ 横 染井 北ヨリ 越ケルミ 北方 六段目 西北 トケ山 並ヒ 寺山 北方

谷津川 流シテ 瀬ノ 入海 ヲ 沃ケリ

山王社 洲崎村 小名野 島善應寺 小持

淺間社 年貢地 當村 及赤井村 ノ 境ヲ 持リ

能見堂 寺ノ 末裔 筆山 通スル 街ノ 傍ニ 本堂 二間 半四 方南 向本 尊地 瀨川 此千 駄ケ 谷白

日長卿 詩基ニ 出金澤 上文ニ 據ニ 稱名 寺ナリ 其不 甚佳 相傳 曰高 頂山 々々 年々 之

院ト云 嶺岳 寺ヲ 引移シ 今再 興シ 今ノ 堂ハ 寬永 三頃 地頭 久世 氏江 戸芝 増上 寺ト 見ユ 當時

高輪泉 岳寺 預トナリ 又今 再興 今ノ 堂ハ 寬永 三頃 地頭 久世 氏江 戸芝 増上 寺ト 見ユ 當時

云能見 堂ノ 異ト 記スル 此ヨリ 正保 國圖 寺ハ 三ノ 末ニ 轉セシ 五代 前僧 俊達 山ト 見ユ 當時

シカ筆 力及ハ 夜於 御前 傍ニ 召テ 筆ヲ 拾フ 今ノ 堂ハ 寬永 三頃 地頭 久世 氏江 戸芝 増上 寺ト 見ユ 當時

大納言 ト云 繪ノ 上ナリ 内田 信濃 守ヲ 召テ 筆ヲ 拾フ 今ノ 堂ハ 寬永 三頃 地頭 久世 氏江 戸芝 増上 寺ト 見ユ 當時

ハケト 如何 拾フ 筆ヲ 拾フ 今ノ 堂ハ 寬永 三頃 地頭 久世 氏江 戸芝 増上 寺ト 見ユ 當時

ハケト 如何 拾フ 筆ヲ 拾フ 今ノ 堂ハ 寬永 三頃 地頭 久世 氏江 戸芝 増上 寺ト 見ユ 當時

ハケト 如何 拾フ 筆ヲ 拾フ 今ノ 堂ハ 寬永 三頃 地頭 久世 氏江 戸芝 増上 寺ト 見ユ 當時

ハケト 如何 拾フ 筆ヲ 拾フ 今ノ 堂ハ 寬永 三頃 地頭 久世 氏江 戸芝 増上 寺ト 見ユ 當時

ハケト 如何 拾フ 筆ヲ 拾フ 今ノ 堂ハ 寬永 三頃 地頭 久世 氏江 戸芝 増上 寺ト 見ユ 當時

ハケト 如何 拾フ 筆ヲ 拾フ 今ノ 堂ハ 寬永 三頃 地頭 久世 氏江 戸芝 増上 寺ト 見ユ 當時

ハケト 如何 拾フ 筆ヲ 拾フ 今ノ 堂ハ 寬永 三頃 地頭 久世 氏江 戸芝 増上 寺ト 見ユ 當時

ハケト 如何 拾フ 筆ヲ 拾フ 今ノ 堂ハ 寬永 三頃 地頭 久世 氏江 戸芝 増上 寺ト 見ユ 當時

ハケト 如何 拾フ 筆ヲ 拾フ 今ノ 堂ハ 寬永 三頃 地頭 久世 氏江 戸芝 増上 寺ト 見ユ 當時

ハケト 如何 拾フ 筆ヲ 拾フ 今ノ 堂ハ 寬永 三頃 地頭 久世 氏江 戸芝 増上 寺ト 見ユ 當時

ハケト 如何 拾フ 筆ヲ 拾フ 今ノ 堂ハ 寬永 三頃 地頭 久世 氏江 戸芝 増上 寺ト 見ユ 當時

ハケト 如何 拾フ 筆ヲ 拾フ 今ノ 堂ハ 寬永 三頃 地頭 久世 氏江 戸芝 増上 寺ト 見ユ 當時

ハケト 如何 拾フ 筆ヲ 拾フ 今ノ 堂ハ 寬永 三頃 地頭 久世 氏江 戸芝 増上 寺ト 見ユ 當時

ハケト 如何 拾フ 筆ヲ 拾フ 今ノ 堂ハ 寬永 三頃 地頭 久世 氏江 戸芝 増上 寺ト 見ユ 當時

ハケト 如何 拾フ 筆ヲ 拾フ 今ノ 堂ハ 寬永 三頃 地頭 久世 氏江 戸芝 増上 寺ト 見ユ 當時

ハケト 如何 拾フ 筆ヲ 拾フ 今ノ 堂ハ 寬永 三頃 地頭 久世 氏江 戸芝 増上 寺ト 見ユ 當時

能見堂圖



一モ跡 此ハ千 其ノ 時ナリ 平地 拾テ 成テ 影更ニ 置ル 此ハ 仁ケル 堂ト 名付 又一 此山 堂ト 能建 見テ 寫シ 仁ケル 堂ト 名付 又一 此山 堂ト 能建 金岡 慶長 九年 御時 承和 頃ホ 成ニ 慶長 九年 御時 承和 頃ホ 成ニ 慶長 九年 御時 承和 頃ホ 成ニ

詩歌ト號シ皆人賞ヒ給ヘリ八景ハ何所ヲ指テ名付ヤラシク答テ八景ノ詩歌ニシテ瀟湘夜雨ハアレニ見エタル小泉ト云在所ナリ晴天ノ夜モ必雨灑ク今モ夜雨ノ名勝トス洞庭秋月ハ向ヒノ原今稱名寺ノ出芝村ノ南邊ナリ源村ノ夕照ハ瀨戸明神祠邊ナリ江天暮雪ハ野嶋洲崎村ノ内返坂帆ハ室ノ木六浦分村ノ内山市明嵐ハ峠今六浦ノ西ニ相州峠アリ平沙落雁ハ平方今モ同遠寺晚鐘ハ稱名寺是亦今同是タ八景ト號ス云々是ニ據ハ慶長ノ頃八景ノ詩歌有ナラシム今ハ傳ヘス亦此庵ニ傳フル所ハ元祿ノ頃心越禪師ノ詩及京極兵部高門ノ和歌アリ八景ノ諸題モ少異アリ洲崎晴嵐瀨戸秋月小泉夜雨乙鐘歸帆稱名晚鐘平瀉落雁野嶋夕照内川暮雪是ナリ其方位ハ勝景圖ト照シ覽テ今古ノ逸ヲ知ヘシ心越高門ノ詩歌左ニ載ス

洲崎晴嵐

滔々驟浪斂餘暉。滂々狂波透竹扉。市後日斜人靜悄。行雲流水自依依。

賑ヘルスサキノ里ノ朝ケフリ晴ル、嵐ニタタル市人

瀨戸秋月

清瀨涓々不繫舟。風傳虛籟正中秋。廣寒桂子香飄處。共看氷輪島際浮。

ヨル浪ノ瀨戸ノ秋風小夜フケテ千里ノ沖ニスメル月影

小泉夜雨

暮雨淒涼夢亦驚。甘泉汨々聽分明。蓬窓淹蹇無相識。勝斷君山鐵笛聲。

カヂマクフラトマモル雨モ袖カケテ涙フル江ノムカシヲ思フ

乙艦歸帆

朝宗萬派遠連天。無恙輕帆掛日邊。欸乃高歌落雪外。依稀數艇到洲崎。

沖津船ホノカニ見シモトル楫ノオトモノ浦ニカヘル夕ナミ

稱名晚鐘

夙昔名藍成覺地。華鐘晚扣若鯨音。幽明聞者咸生悟。一片迷離祇樹林。

ハルケシナ山ノ名ニオフカ子澤ノ霧ヨリモル、入アヒノ聲

平瀉落雁

列陣冲冥堪入塞。荻蘆蕭瑟幾成隊。飛鳴宿食恁棲遲。千里傳書誰不愛。

跡トムル眞砂ニ文字ノ數ソヘテ鹽ノ干瀉ニ落ル鴈カ子

野島夕照

猶羨漁翁是作家。持竿盪槳日西斜。網得魚來沽酒飲。披簑高臥任堪誇。

夕日サス野島ノ浦ニホスアミノメナラフ里ノアマノ家々

内川暮雪

廣陌長堤竟沒潛。奇花六出似鋪練。渾然玉砌山河色。遍覆奇峯露些尖。

木陰ナク松ニムモレテクル、トモイサシラ雪ノミナト江ノソラ

寶物 心越禪師自畫讚一軸醫師多喜安長納メ

落魄巖阿愚且痴。那堪東後作人師。一輪荷玉分流去。便是轉功就位時。新豐曲舊生涯。得得還須獅子兒。

金澤八景詩歌卷一軸詩歌上

澤庵和尚和歌一軸嶋々ヤ幾浦カケテヤマト哥

魔像一軀久世大和守廣之

千手觀音一軀コノ像ハ播州明石城主松平左兵衛督

衛管ヨリ與ヘシト明石丸社ノ額モコノ僧ノ筆ナリト云

正觀音二尺許ノ立像

三十三所 筆拾松堂ノ前一段高ク其上平ナル所ニアリ三圍許コテ其様ヨキ松ノ一ナリ

佳景ヲ寫サント筆ヲ採シカ筆コ及ハストテ筆ヲ拾テ置テ師獨筆之筆ノ時アリ文明十八年ノ作

登登匍匐路攀高。景集大成忘却勞。秀水奇山雲不裏。畫師絕倒擲秋毫。

阿彌陀堂村ノ東ヨリ

夫婦松筆拾松ヨリ東方一丁許ヲ經海道ノ南傍ナリ古松二株アリ土人村君

塚村ノ北ノ方山上コアリ塚上ニ古松一株タ

柴村

柴村ハ郡ノ東方ニ寄り庄名前ニ同シ江戸ヨリ十二里或ハ小柴村トモ云東南ハ海ニ濱シ其内南ヨリ西ニヨリテハ寺前村又東北ハ富岡村西ニハ谷津村少シク係レリ東西十四丁許南北ハ一里ニ及ヘリコノ内小名長濱トイヘル處若干ノ地海面ニ張出セル山ナリ山上ハ路峻嶮タレハ潮干タル時ハ山裾ヲ往來セリ民戸五十軒土症ハ眞土砂交リ野土ノ所モアリ水陸ノ田圃等分水旱共ニ患アリ御入國ノ後御料所ニテ正保ノ頃ハ八木次郎右衛門支配セリ後私領トナリ今ハ荒川新右衛門知行ス

高札場山ヨリ居村ノ方ハ

小名 オドリ坂居村ノ方 長濱東南ノ濱 西 東共ニ在所文

熊野權現社除地小名西ニアリ村ノ鎮守ナリ石階十五間程ヲ上テ社ニ至ル社ハ二間四方南向社邊神木ノ古松樹一株アリ例祭十一月九日村內寶藏院持

末社辨財天稻荷相殿坂上向テ左

神明社除地居村ノ東方ナリ此邊テ小名上ノ山或ハ東

御靈社除地寶藏院ノ後ニアリ小社西

水神社除地海道ノ内權現

稻荷社除地神明社ノ傍

寶藏院除地居村ノ内ニアリ古義具官宗洲崎村龍源寺ノ末柴木山西方寺ト號ス本

三日寂ス當寺元祿年中別ニ堂ヲ撰テ安ス開山ヲ傳ヘス中興開山傳者寶永七年十月十

營其後傳者借近里之力再修功畢元祿二年事寶藏院初號貞光坊中古改之寶藏院

其後法印欲點寺院於此地此邊傳惠ヨリ六代今寺地本御靈之社此地後今ノ地ニ移

年中傳者之記ト云今尋村里古老記元祿三年孟陽日阿彌陀堂本堂ノ南ニアリ

阿彌陀ナリ坐像二尺五寸許

舊蹟山王社跡除地居村ノ東北ニアリ小名山王山ト云今ハ

山神社跡除地山王社蹟ノモヨリニア

富岡村

富岡村ハ郡ノ東ニテ少ク巽ヨリニアリ庄名及江戸日本橋ヨリノ行程前ニ同シ四境東ハ海涯ニ限リ南ハ柴村ニ隣リ坤ハ谷津村ニテ西ハ中里氷取澤ノ二村ニ錯リ北ハ

杉田村ナリ三方共接堺ハ山々連リテ定カナラス東西凡二十丁南北二十四丁餘村ノ

形菱ノ如クニテ良ノ方斜ニ海中ヘサシ出タル山アリ是杉田村境ノ山續ナリ地形海

涯ヨリ居村ノ邊マテハ平地ニテ其餘ハ總テ山丘ナリ東ノ方海岸ハ波荒クシテヤ、

モスレハ岸ヲ打崩セリ土性白眞土或ハ赤野土又砂交ノ所アリ水陸ノ田大抵等シト

イヘト陸田ノ方少ク多シ水利不便ニテ旱損アリ民戸八十五軒所々ニ散住セリ此邊

ノ海路御用ノ船通行セル時ハ村民浦觸等ノ役ヲ勤メリ又村内ニ往還アリ金澤往來

ニシテ中里氷取澤兩村ノ境ヲ過キ谷津村内能見堂ノ前ヨリ金澤ニ達ス村ニ係ルコ

ト五六丁幅三間或ハ二間又海涯ヲ行テ杉田村ニ出ル道アレト潮盈タルトキハ往來

ヲセス村民農耕ノ隙ニハ薪ヲトリ又ハ漁獵ヲナシテ生産ヲ資ク村内ニ古ヨリ船六

艘ヲ免許アリテ稅ヲ出サス北條役帳ニ富岡ノ内百貫文關新次郎知行トアリ御打入

ノ後文祿四年豐島刑部少輔ニ賜リシカ寛永五年八月沒收セラレシ後八木勘十郎ニ

賜ヒ正保ノ郷帳ニハ既ニ勘十郎カ知行ト載タリ其後八木十三郎カ時元祿十一年五

月二十六日上リテ御料所トナリ伊奈半左衛門辻源五郎久保田十左衛門池田新八郎

飯塚伊兵衛等相續テ支配シ後稻葉某杉浦某ノ二人ニ賜リ今其子孫稻葉遠江守杉浦

八郎五郎知行ス檢地ハ寛文七年八木勘十郎糺セリ

ア 豊島刑部少輔信満墓 境内西北ノ方ニアリ五輪ノ石塔ニテ文字漫滅ス信満ハ御當家へ召出サレ旗下ノ士ニ列ス元和元年大坂ノ役ニ御使番ヲ勤メ同キ三年御目付役ヲ命セラルル地千七百石ヲ賜テ寛永五年八月十日發中ニ於テ井上主計頭正就ヲ寄セシ故其坐ニ越祖素英ト云

寶樹院 除地村ノ中程ニアリ同末知福山ト號ス本堂六間ニ五間巽向本尊大日ノ立フ 聖天社 本堂ノ東北ノ方 持明院 除地小名谷ニアリ是モ同末海照山ト號ス本堂五 聖天社 本堂ニアリ西 師堂 境内南ノ方ニアリ本尊大日ヲ置開山開基詳ナラス

長昌庵 除地村ノ東ニアリ土人東ノ寺ト呼禪宗臨濟派建長寺末富岡山ト號スナリ文祿二年閏九月十七日死ス本堂五間ニ六間東向ト尊阿彌陀ノ立像臺坐共二尺三寸餘此本尊ハ前ニ云文祿二年盜賊亂妨セシ時奪去リシカ祟アリレテ以テ再當庵へ返シ安置ス今云今ハ住僧ナシ見ルヘシナル 天神社 社再建セシテ

悟心庵 除地村ノ西ニアリ同末楊伽山ト號ス開山龍洲明曆三年四月十日寂ス本堂五間ニ四間巽向本尊ハ地藏ニテ立像臺坐共長一尺五寸當庵モ今ハ無住ナリ 十王堂 本堂ノ南ニアリ堂中

西源庵 除地同シ方ニアリ同末荷山ト號ス開山擔月寛文六年二月二日寂ス本堂三間ニ五間巽向本尊阿彌陀臺坐共長二尺一寸 阿彌陀堂 除地村ノ中程ニアリ長一尺四寸向三間半四

舊家者百姓太左衛門 柳下氏ナリ祖先ヲ柳下豊後守ト云文祿二年安房上總ノ盜賊其本尊ヲ守護シテアリシニ賊大勢來リ給テ以テ豊後守ニ手統ヲ負セ本尊ヲ奪去レテ此時豊後守賊ノ鎗ヲ取メシトテ今ニ家藏ス大身ノ鎗ナリ其由来ヲ記セ日一死ニテ添置リ豊後守ハ其時ノ手統ニテ今ノ太左衛門ニ至ル

宿村

宿村ハ郡ノ南ノ方瀬戸入海ノ邊ニアリ庄名前ニ同シ郷ハ釜利谷ニ屬ス江戸日本橋ヨリ十二里古ハ當村及赤井坂本三村ヲ合釜利谷郷ト唱ヘ一村ナリシテ後三村ニ分

テリ正保改定ノ國圖ニハ釜利谷郷ト載元祿ノ國圖ニ始テ三村ヲ載タレハ此間分村セシコト知ヘシ釜利谷郷ヲ往古富田郷ト稱セシヨシハ郡ノ總說郷名ノ條ニ辨シタ

レハ合ミルヘシ釜利谷ノ本郷何ノ所ナルヲ知ラサレト爰テ宿村トイヘハモト宿驛ナトアリテ古ク開ケシ所ナラン且當村ニハ文祿年中ノ水帳ヲ持傳フレハカタク此

村其本郷ニテアリシトオモハル土地ノサマ彼三村鼎足ノ如ニシテ中央ニ坂本東南ニ赤井村アリテ其地犬牙シテ接堺定カニ分ナタカシ故ニ四隣廣狹等ハ三村ヲ合テ

爰ニ辨ス東ハ谷津中里ノ二村ニ接シ南ハ六浦平分寺分社家分ノ三村ニ續キ巽ハ入海ニ限り艮ハ氷取澤村ニテ北ハ相模國鎌倉郡上之村西モ同郡峠村ニ隣リ山ノ絶頂

ヲ境トス東西三十丁許南北モ大抵是ニ同シ土性真土砂交リ或ハ赤土等ナリ陸田多

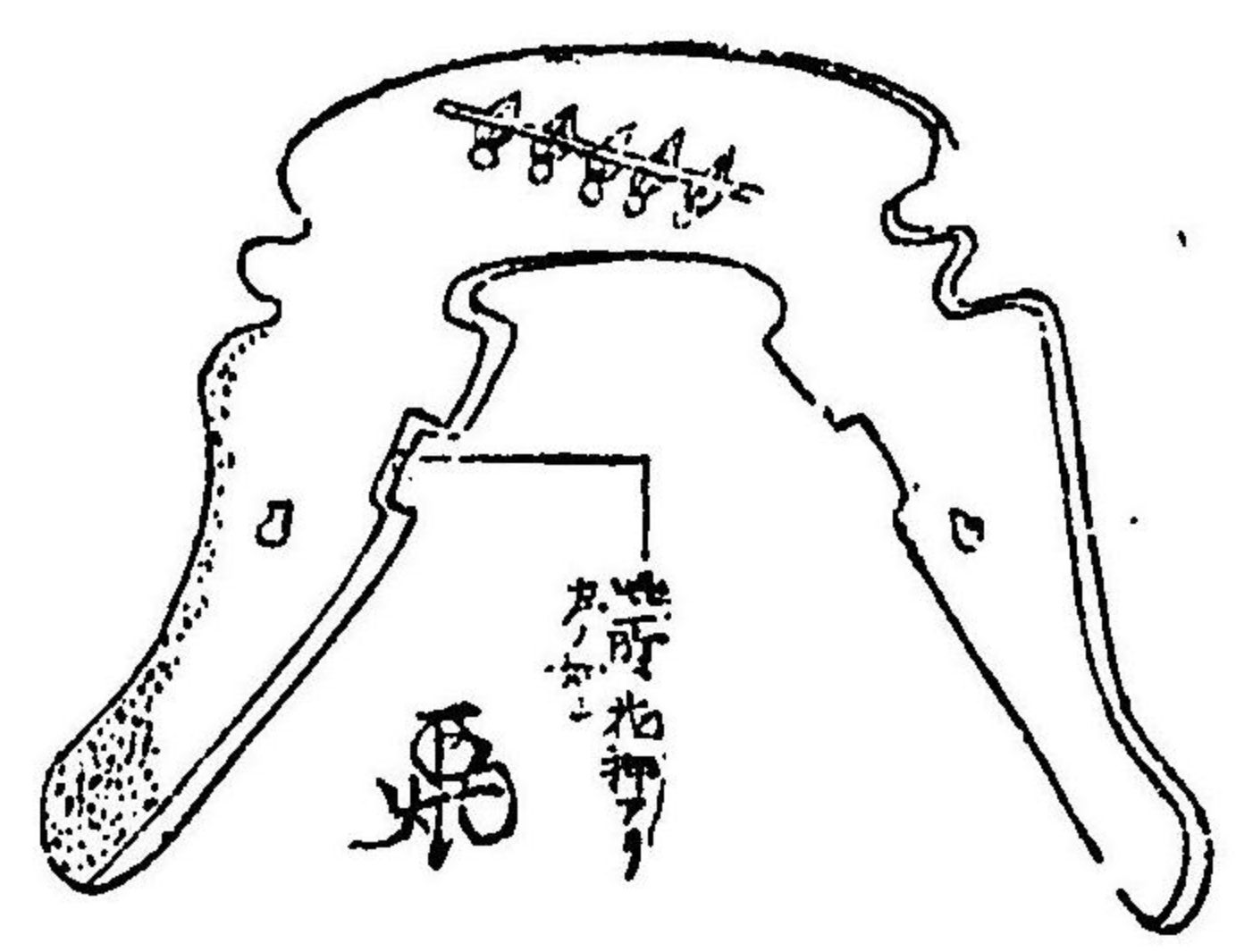
ク水田少シ水利不便ニシテ早損アリ民家八十一軒農隙ニハ薪ヲトリ町屋洲崎等ノ
村々ニ持出鹽燒料トナシテ生産ヲタスク村内ニモ鹽竈アリテ鹽ヲ製ストイヘトモ
トヨリ僅ナレハ他所ヘハ販カス此邊ノ地形東ヨリ南ニヨリテ瀬戸入海アリ西南北
ノ三方ハ山丘連リ其内北ノ方ナル山ハモツトモ高シ隣村谷津村能見堂ヨリ眺望ス
レハ曠濶トシテ風景勝レタリ古人西湖ノ趣アリト賞シテ八景ヲ撰ス村内鹽濱ノ邊
ヲ小泉ノ夜雨ト稱シ則八景ノ一ナリ八景ノコトハ谷津村能見堂ノ條ニ詳ナリ此村
古ノ領主ハ傳ヘサレト稱名寺所藏正慶元年正月十六日武藏守貞將ノ文書及正平二
十六年 正平ハ二十四年ニシテ建徳二年ナリ 二月二十七日右馬頭某ノ文書ニ釜利谷郷
ヲ稱名寺ヘ寄附セシコトヲ載タレハ古ハ彼寺領ナルコト知ヘシ小田原役帳ニ伊丹
右衛門大夫二百五十五貫四百六十二文久良岐郡釜利谷二十三貫五百五十文同所壬
寅檢地増トアリ御打入ノ後御料所ニシテ御代官原田佐左衛門支配シ正保ノ頃ハ八
木次郎右衛門支配セシコト物ニ見ユ其後元祿九年米倉丹後守ニ賜リシヨリ今子孫
丹後守カ領分ナリ檢地ハ原田佐左衛門支配ノ時糺セリト云近キ頃村ノ東入海ノ邊
ニ少ノ新田ヲ開キシカ海ニ近ケレハ自然潮ノ氣アリテ五穀ハ生殖セスト云
高札場小名宮ノ

小名 白山 此寺ノ白山東光寺ト云寺アル故呼ヘリ稱名寺所藏應永年中ノ文書ニ
所ノ東ヨリト云傳フ又小名北谷ノ中程ニモ廢井ニツアリ共ニ弘法大師ノ加持セ
シ井ナリト云傳フ又小名北谷ノ中程ニモ廢井ニツアリ共ニ弘法大師ノ加持セ
宿 北谷 北ノ方コテ山間ノ地ナレハカク唱フ以上三ノ小名ハ村内ヲ三區ニ分
ノ如クナレトコト非ス此小名ノ内ニ又小名アリ左ニ載ス 官前 宿ノ内ナリ赤井
聞エシコトナレ 小泉 巽ノ方ニアリ 六郎谷 白山ノ内ナリ坂本村ニ島山六郎重保
近キ所ナレ 呼 此名アリ 呼 白山ノ内ナリ坂本村ニ島山六郎重保
呼 白山ノ内ナリ坂本村ニ島山六郎重保

林 地頭林ナリ
海 巽ノ方ニテ入海ナ
下元川 村内西ノ方ヨリ流出二丁許ニシ
間他村トモハ釜
溜井 二ヶ所一ハ白山ニテアリ當村及赤井坂本三村
堤 下元川中溝川落合ノ所ヨリ入

山王社 除地白山ニテアリ
白山社 除地是モ白山ニテアリ其所ノ鎮守ナリ小社巽ニ向フ
日月社 除地同ノ邊ナリ山崖ヲ削リテ階ヲ持 ○淺間社 除地宿ニテアリ小社東
○神明社

除地北谷ニアリ是モ小社ニテ東
向例祭九月十六日村內金藏院持
龍神社 除地ハ必ス神罰アリトテ里人等恐レテ伐リト云社地ノ樹木ニ手ヲ觸
東光寺 除地ニハ二畝ニテ前村稱名寺ニテアリシカ建長寺六世大興禪師中興シテ禪宗ニ改メ
同寺ニ武藏國六浦庄釜利屋郷白山堂事任去建武二年六月十一日並貞和六年二月二
當寺ノ一日寄附之旨爲稱名寺末如元領掌寺不可有相違云々トアリ白山堂ハ大興禪師
三應永三十一明ケシ百廿四年ノ前正安
禪師ハ中興以後他ノ僧改宗セテ後世談リテ
間ニ五間東向額ニ東光寺トアリハ坐像ニ
白山ノ長一尺三寸定朝ノ本尊藥師ハ坐像ニ
尊三十九年ニ一慶ノ作ナリト云ノ本
鞍一口ニ海ナリナリ徳青貝砂子前後ノ輪
字ト云花押アリト文字ハ非ハ山重忠
鞍ト見ユ圖 燈一足銀象眼アリ七寶等ノ
物ト出ス 觀音堂アリテ入テ左方ニ
銘氏賢作ト 觀音堂アリテ入テ左方ニ
口求馬作ト一ハ藤 觀音堂アリテ入テ左方ニ
原清重ト彫レリ



作ト堂ニテ觀音ハ立像長二尺餘惠心ノ
中ニキサレハハウケレト云既ニモ管抄ニモ重忠ハ武士ノ方ハノソツクテ第一ニキ
コニ東鑑ニハ武藏國二俣川ノ邊鶴ヶ峯ノ麓ニテ今愛三郎隆カ獲ツ所ノ矢ニキ
リ重忠死セハ其村ニ隣レル今宿村ノ内ニテ其邊ニ土人モ彼所ヲ重忠カ獲ツ所ノ矢ニキ
ナリトイハハ重忠ハ都筑郡二俣川ニテ其村ニ在ハ是等ノ條合ニ見ヘシ
テ當所ヲ重忠ノ子六郎ノ築郡二俣川ニテ其村ニ在ハ是等ノ條合ニ見ヘシ
海前寺 除地ハ八畝宿ニアリ禪宗曹洞派坂本村禪林寺末洞松山ト號ス本堂四間四方
瑞觀淨本沙彌俗稱
及卒年詳ナラス

金藏院 除地四畝十二歩北谷ニアリ古義眞宗洲崎村龍源寺末北嶺山多門寺ト號
月十八日寂ス古キ草創ノ寺ナレ 毗沙門堂 三間四方ノ堂ナリ
能滿寺 年貢地長二尺餘今ハ住職ノ僧ナシ 四間異向本尊虛空觀坐像ニ
奉昌寺 除地一畝十五歩宿ニテ長二尺許開山開基詳ナラス
地藏堂 年貢地長三尺許ノ立像ニテ長二尺許開山開基詳ナラス
舊家者百姓藤右衛門 融ニ市川ト稱ス島山六郎重保カ庶流ナリト云家系ハ祝
兵四郎 ナリト云當時ノ古文書ナリ祖先ハ其器ハ今故アリテ親族ノ家ニ藏タト云○同

四國之人數□□候條最前如申付諸浦船相着人數渡海へ趣無由斷可申付事專一

ひ也

八月四日

森兵吉との
祖父江久内との

右ニ云矢吉ハ祖先ノ名ナルヘケレト文中載スル所ニ據
ハ中國以西ノ人ニシテ子孫當所ニ來寓セシコト知ヘシ

坂本村

坂本村ハ郡ノ坤ノ隅ニアリ古當村ト宿赤井ノ三村ヲ合テ釜利谷一郷ナリシユト及
村ノ廣狹四隣等ハ既ニ宿村ノ總説ニ辨セリ郷庄ノ唱江戸日本橋ヨリノ行程ハ宿村
ニ同シ村内総テ山丘アリテ平カナラス土性黒真土砂交リ赤土等ナリ水陸ノ田相半
シニ俣川ノ水ヲ用水トスレト不便ナレハ早損多シ民家三十六軒散住シ農隙ニハ薪
ヲトリテ鹽燒料ニ町屋村ヘ鬻テ少ク生産ヲ資ク村内ニモ東北ノ方ニ鹽竈アリ宿村
ト入會ノ所ナリ村ニ係ル一條ノ往還ハ鎌倉道ニテ北ノ方赤井村ヨリ入西南ノ方相
模國鎌倉郡上之村ニ達ス當所ハ往古島山二郎重忠ノ領地ナリレト云傳フレト正キ
コトヲ知ス其後寺前村稱名寺領トナリ又伊丹右衛門大夫カ知行トナリシコトハ宿
村ノ條ニ云ル如シ御打入後御所料ナリシテ紅葉山東照宮御別當權僧正忠尊カ願ニ
依テ寛永年中紅葉山御神領ニ附セラル忠尊ハ伊丹三河守永親江戶淺草寺ノ傳ニハ
ノ子ニテ當所ハ伊丹氏ノ舊領ナルヲモテ願シトナリ永親カコトハ村内禪林寺ノ條
ニアリ此時ヨリ御神領タル故村役等ハ總テ免許セラル檢地ハ正保ノ頃糺アリシト
云ヘト詳ナルコトヲ傳ヘス村ノ東北ノ方ニ僅ノ新田ヲ開キシカ土ニ潮氣アリテ立
毛繁殖シカタシ

高札場 四ヶ所ニテハ殺生禁斷ノ高札ヲ立置リ
小名 カナクソニヤ土中ヨリ鐵屎ヲ掘出スコトマハアリト云 松橋村ノ中
坂本 西ノ方 堀之内 同方居住セシ所ト云 小貫山 西北ノ方 會下 西南ノ方 横手山
同シ方 大丸 西ノ方ナリ 官ヶ谷 北ノ方 文珠澤 古此所ニ文珠ノ像アリシカ大
ナリシ方 戸淺草寺別當ハ禪林寺中興開基伊丹氏ニ因ミアルモテ公コキコエケテ寛
永九年九月此像ヲ淺草寺ヘ移シ今ニ淺草觀音堂ノ中右ノ方ニ安置シテイタノ
文珠ト稱ス此像ハ小流中ヘ吹落サレテ驚口ヲ以テ引上ケシニ木像聲ヲハナ
ツテアライキヤト叫ビテ姑ク傳ノマハテ記セリ 德壽軒 村ノ中
御林 横手山堀之内出文珠澤
川 水元ハ横手山ノ邊ヨリ流出ス又南ノ方宿村入會ノ地ヨリ出ル水ト小名橋橋ノ
ト唱フ此川ニ長四間ノ橋ヲ架ス松橋ト呼ヘリ

宇賀山王社 前年貢地小名堀之内宇賀山ノ上ニ坐像長一尺許ナルヲ安ス例祭九月
十

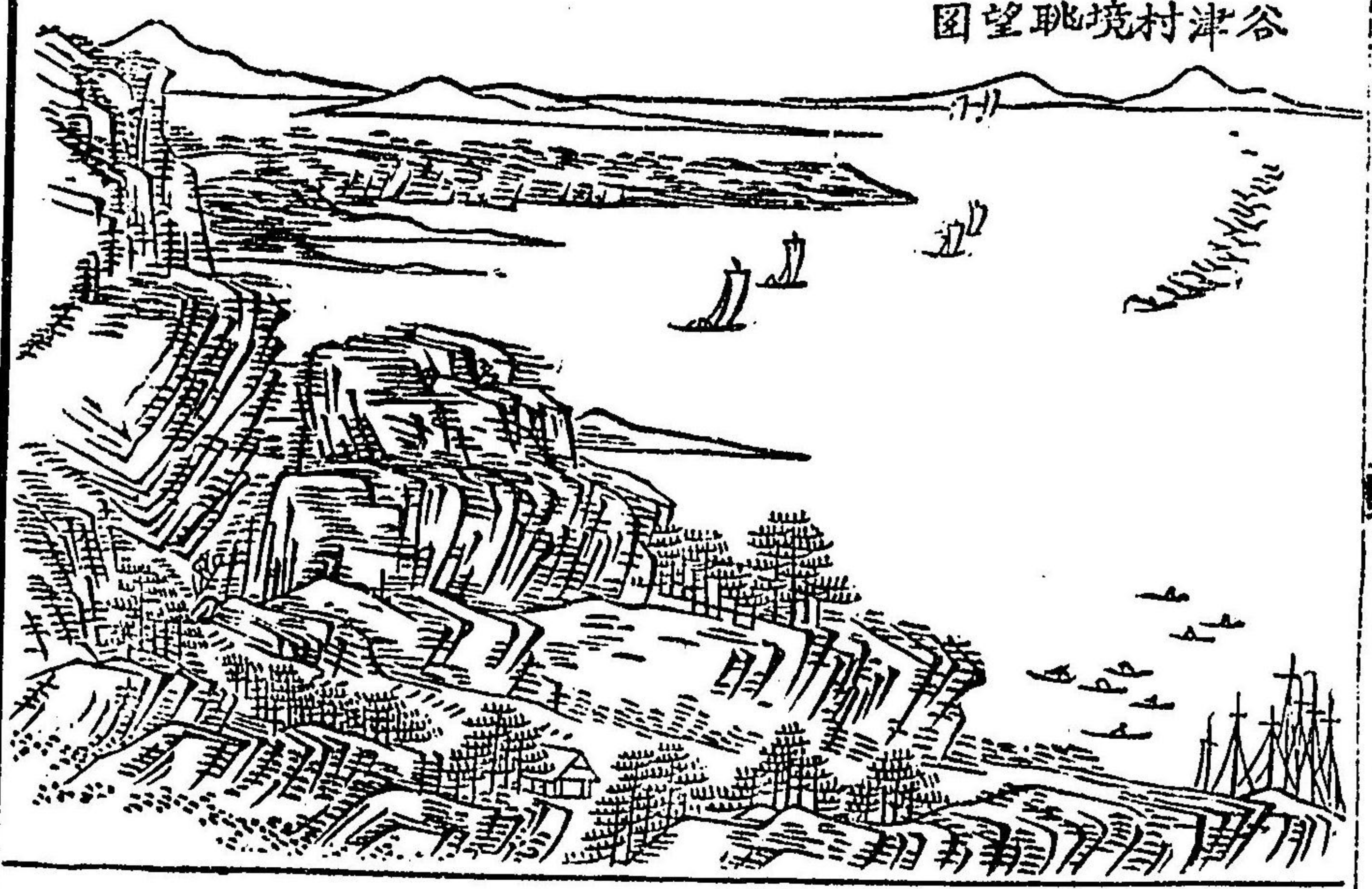
二十一日ナリ近キ頃大久保主水夢想ノ告アリテ
靈驗ヲ蒙リトテ社ヲ造營スト云村內自性院持
豐玉稻荷社持地ノ内ニモアリ小社東向村內禪林寺持
村瀧藏
院持

禪林寺除地會下ニテアリ禪宗曹洞派下總國關東
月二十六日示寂ス中興開基伊丹三河守永富當寺ノ
云智樂院權僧正忠尊ハ伊丹三河守永富當寺ノ
紅葉山東照宮ノ御別當ヲ兼帶シ寛永年中當寺ノ
林寺ヲ草創シテ石ノ地ヲ寄附セシメト云當寺ノ
ノ菩提所ナルヲモテ修理ナシテハ三河守永富當寺
永親カ事跡詳ナラズモ伊丹家譜ニハ三河守永富
シ但コト守永親トイヘルモアレト云傳及三河守
フコ三河守永親トイヘルモアレト云傳及三河守
レハ此人ノ親族ナルトイヘルモアレト云傳及三河守
基ノ作ト云本堂ノ内ニ東照宮ノ御寄附ナルト云
リコト御神願ナル故何ノ頃ヨリカ置奉ルト云
ナレモト永二十年ノ銘文アリト云保七年ニ鑄直
ケレハ爰衆寮本堂ニ向テ左ニ白山社境內ノ鎮守
ニ略ス除地西ノ方ニ阿彌陀ハ立像ニ長一尺許信濃
自性院問西ノ方ニ阿彌陀ハ立像ニ長一尺許信濃
基詳ナラス

赤井村ハ郡ノ南ニアリ郷庄ノ唱江戸日本橋ヘノ里數前村ニ異ナラス當村及宿坂本
ノ三村古ヘ釜利谷ノ一郷ナリシコト又村ノ廣狹四隣等ハ前村ノ條ニ辨セリ村ノ名
義ハ村內正法院境內ニ赤井ト稱スル名水アルニ因テ起レリト云地形高低アリテ山
間ニ水田ヲ開キ山上ニ陸田アリ田畑相半シ土性ハ赤土砂交或ハ野土等ナリ用水ハ
宿村ノ溜井ヨリ引沃ケト不便ニシテ旱損多シ又水損スルコトモアリト云民家七十
軒爰モ農耕ノ暇ニハ薪ヲ伐出シテ生産ヲタスク村內ニ係ル一條ノ往還アリ宿村ヨ
赤井村
赤井村ハ郡ノ南ニアリ郷庄ノ唱江戸日本橋ヘノ里數前村ニ異ナラス當村及宿坂本
ノ三村古ヘ釜利谷ノ一郷ナリシコト又村ノ廣狹四隣等ハ前村ノ條ニ辨セリ村ノ名
義ハ村內正法院境內ニ赤井ト稱スル名水アルニ因テ起レリト云地形高低アリテ山
間ニ水田ヲ開キ山上ニ陸田アリ田畑相半シ土性ハ赤土砂交或ハ野土等ナリ用水ハ
宿村ノ溜井ヨリ引沃ケト不便ニシテ旱損多シ又水損スルコトモアリト云民家七十
軒爰モ農耕ノ暇ニハ薪ヲ伐出シテ生産ヲタスク村內ニ係ル一條ノ往還アリ宿村ヨ

赤井村ハ郡ノ南ニアリ郷庄ノ唱江戸日本橋ヘノ里數前村ニ異ナラス當村及宿坂本
ノ三村古ヘ釜利谷ノ一郷ナリシコト又村ノ廣狹四隣等ハ前村ノ條ニ辨セリ村ノ名
義ハ村內正法院境內ニ赤井ト稱スル名水アルニ因テ起レリト云地形高低アリテ山
間ニ水田ヲ開キ山上ニ陸田アリ田畑相半シ土性ハ赤土砂交或ハ野土等ナリ用水ハ
宿村ノ溜井ヨリ引沃ケト不便ニシテ旱損多シ又水損スルコトモアリト云民家七十
軒爰モ農耕ノ暇ニハ薪ヲ伐出シテ生産ヲタスク村內ニ係ル一條ノ往還アリ宿村ヨ

谷津村眺望圖



リ入十丁許ヲ經テ谷津村ニ達ス幅一間半ヨリ二間ニ及フ此道谷津村境ノ所ヲ追分ト呼ヘリコノ所ヨリ丑寅ノ方ハ眼界ウチヒラケ眺望イトヨロシ領主ノ遷替前村ニ同ク今ハ米倉丹後守カ領分ナリ

高札場小名大橋

小名 赤坂村ノ中 赤井東ノ端 御

中井中程ナリ 愛御中 井呼 官谷

西ノ方 和田同方 大橋中程 官谷

山呼橋 龍良ノ方 大橋中程 官谷

持法院 山安ス 此山ハ則不動堂ノ除地ナリ 正佛

川西南ノ方 坂本村 前ニテ 宮川入川 呼二

手子明神社 除地ニ 敵南ノ方 宿村ト 入會

間六 前宮川 石階アリ 設ケ 石ノ 島居 三

末社稻荷社

末社稻荷社

末社稻荷社

末社稻荷社

末社稻荷社

末社稻荷社

末社稻荷社

末社稻荷社

末社稻荷社

末社稻荷社

末社稻荷社

末社稻荷社

末社稻荷社

末社稻荷社

末社稻荷社

末社稻荷社

末社稻荷社

橋ヲ架ス本地佛ハ藥師ニテ立保長一尺餘ナルヲ安メ釜利谷三村ノ鎮守ニシテ例祭六月十一月共ニ初酉ノ日ナリ村內滿藏院持アリ左ノ後ニ庚申社同シ邊ニテ小社ナリ又社後ノ山上ニ小社アリ稻荷社年貢地小名赤井ニテ其餘老樹數株繁茂セル村內正法院持正法院方南向本尊觀音ノ立像ヲ安置ス長二尺許金澤村所ノ内第十九番ナリ赤井本堂ノ右脇ニ井アリ金澤五井中ニ一ナリ赤井ノ見ユレト汲時ハ清水ニシテ尋常ノ水モ此井ニ因テ村名及當寺山號モ此井ニ因テ得タリト云

滿藏院ニ免除小名和田ニテ觀音座像長二尺許開基詳ナラス

眞淨寺間四方本尊三寶祖師ヲ安メ應永六年草創ニテ開山ヲ日實ト云示寂年代詳ナラス境內ニ御嶽社アリ再建セシカ

○阿彌陀堂年貢地小名宮

何ノ頃カ廢シテ未タ再建セシカ

舊蹟城山又高札場ヨリ北ノ方ナル山ヲ云此山相對シテ二ツアリ都テ青野臺ト唱ヘカコシテイカニモ城ノ跡ナリト見エタリ右馬助カ居城ノ地ナリト云

レト太平記笠置軍ノ條ニ討手ノ大將トシテ金澤右馬助カ居城ノ地ナリト云

坂城合戰ノ條ニ由テ東條ノ大將トシテ金澤右馬助カ居城ノ地ナリト云

此ハ或說ニ金澤越後守馬權子武藏守大將トシテ金澤右馬助カ居城ノ地ナリト云

變シテ後名崇顯ト號ス大平肥ニモ金澤大將トシテ金澤右馬助カ居城ノ地ナリト云

頭時モ眞顯カ傳ハ寺前村稱名寺ノ條ニ載セリ代々ノ居跡ニハ見ヘシ

氷取澤村

氷取澤村ハ郡ノ南ニアリ宿及峯ノ二村ニ境ヲ山麓ナレハ多クハ汚下ノ地ナリ往古其山麓ニ傍ヒ長キ澤アリシ後長澤村ト唱ヘント云村內寶生寺主僧ノ話ニ後醍醐帝ノ御宇某年六月高倉明神社地ノ深山ヨリ氷ヲ取テ北條高時ニ獻セシカハ高時賞美ノ餘今ノ名ニ改メシ由ヲ傳フサレハ其頃ハ氷室ナトアリシナラシトイヘト無稽ノ説ナリ如何ト云ニ東鑑建曆三年癸酉九月二十二日戊午條ニ云將軍令遣送火取澤邊給是依覽草花秋興也武藏守修理亮出雲守三浦左衛門尉結城左衛門尉内藤馬允等令供奉皆携歌道之輩也云々火ノ字今用ル所トハ異ナレト全ク此地ノコトニシテ昔時火取澤トモ記シ且火氷音訓ノ響似タレハ互ニ用ヒシコトモシラル當村笹下郷六浦庄ニ屬ス日本橋ヨリ十二里民戸二十八土地山々連リ高低打交リ土性ハ眞土ヘナ赤土砂交リ水田ハ少ク陸田多ク旱損ノ地ナリ檢地ハ天正十九年ニアリシ後ハ改メナシト云東ハ富岡村夫ヨリ北ニワタリテ栗木中里ノ二村西ハ峰村ニ隣リ相州鎌倉郡上之村ニツケリ南ハ郡中宿村ニテ爰ヨリ東ニヨリ赤井村ナリ東西二十丁程南北五十丁餘村內一條ノ往來アリ古ノ甲州道ト云御入國以來御料所ニテイツノ頃ヨリカ間宮氏ニ賜ヒ今子孫縫殿助ノ知行ナリ

高札場 東ノ方小名東海道ニアリ

小名 東海道 東方川ヘリ

能見堂 村ノ中程寶勝

二本松 西北ノ方ナリ

庚申

塚 小ナル邊ニモ

富士塚 上ニ同シツツカノ

雪澤 西方高倉明

袋澤 同シ邊

ヤナカ澤 西方ナリ

大谷 同シ邊

金クツ澤 西方ナリ

前明澤 愛ニモ

小

谷 ミソカ谷 西方ナリ

堂庭 南方ナリ

三段 許ノ平地アリ

上耕地 西方ナリ

堀合

中澤 南方ナリ

長野坂 北ヨリニナリ

ゲンダ坂 西方ナリ

經前

上橋戸 矢倉前

星山 南方ナリ

川 村內小名宮ノ源流ナリノ清水及近キ邊宿村ヨリ一流合メテ一條ノ川トナレリ

荒神社 免除ノ小名宮ノ下ニテアリ村ノ鎮守ナリ社東向例祭九月十九日祭事

寶勝寺 除地ニテアリテ中程ノ浄土眞宗東本願寺未飯盛山此所ニ移リ飯盛山寶勝寺ト住僧守

政隱棲ノ爲ニ直心庵ヲ造リ又後ニ當寺ヲ開基シテ此所ニ移リ飯盛山寶勝寺ト住僧守

僧某木願寺證如ニ歸依シ禪家ヲ改テ眞宗トナリ日化ス年六十後享祿天文ノ頃ノ住

改ム是ヲ中興開祖トス十九年庚戌三月十日眞寂二年十一月了應ト云永祿五年寢氏

三世順應天正四年三月廿一日寂依シ檀越トシテ長年十一月了應ト云永祿五年寢氏

家人間宮若狹守綱信僧ハ應依シ檀越トシテ長年十一月了應ト云永祿五年寢氏

ノ事ナラシトハ綱信僧ハ應依シ檀越トシテ長年十一月了應ト云永祿五年寢氏

中興セシカハ綱信僧ハ應依シ檀越トシテ長年十一月了應ト云永祿五年寢氏

ヲモテ中興開基トシモ知ヘカラス網信カ事跡ハ下ニ詳ナリコレヨリ先巨細ノ

事ハ傳ヘサレト淨妙寺天瑞守政禪師位牌ノ裏書ニ於武之寶積爲示寂矣云々因
雖有寶積之靈鐘逢天正庚寅亂爲賊徒奪去中當處金子某甲承祿年中於彼州
雅觀之銘ノ年號正應永謂古傳云爾自註ニ云小田原滅亡亦於當山釋寂
又其後ニ至リ堂中ニ興基故地頭宮若狹守綱信入道ハニヤ傳アリ失ヒシ中絶
ルヘシト云堂中ニ興基故地頭宮若狹守綱信入道ハニヤ傳アリ失ヒシ中絶
朝與一宗居士慶長十一年霜月十日俗名問宮若狹守綱信入道ハニヤ傳アリ失ヒシ中絶
有相舍之舊跡礎而已無三寶真久破壞不知謂人皆狹守綱信入道ハニヤ傳アリ失ヒシ中絶
濟州制隆之山前淨妙寺守政師開基直心庵將移山時立宇宗或飯盛山寶積寺爲禪宗
寂下制隆之山前淨妙寺守政師開基直心庵將移山時立宇宗或飯盛山寶積寺爲禪宗
北條隆興守氏綱信院ハ則間宮家傳ニ問宮若狹守綱信入道ハニヤ傳アリ失ヒシ中絶
東照宮ニ謁シ奉レ後御入國時命受狹守綱信入道ハニヤ傳アリ失ヒシ中絶
屬シ慶長十四年七月十四日御入國時命受狹守綱信入道ハニヤ傳アリ失ヒシ中絶
落後東照宮履綱信下ニ召ス綱信モナリハ度北條家ニ仕ヘテ高祿ノ年北條氏沒
ニ復テ北條沒落後一召ス綱信モナリハ度北條家ニ仕ヘテ高祿ノ年北條氏沒
應子忠左衛門重信ヲ召ス綱信モナリハ度北條家ニ仕ヘテ高祿ノ年北條氏沒
其子忠左衛門重信ヲ召ス綱信モナリハ度北條家ニ仕ヘテ高祿ノ年北條氏沒
料トニ應シテ幕府ニ歸ス綱信モナリハ度北條家ニ仕ヘテ高祿ノ年北條氏沒
左方ニ當リ保九年ノ銘ア 雷松境内山ノ頂セリト云尤ノ松樹ニ雷落シコトアリ
往來セル船人ノ目ニシト寛永ノ頃廢レシ寺ナハ飯盛山ト號セシハ樹下ニ飯盛童子
ノ社ヲ安シ鎮守トシテ由寛永ノ頃廢レシ寺ナハ飯盛山ト號セシハ樹下ニ飯盛童子
シ 間宮綱信陣屋蹟ハ境内ノ西方ニ又問宮總居ノ宅地ト記シハ村中ニ間宮氏ノ今
蕃臣岡本次右衛門トイヘル陣屋跡アリ村民藤左衛門ハ其子孫ニ 乳母ガフトコロ
ヲカレカ宅地ノ邊間宮氏陣屋跡アリ村民藤左衛門ハ其子孫ニ 乳母ガフトコロ
カ北ノ山ヲ七八丁上ル所ニ今續殿助信清カ家ニテ年毎ニ乳母カ中ニ記ルハコノ乳母
ナル由信清家藏文書
三通アリ左ニ載ス

普請之儀ニ付細谷と以テ越ハ何モ得心存分書付と以テハ肝要ニハ普請庭ニテ
ハ一日も早ク出來ハ様ニ少も無油斷奉行衆就之普請庭ニ付有テ可被テ付事肝
要ハ久々謹言

二月廿三日

氏照花押

大石筑前守殿
横地與三郎殿
間宮若狹守殿

請取申候知行役金子之事
金三朱之中糸口
右百十石の御やくの積りニうけ取り所實正也仍如件
辰十二月廿七日

日下部兵右衛門
淺井鷹兵衛
藤田彌七

成瀬吉右衛門

間宮若狹守

遠路之處馬二到來御祝着被思食旨西尾可々の也

三月五日

御判

間宮若狹守とのへ

コノ三通共ニイッノ頃ノモノナリヤ詳ナラスヤノト辰十二月二十七日トアルハ
間宮家譜ヲ合セ見ルニ若狹守綱信ハ慶長十四年ノ卒トイヒ且宛名モ未タ入道セ
サル前ニ似タレハ北條没落後ノ辰ナラシムコトハ文祿元慶長九二年ノ内恐クハ文祿
元辰コトコノ後入道セシモノナルヘヤ三月五日ト配セル御書ハ綱信コノ村ニ隠
居セシ頃彼品ヲ上リシコトアリテ其時賜ヒシ御書ナルヘシ

地藏堂 除地二間四方地藏ハ立像コト長四尺程小名經ノ前コトアリ寶勝寺ノ持

觀音堂 免除字中嶋ニ尺程弘法大師ノ作持前ニ同シ

舊蹟高倉明神遺蹟トモ呼其樹下チ高倉明神遺蹟ト傳フカノ社ハ鎌倉將軍ノ時代
ハ當所ノ鎮守ニテ門前ニハ下馬札モアリテヤマナアルモノマハアリト云

宮谷村

宮谷村ハ郡ノ坤ニアリ庄名前ニ同シ此邊元日野郷ト唱へ一郷ニテ今モ郷名ニ殘レ
リ則郷庄ノ唱以下吉原村マテ同シ小田原役帳如庵御知行百十貫二百六十文久良岐

郡日野コノ外御新造知行分八十五貫九百六十二文久良岐郡日野癸卯檢地増分トア
レハコノ邊ナルヘシ後金井及當村ト二ツニ分レ再ヒ金井ヲ分テ吉原村トシ又當村

ヲ分テ宮下村トナシコノ四村ヲ日野四ヶ村ト呼正保ノ頃マテモ日野宮谷村日野宮
下村日野金井村日野吉原村ト唱ヘリサレハ地形モ犬牙シテ定カニハ分テカタク且

北條役帳日野トイヘルハ今ノ四村ノ内ナルヘケレト正シクサス所ノ地ハ詳ナラス
江戸日本橋ヨリ十一里東ハ峯村及相州鎌倉郡上之村西ハ郡内金井村南ハ相州鎌倉

郡中野鍛冶谷ノ二村則國境ニテ其疆ハ山上ヲ以テ分テリ山上ノ雨水左右ニ流落ル
ヲ以テ土人水流境又水走り境トモ呼ヘリ北方ハ郡中宮下吉原二村ノ飛地ナリ畑多

ク田少ク水利ノ便宜シカラス早損アリ土性ハ野土赤土砂交レリ東西十四五丁南北
ヘ七八丁ナリ民戸四十二村内西北ヲ貫テ鎌倉街道係レリ又爰モ御入國ノ後御料所

ニテ寛文四年四月久世大和守廣之ニ賜ヒシヨリ今モ久世氏知行セリ檢地ハ天正十
九年彦坂小刑部紀セリ

高札場小名谷

小名 大久保谷南ノ方 西谷 女郎田同ノ續 五段田西方 小坪同ノ邊

新編武蔵風土記 久良岐郡卷四 十五

下馬橋 是モ同邊ナリ金井村御所 向谷 北方 白桦澤 東北方 峰澤 長ノ方
大神谷 中程ナリ 榎戸 横田 東ナリ 谷 西北 中村 西方 モテ松 中程 日峰
東北ニ
コレリ

川 小名大久保谷邊ノ山間ヨリ涌出セル清水西方ニ流レ又小名覆戸ヨリ出ル清水
一流是モ西方ニ流レ小名下馬橋ニテ二流合シ金井村ニ通シ始テ日野川ノ名ヲ
得村内ニテハ細流ナレハ唱
モナク田間ノ用水トナレリ

神明社 除地五畝小名曰梓ニアリ ○白山社 除地四歩小名 ○白山社 除地十五歩小
村内安養寺ノ持下同シ
白山社 除地十五歩同シ邊ニアリ宮下村得音寺持右四字何
白山社 除地八畝小名中村ニアリ古義具宗石川實生寺ノ末東宮山無量院ト號ス

安養寺 本堂五間半ニ六間半南向本尊阿彌陀長二尺程傍ニ地藏ヲ安ス立像一尺許
行基ノ作當寺ハ舊キ地ニテ鎌倉治世ニハ大伽藍ナリ由大永元年祝融ニ罹リ堂
舎ハタラナリ舊記マテ悉ク鳥有トナリ同キ二年光順法印力ヲ盡シテ再興ノ事ヲ
ナセシカハ同六月二十一日示寂
リコノ僧ハ同六月二十一日示寂

十王堂 安養寺ヨリ一丁許南ナリ四
間ニ三間半宮下村得音寺持 ○阿彌陀堂 字前ニアリ白山ノ麓ナリ堂ハ四間
寺ノ持音

金井村

金井村ハ郡ノ坤ノ方相州境ニヨレリコノ邊モト日野郷トテ一郷ナリシ由後分村セ
シ等ノコトハ前村ニ辨セリモトヨリ四境入會タレハ細カニハ分ナ難シ大畧東ハ官

谷宮下雜色ノ三村南ハ相州鎌倉郡鍛冶谷中野ノ二村北ハ郡中吉原村及鎌倉郡下野
庭永谷上ノ二村ニ續キ西モ同郡上野庭下野庭ノ二村ニテ東西五丁南北二十丁餘民
戸四十二コノ山塚ニ七里堀ト云アリ爰ヨリ吉原松本久保最戸別所中里ノ六ヶ村ヲ
經テ引越村ニ通スル里程七里許アルヲ以テ七里堀ト唱フコノ道古ハ鎌倉海道ナリ
シカ東海道關ケテヨリコノ道ハ廢シ今ハ小徑殘レリ村ニ係ルコト二十丁餘幅ハ五
六尺ナリ土地山谷多ク不平ナリ田畑等分早損アリ村民農業ノ暇ニハ薪ヲ伐リ出シ
或ハ篠竹ヲ切り是ヲ鬻テ生業ノタスケトナセリ御入國ノ後御料所ニテ前村ト同時
久世大和守廣之ニ賜ハリ夫ヨリ丹後守ニ分地シ子孫引續政吉知行セリ檢地ハ彦坂
小刑部間官佐左衛門等糺セリ後寛文中久世大和守カ改メシコトモアリト傳フ江
戸日本橋ヨリノ行程十里餘

高札場

小名本町

小名 御所谷 中程ヨリ北 本町 西方 大ダラ谷 西南ノ方 池谷 古畑谷

堅炭 坤ノ方ニヨ 柳谷 殿山 中程ナリ鎌倉治世ノ頃何人カ居住セシ 殿田 中
方ナリ 平谷 南方ナリ 尻切 東谷 前ノ續 鶴卷 北方ナリ 柏谷 クヅツメ

中程 眞南臺 西方相州境ニアリ村内第一ノ高山ナリ織部屋敷又古陣屋 金井
ナリ 跡トモ云鎌倉治世ノ頃ハ陣屋ナトアリシ所ナルヘト云

前中程ヨリ穴内天井ニヨレリコノ處ノ崖穴九ツ並ヒテアリ廣サハ四方二間餘ナルモ
ニ古體ニ見ユ或ハ岩チホリヌキクサリ或ハ繩ナト通ケケト馬チ繫タルモ
見ユル所アリ又入口ノ兩傍ニ柱ノ如ク切立テ建具テツケケト思ハルモ
ユ小田原落城ノ頃カリヒツキ
日野川宮ケ谷村ヨリ東ニ屈曲シ又村ノ小名大タラ谷ヨリ流レ出ル清水合シテ村ノ
間或ハ三間
殿田橋日野川ヨリ架ス四間許ノ小
○明神橋長サモ日野川ニ架ス
山王社村ノ卯ノ方字山王山ニアリ○山王社小名殿山ニアリ○羽黒社現谷ニ中程字權
上三社共ニ小社
ナリ淨岸寺持

光明寺免除三畝吉原村ノ境ニアリ古義眞言宗石川寶生寺ノ末福壽山慈眼院ト號
トハ更ニ他ノコ
寺寶不動畫一軸弘法大
地藏畫一軸古畫ナリ筆
正福寺年貢地是モ吉原村境ニアリ禪宗曹洞派町谷村傳心寺ノ末金剛山ト號ス
ノ作相傳フ鎌倉由井長者染屋太郎時忠ノ守本尊ニ傳テ引手ノ觀音長二尺五寸餘行非
村元文四年四月十二日示寂按ニ淨家ノ法諡ニ似タリサハ中興開山生蓮社得登心ノ
守ノ家老分節圖書ノ子ニシテ後僧トナリ當寺ノ第九世ニハアレコノ僧ハ分節若狹
姓見ユル等ノ内ナルヘシ
道了白山合社堂ノ南方ニ

淨岸寺年貢地村ノ中程字カケノ下ニアリ淨土宗松本村正覺寺ノ末金井山ト號ス
陀鎖佛立像長二尺
五寸古色ニ見ユ

舊家者里正林右衛門高梨氏ナリ先祖ハ小田原ノ浪人コテ帶刀ト稱シ元相州高梨
藏ス備前國長船勝光ノ銘アリ地頭ヨリ苗字ヲ許シ且郷
目付ノ役ヲ承レリ今役帳ヲ閱スルニ高梨氏ヲ載セス

宮下村

宮下村ハ郡ノ坤ノ方ニアリ當村元宮谷村ニ屬セシコトハ前ニ辨セリ江戸日本橋ヨ
リ十里半ニ餘リ東ハ雜色矢部野ノ二村東ヨリ北ハ吉原村西ハ宮谷村ニテ夫ヨリ北
ニワタリテハ金井村ニモ交レリ南ハ峰村及宮谷村モ少シク係レリ東西二十五丁南
北三十丁程水田ハ多ク陸田少ク旱損アリ土性眞土赤土砂交レリ民戸三十四農隙ニ
ハ薪ナト伐リ出シ生産ノ資ヲナセリ村内ニ宮谷金井吉原等ノ飛地アリ村ノ北界ヲ
西北ヨリ東北ニ貫テ一條ノ往來アリコレ鎌倉街道ナリ村ニ係レルコト十四五丁幅
六尺程外ニ小徑アレト載セス御入國ノ後御料所トナリ前村ト同時寛文四年四月久
世大和守廣之ニ賜ハリ今分家久世政吉ノ知ル所ナリ

高札場中程ヨリ少シク
東ヨリテアリ

小名 六本松 巽ナリ 觀音臺 澤谷臺 細田 サル田 東方 大ツキ 東ヨリナ
ミノウ田 峰澤 南方ナリ 宮田 ガンミヤウ 少ク南ニヨ 澤谷 關下 中程

イカリ 西ナ 薬師前 東北ナ云 臺谷 宮セキ北ナリ 越畑 ビヤタ 向谷 西
山神 中程ナリ 愛ニ金堀塚ト云ア 西谷 西ノ方ナシ 大イカリ 向山 少シ
舟木 尻切 岩崎 南ヨリ

川 小名岸澤ヨリ流出ル一條及宮ケ谷村内白井ヨリ涌出セル一條ノ水流村
高橋 野川ニ架ス長
春日社 除地三段字春日ノ山上ニアリ石階數十級上リ平地アリ愛ニ土俵ヲメク
ル由見ルコト又石階アリ左右ニ老杉並ビ建リハ一間半餘ニ一間餘神體ハ二軀ア
キモノ野四村ノ物鎮守ナリ村内得音寺ノ持社内ニ圓キ額ノ如シ 御手洗池 社後ニ
キモノ野四村ノ物鎮守ナリ村内得音寺ノ持社内ニ圓キ額ノ如シ 御手洗池 社後ニ
ノ水ヲ飲ム時ハ萬病ヲ治スト云 御靈權現社 向テ中央ニ奉新建立御靈位山宮神
御社左ノ下邊ニ柳中惣字治子中裏ニ 稻荷社 向テ左

太神宮 西北ノ方山頃ニ得音寺ノ持社 ○山王社 東南ノ境山上ニアリ南向
金仙寺 除地ニ畝小名ニノワ田ニアリ村松山ト號ス淨土宗鎌倉光明寺ノ末ナリシ
像長一尺餘愛モ金澤札所ニテ第二十三番 眞言宗石川寶生寺ノ末日野山興
得音寺 前ニ云春日明神社下ニアリ古義眞言宗石川寶生寺ノ末日野山興
藥師堂 小名藥師前ニアリ長一尺二寸得音寺ノ持社

吉原村

吉原村ハ郡ノ西ニアリ江戸日本橋ヨリ十里村ノ廣サ東西六七町南北八九丁宮谷宮
下金井及當村ト犬牙シタルコトハ前ニ辨セリ凡南ヨリ西ニワタリテハ矢部野金井
ノ二村東ハ關村ニテ雑色村モ少シク係レリ北ハ松本村及相模國鎌倉郡永谷上村西
モ同郡下野庭村ナリコノ邊スヘテ山々連リ峰通リナテ國境トス田圃多クハ東北
ノ方ニ關キ水陸ノ田半シ早損ノ地ナリ民戸四十軒村内北ノ方ニ一條ノ往來ヲ通ス
松本村ヨリ金井村ニ達ス御入國ノ後御代官所ナリシカ何ノ頃ヨリカ上原氏ニ賜ヒ
今子孫藤三郎ニ至レリ檢地ハ寛文十三年トノミ傳ヘリ
高札場 小名寺尾

小名 寺尾 南方ナリ 大橋 關谷 中程 鍛冶屋敷 西方ナリ 陣ガドフ 巽ノ方ニ

時代愛ニ陣ヲトリコトアリシ故ニ陣カ臺ト唱ヘシタイツノ頃ヨリカ今ノ如
ク唱ヘリ愛ニ塚アリ塚上一間半四方モアルヘンコノ外小名山王山ニ塚三ツ並
ヘリ又小名大橋ニモ塚一ツアリ 大北 西方ヨリ 中北 西南ノ方ニ 下吉原 北方ナリ

三本松 一本松 相州境七里堀ノ傍鍛冶屋敷ノ内ニ則一本松アリシ故ニト
日野川 金井村ノ方ヨリ入松本村ニ達ス報身寺前橋ト唱幅四間程
諏訪社 小名大北ニアリ此川ニ橋ヲ架ス報身寺前橋ト唱幅四間程
御嶽社 小名下吉原ニアリ 御嶽社 東方字ニヤウシ

社 ○白山社

社 ○白山社 宇御林ノ小社東南ニア
 満藏寺 古ハ宮下村得音寺ヲ宗曹洞山相摸國高坐郡大庭村宗賢院ノ末泉山ト號ス
 多シトテ今ノ如ク山號ヲ互ニ替改メ西ノ本尊ノ一早野山ト號ス
 傳ル儘ヲ配セリ本堂四間半ニ七間西ノ本尊ノ一早野山ト號ス
 頃ハ二所三十三番ノ内第二十四番百石程ノ地ト開山ノ年ハ舊テ傳ヘス
 興開山カ堂元龍文祿元五月十二日示 毘沙門堂 毘沙門ノ地ト開山ノ年ハ舊テ傳ヘス
 寂ト云カタト云ノ舊キ地ナ月コト知ラニ 毘沙門堂 毘沙門ノ地ト開山ノ年ハ舊テ傳ヘス
 行基ノ作ト云コノ像取國ノ頃此火ニ羅 毘沙門堂 毘沙門ノ地ト開山ノ年ハ舊テ傳ヘス
 中コリ堀得新コノ堂ヲ建國ノ頃此火ニ羅 毘沙門堂 毘沙門ノ地ト開山ノ年ハ舊テ傳ヘス
 報身寺 小名下吉原コノ堂ヲ建國ノ頃此火ニ羅 毘沙門堂 毘沙門ノ地ト開山ノ年ハ舊テ傳ヘス
 四間半ニ三間半ニ淨土宗本阿彌陀立像三尺餘開山運譽ト號ス本堂呼ル
 宇御林ノ小社東南ニア
 石ノ小社東南ニア
 尾下村得音寺ヲ宗曹洞山相摸國高坐郡大庭村宗賢院ノ末泉山ト號ス
 宮下村得音寺ヲ宗曹洞山相摸國高坐郡大庭村宗賢院ノ末泉山ト號ス
 如ク山號ヲ互ニ替改メ西ノ本尊ノ一早野山ト號ス
 本堂四間半ニ七間西ノ本尊ノ一早野山ト號ス
 番ノ内第二十四番百石程ノ地ト開山ノ年ハ舊テ傳ヘス
 龍文祿元五月十二日示 毘沙門堂 毘沙門ノ地ト開山ノ年ハ舊テ傳ヘス
 元龍文祿元五月十二日示 毘沙門堂 毘沙門ノ地ト開山ノ年ハ舊テ傳ヘス
 國ノ頃此火ニ羅 毘沙門堂 毘沙門ノ地ト開山ノ年ハ舊テ傳ヘス
 像取國ノ頃此火ニ羅 毘沙門堂 毘沙門ノ地ト開山ノ年ハ舊テ傳ヘス
 建國ノ頃此火ニ羅 毘沙門堂 毘沙門ノ地ト開山ノ年ハ舊テ傳ヘス
 堂ヲ建國ノ頃此火ニ羅 毘沙門堂 毘沙門ノ地ト開山ノ年ハ舊テ傳ヘス
 新コノ堂ヲ建國ノ頃此火ニ羅 毘沙門堂 毘沙門ノ地ト開山ノ年ハ舊テ傳ヘス
 堀得新コノ堂ヲ建國ノ頃此火ニ羅 毘沙門堂 毘沙門ノ地ト開山ノ年ハ舊テ傳ヘス
 小名下吉原コノ堂ヲ建國ノ頃此火ニ羅 毘沙門堂 毘沙門ノ地ト開山ノ年ハ舊テ傳ヘス
 小名下吉原コノ堂ヲ建國ノ頃此火ニ羅 毘沙門堂 毘沙門ノ地ト開山ノ年ハ舊テ傳ヘス

新編武藏風土記稿卷之七十六終

新編武藏風土記稿卷之七十七目錄

久良岐郡之五

- 本牧領
- 本郷村
- 横濱村
- 堀之内村
- 戸部村
- 北方村
- 中村
- 根岸村
- 尾張屋新田

久良岐郡之五

本牧領

本牧領ハ郡ノ中程ヨリ北ニカミリ郡中凡三分ノ二ニ居レリ本牧ノ唱ノ古キ事ハ既ニ郷名ノ條ニ辨セリ此領内ノ界域東北海ニ添ヒ西ハ都筑郡及相模國鎌倉郡ニテ北ヘヨリタル方ハ是モ海ニ邊シタリ南ハ郡中金澤領ニ境フ土地ノ形勝以下ハ詳ニ村々ノ條下ニ出セリ

本郷村

本郷村ハ郡ノ東ヨリニアリ此村ハ本牧ノ本郷ニシテ元祿ノ國圖ニ本牧本郷村ト在去ト正保ノ古圖ニハ本郷村トノミ載セタルハ當時却テ本牧ノ名ハ冠ヲサリシト見ユ江戸ヨリ十里船路ニテハ十里ニ足ラヌ平子庄ナリ民戸四百三十東西十五六丁南北二十七丁東ヨリ巽ニ亘リテハ海面ニテ内海カ浦ト呼フ南ハ郡中根岸村西ハ中村北ハ北方村ナリ東方ノ海面ハ岸ヨリ十三丁南北三里程ハ近村漁獵ノコトサナシ專ラ熬海鼠ナト製スルヲ以テ生産ノ資トセリ土地田畑等分早損ノ地ナリ往古ハ小田原北條氏ノ領地ニテ御入國ノ後ハ御料所ナリ元祿ノ頃藤本筑後守大久保大隅守松

二十天社地圖



浦造酒之丞等ニ賜ハリ金子藤本主壽大久

保甚四郎松浦隼人等知行ス

高札場岸中ノ程ニ浦高札建リ

小名 牛込 巳ノ方 官原 實ノ方 箕

輪 亥ノ方 間門 申ノ方 原 東チ 臺

十二天社 丑ノ方 局崎 村ノ東 伊勢宮ノ麓ニ

後カ先祖松本次郎左衛門ト云モノ當所

海カ先祖松本次郎左衛門ト云モノ當所

建カ古谷小田原後十八天領二十名

文奈古谷小田原後十八天領二十名

間門ト第六天領第六天領第六天領

六天山ト第六天領第六天領第六天領

八天ト云ヒヤトイヘリ御朱印社領

賜ヘリ本社三間四方幣殿二間四方拜

末社 天神社 本社ニ向チ右ニ 稻荷社

天照太神熊野龍王權現合社 若宮八幡

社トイヘリ北方村ノ本社ニ守チ元祿五年

抱ノ分多門院ニ讓リ渡シト云コトヲ

二月十六日多門院ニ讓リ渡シト云コトヲ

ハ八丁ヲ隔テ古義真官宗石川實生寺ノ末

年十一月二十日安置ス藥師ハ古佛ナレト何人ノ作ナ

師ハ別堂ニ安テ十二天領ノ御朱印ハ當院ニ藏セリ

方ナリ東 福院ノ持

再建ノ棟 札存ス 神主松本豐後 別當多門院所藏ナリ

王子權現社 除地一畝同シ方ナ

若宮八幡社 除地一畝未ノ方ナリ白馬ニ乘タル像ナリ依テ

多野稻荷ト云 ○伊勢宮 除地二畝中程ナリ

吾妻權現社 除地五畝八歩異セリ此像モト上國木更津吾妻村吾妻權現ノ牌體ナ

リ快復ノ後ハ粟ノ餅ヲ病或ハ瘡ヲ瘰癧トス天德寺ノ持 末社稻荷社○天神社 除地

八王子權現社 除地四畝巳午ノ方ナリ元ハ村内ノ鎮守ナリト云權現ハ

宍社○牛頭天王社 除地一畝實ノ方○山王社 除地二步南方ニ

千藏寺 除地南方ニアリ古義真官宗石川實生寺ノ末東光山醫王院ト號ス中興開出

新編式部式目録

二

眞福寺 年貢地東方ニアリコレモ寶生寺ノ末下並ニ同
○東福院 年貢地西方ニアリ
○阿彌陀堂 年貢地西方ニアリ
○阿彌陀堂 年貢地西方ニアリ
○阿彌陀堂 年貢地西方ニアリ
○阿彌陀堂 年貢地西方ニアリ

天德寺 年貢地北方ナリ佛海山ト稱ス本
○阿彌陀堂 年貢地西方ニアリ
○阿彌陀堂 年貢地西方ニアリ
○阿彌陀堂 年貢地西方ニアリ
○阿彌陀堂 年貢地西方ニアリ

阿彌陀堂 年貢地西方ニアリ
○阿彌陀堂 年貢地西方ニアリ
○阿彌陀堂 年貢地西方ニアリ
○阿彌陀堂 年貢地西方ニアリ
○阿彌陀堂 年貢地西方ニアリ

○十王堂 年貢地西方ニアリ
○地藏堂 年貢地西方ニアリ
○地藏堂 年貢地西方ニアリ
○地藏堂 年貢地西方ニアリ
○地藏堂 年貢地西方ニアリ

舊家者百姓勘右衛門 橋本氏ナリ先祖伊賀守ハ小田原北條家ニ屬セシ由ナレト家
伊賀守元和六年正月八日當所ニ興ヘ又村内十二天別當多聞院古過去帳ニ常録各名橋本
由今モ小田原北條氏ヨリ當所ニ興ヘ又村内十二天別當多聞院古過去帳ニ常録各名橋本
山文書ハ左ニ載ス

葛網行□□日本牧浦ニ被指置由□□今日□□ハ納物之儀者嚴密可被申付ハ仍
如件

北條氏虎印アリ
天正十五年丁卯月十八日 堀和伯督守 奉之

左衛門□殿
北方村

北方村ハ郡ノ東北ニヨレリ江戸ヨリノ里程庄名前ニ同シ本牧ノ内ニアリテ本郷村
ヨリ北方ニ當レル故此村名アリ民戸七十東ヨリ良ノ方ハ海面ニ至リ西ハ根岸村南
ハ本郷村北ハ横濱村ナリ東西二十九丁南北二十六丁餘土地高低交レリ水陸ノ田等
分ニテ用水不便ナレハ旱損ヲ患フト云農隙ニハ漁獵シ熬海鼠ナト製シテ餘業トス
御入國以來御料所ナリ檢地ハ文祿四年原田佐左衛門糺ス

高札場 村ノ中
小名 小湊 東ナ
梅田 同邊
泉谷 中程
中里 是モ
天沼 北ナリ此邊ニ潤サ
西谷 西ナリ 上野 西ナリ

太神宮 年貢地西方ニアリ
○諏訪社 年貢地西方ニアリ
○諏訪社 年貢地西方ニアリ
○諏訪社 年貢地西方ニアリ
○諏訪社 年貢地西方ニアリ

妙香寺 年貢地西方ニアリ
○諏訪社 年貢地西方ニアリ
○諏訪社 年貢地西方ニアリ
○諏訪社 年貢地西方ニアリ
○諏訪社 年貢地西方ニアリ

東漸寺 年貢地西方ニアリ
○諏訪社 年貢地西方ニアリ
○諏訪社 年貢地西方ニアリ
○諏訪社 年貢地西方ニアリ
○諏訪社 年貢地西方ニアリ

善行寺 年貢地西方ニアリ
○諏訪社 年貢地西方ニアリ
○諏訪社 年貢地西方ニアリ
○諏訪社 年貢地西方ニアリ
○諏訪社 年貢地西方ニアリ

新編式目録上巳高
八長支那卷五
三

興長覺正保二年二月 寺寶 般若心經一卷 紺紙金泥ナリ最古色ニ見ユ奥ニ明徳
二十日寂ス本尊不動 羅漢像二軸 光殿司ノ 五大尊像一軸ノ弘法大師 若宮權現社 天神社
花押アリ 稻荷社 以上元祿年中辨天 藥師堂 藥師ハ聖徳太子御歳四十二ノ時作り給ヒシ像
吉年中ノ寄進狀アリシ由本番ハ失テ寫テ藏セリ文ハ後ニ載ス其内ニ石河寶金剛
院トアリ金剛院ハ石川寶生寺ノ院號ナレハ當時ハ此堂彼寺コテ進退セシモ知ヘ
スカラ

寄進 藥師堂

武州久長岐郡橫濱村藥師堂免田島等事田大貳百文島二百文任由緒依正口儀限
永代寄進所也然者任由緒上者後世之代官不可及是非ハ爲後日仍執達如件
嘉吉二年辛酉卯月廿六日 比留間範政花押 市川季氏花押

石川寶金剛院

太神宮 村ノ南 ○淺間社 西ノ方 ○稻荷社 同邊ニ ○第六天社 巽ニ ○駒形明神社 乾ノ
アリ以上増徳院ノ持リ
阿彌陀堂 年貢地村ノ北ニ ○觀音堂 陸地二十歩東南ニ
中村

中村ハ郡ノ北ニテ江戸ヨリ九里ヲ隔テ庄名前ニ同シ石川郷ニ屬ス土人或ハ石川村
トモ呼フ古ハ堀之内横濱及當村ヲ合テ石川村ト稱セシ故因循セルナラン民戸七十
東ハ横濱及北方ノ二村ニテ其間海面ヲ望ム所アリ是ヲ内浦ト唱フ巽ヨリ南ノ方ハ
山ヲ隔テ、根岸村西ハ堀之内詩田ノ二村乾ヨリ北ニ亘テハ吉田新田ナリ東西十八
丁南北十丁程田少ク畑多シ天水ヲ待テ耕セリ其土ハ黑砂土交レリ御入國ノ後御料
所ニシテ間宮權三郎代々支配ス元祿四年村内ヲ裂テ佐野氏ニ賜ヒシヨリ御料私領
入會トナリ今大貫次右衛門支配所及佐野肥後守カ知行所ナリコノ餘纒ニ一石餘ノ
地ハ中古大岡川堀割ノ時潰地ノ代地トシテ荒川某ニ村内ニテ賜ヘルモノ今子孫荒
川三郎兵衛カ采邑ナリ檢地ハ延寶二年八木仁兵衛糺シ後又新墾ノ地少許寶曆八年
志村多官糺セリ

高札場 村ノ東ニ

小名 内壺 西ノ方ナリ 原田 西ノ下 上大界 津キ田 古新田 西北
タ、谷 東方ナリ 上間谷 並押 平野 東谷 諏訪町 ウナ小路 味嚼谷 南
同 柳久保 カラ澤 打越 巽ノ方 中居谷 中程 道場 北ノ方ナリ 道下
大岡川 北ノ方吉田新田ノ境ニアリ薛田村 日

溜井二池ト呼共ニ西ヨリハ古

八幡社 除地二畝二十八歩村ノ中程ニ建リ鎮守ナリ伍丹明

第六天社 除地二畝五歩巳午ノ方ニアリ

神社 除地六歩

玉泉寺 除地二畝十八歩東ノ方ナリ古義具言宗石川寶生寺ノ末大應山

弘誓院 除地二畝十八歩村ノ西ニアリ同宗同末

觀音堂 見捨地村ノ中程ニアリ十一面觀音ナリ

堀之内村

堀之内村ハ郡ノ北ニアリ東海道保土谷宿ヨリ二十三丁餘ヲ隔江戸日本橋ヨリ行程前村ニ同シ古ハ當村及中横瀨ノ三村ヲ合テ石川村ト唱ヘシコトハ横瀨ノ條ニ辨スル如シ郷庄ノ唱前村ニ同シ村ノ四境東ハ中村ニ隣リ南ハ龍頭岡ノ二村ニ接シ西北ノ二方ハ蒔田村ニ續ケリ東西五丁南北四丁餘民戸二十軒土地平カニシテ南ノ方ノミ少ク山アリ陸田多ク水田少シ天水ヲモテ耕作スレハシハ早損ス御入國ノ後今ニ至ルマテ御代官所ニシテ久シク間官權ニ耶世々支配セシコト物ニ見ユ後邊替有テ今ハ大貫次右衛門支配セリ檢地ハ前村ニ同シ新田ノ檢地モ亦然リ



宝生寺境内圖

高札場 村ノ北方

小名 門前 東ノ方ニ云下 柿谷戸

女坂 荒畑 姥カ懷 大谷戸 東南ノ方

戸 臺田 西ニ 雜色 西北ノ方 中谷

丸山 清水谷戸 堂免 石畑 北ノ方

同 門田

子神社 除地七畝西ノ方ニアリ

寶生寺 除地五畝東ノ方

青龍山 寶金剛院 眞言宗 末寺 四十八ヶ寺

言指法談所 三十四院 武藏三ヶ國ノ古義

年公法式ノ御黒印ヲ賜リ今ハ石川談義所

寺寶ノ内法談所ニシテハ古ヨリノ事ニ

トアノハ法談所ニシテハ古ヨリノ事ニ

セラレ長ニ定メラレシモ先規ニヨリテ命

別當寺ニシテ承安年中法印覺清開基セリ熊野社ハイツノ頃カ衰微シ今小祠ヲ境
内ニ建テ鎮座セルノミ又應永十六年住僧覺尊カ時京都仁和寺門主ノ命ニヨリ御
室ノ闕坊寶金剛院ノ號ヲモテ院號トセラル其時ノ文書今ニ藏スサレハ覺清ヲ始
祖トシ覺尊ヲ開山ト稱ス覺清カ寂年詳ナラス覺尊ハ應永二十四年十一月二十二
日寂 灌頂堂天文十五年智勇阿闍梨造立スル所ニテ則本堂ナリ本尊大日ノ坐像
ニ安置セシテ當時十世ノ僧覺雄カ時愛ニ移シ後慶長六年十月間宮彦 寺寶 湜
次郎直元彩色ヲ加ヘタリモトノ本尊ハ白衣觀音ニシテ今傍ニ安置ス
槃像一軸 十六羅漢畫像一軸 文珠畫像一軸 以上三種 弘法大師畫像一軸
普賢畫像一軸 尊勝曼荼羅一軸 觀智曼荼羅一軸 文珠畫像一軸 以上六種 弘法
辨財天畫像一軸 不動畫像一軸 以上二軸 智 釋迦畫像一軸 五大尊畫像一軸
愛染畫像一軸 以上三軸 兩界曼荼羅一軸 青磁香爐一箇 古文書十三通 其文左
石川村內爲坊地 畠一事

右爲祈禱民部律師覺尊所宛行也仍狀如件

康應元年八月三日

行者花押

民部律師御房

民部卿口印權少僧都覺尊申院號事請御氣色令補任仁和寺闕坊寶金剛院也任先
法可被行時義之由補與之狀如件

應永十六年卯月十五日

別當法印大和尚位玄範花押

補任

石河熊野權現別當職事

權大僧都覺尊

右以彼人所補任之也任先例之可有執務之狀如件

應永廿年極月十一日

權大僧都快尊花押

補任

熊野堂領武州久良郡平子郷內石川村寶生寺別當職在別事

法印權大僧都覺尊

右以彼人所補任之也任先例可有執務之狀如件

應永廿一年五月十三日

權大僧都快尊花押

詩田郷彦四郎在家事

右花の木かいと畠一反并ニ田二反御年責任先例至沙汰付寶生寺後中永代可爲

耕作處也仍執達如件

應永廿四年□酉九月三日

□祐花押

寄進

寶光菴

武州久良岐郡平子郷内禪馬之村寶光庵領田九段畠八百文代并根岸村田一段事
爲現當限永代所寄附也早東隣書記弟子東□□寺爲庵主可被執務之狀如件

寶德二年七月二日

石河寶生寺住持法印圓鏡花押

寶光菴主

右ニ曉ル寶光菴ハ所在詳ナラス後
廢セシニヤ今此邊ニ其開エナシ

武州石河寶生寺事爲當所未寺可有御扶持之狀如件

享德四年九月二日

花押

官内卿法印

寄附

平子郷根岸村三分一方百姓藤内五郎事
平子次郎事

右彼在家之田畠年貢七貫三百五十文此内壹貫文者夏島分六貫文者秋年貢合七
貫文爲圓鏡法印二親燒香分寶生寺江永代致寄進處也餘三百五十文者每年眞照
寺江可納者也次彼在家之佃公事之分同年々ニ眞照寺江可納所也然者於後代圓
鏡遺跡不可有違亂者也仍證文如件

寬正四年癸未五月九日

眞照寺法印圓鏡花押

石河寶生寺圓眞僧都

禁制

武州久良木郡平子郷於石川談義所當手軍勢濫妨狼籍事
右有違犯之輩者可被處罪科之狀如件

文明十年二月日

沙彌花押

爲當陣御祈禱卷數一枝羽苗者預贈給以祝着之至也恐々謹言

卯月十日

沙彌道灌花押

謹上 寶生寺

寶生寺門前之者共垣端公事之儀其外諸公事等高原寺依御々御赦免候於向後誰人兎角不可也爲其兩人以判形々入也仍如件

天文十一年壬寅十一月十日

江戸攝津守淨仙花押
景福軒呂胤花押

寶生寺御同宿中

本牧郷石河村之内於寶生寺門前中郡代以下諸役堅可停止之同於門中出家横合非分之儀不可々懸者也仍執達如件

天文十四年六月三日

花押

御札委曲之拜見ひ了抑爲御籠居御登山之由示給ひ御本意之至祝着ひ今夏過ひ者早速御下向目出ひ諸篇其時分可々事口投筆ひ恐々敬白

二月廿三日

謹上 寶生寺房下

前三河守之季花押

此餘天正十八年未問秀吉ヨリ 鐘樓鐘ハ元禄八年ノ鐘 熊野權現社小社ナリ勸出シ制札アレト爰ニ畧ス

ナラサレト前ニ云知リ當寺却ア此社ノ別當寺ニテ承安年中基立ストイハ古社タルコト明ク且寺寶ノ内應永二十一年ノ文書ニ熊野堂領武州久良郡平子郷内石河村云々トアレハ舊ソハ社領モアリト知ヘン 辨天社小祠ニテ瀧頂堂ノ右ニアリ

根岸村

根岸村ハ郡ノ東ニ當リ東海道保土谷宿ヨリ南一里九丁ヲ隔土人平之庄ニ屬スト傳レトコノ庄名ハ當村而已ニテ外ニコノ唱ナク且近村平子庄多ケレハ爰モサ有ヘキナカク傳ヘ訛リシナルヘシ此地西北山ニシテ其根岸ナレハ則村名トスト云石川寶生寺所藏寶德二年ノ文書ニモ此村名ヲ載タリ江戸日本橋ヨリ行程九里半家數百八十南ハ海濱ニ傍ヒ西ハ龍頭村ニ接シ北ハ小山ヲ界テ堀之内村ニ續キ東モ山ヲ隔テ横濱村ニ隣レリ東西二十丁南北三十丁地形高クシテ土性ハ眞土黒土砂小石交レリ畑多ク田少シ天水ヲ仰テ耕植ス此村古ノ領主ハ詳ナラス石川寶生寺所藏ノ文書ニ據ニ同寺ノ住僧圓鎮寶德二年當村ノ内田一段寶光庵所在詳ナラスニ寄附シ寛正四年ニ當所ニテ七貫文ヲ寶生寺ニ寄附ストアリ又同僧文明五年磯子村眞照寺境内阿彌陀堂領トシテ禪馬根岸兩村ノ内ヲ寄進セシト眞照寺ニ藏スル寄附狀ニ見エタリ御入國ノ後御料所タリシカ何ノ頃ニヤ小濱佐右衛門同三郎四郎菅谷平八郎藤本主計松浦隼人等カ祖先ニ分テ賜ハリ今ニ替ラス檢地ノ年代詳ナラス

高札場 村ノ中程

小名 上 馬場 下 以上北ノ 芝生 南ノ方 加曾 東ノ方 立野 北東ノ方

山坂 馬場坂 北ノ續ケリ 高十五丈 此山ニ坂八ヶ所アリ 上坂入ノ坂下 海村ノ南ニスアリ 海邊ノ民漁

八幡社 除地一段 半ニ三間 半實積寺持下ニ社同持ナリ 社 末社稻荷祠 金毘羅祠

王子權現社 除地十五字 何ノモ小社ナリ 以 ○社護子社 除地二十步 村 ○稻荷社 二字

除地六步 村ノ北ニスアリ 持前ニ同ニ社ナリ ○白山社 二字 寺持一ハ 除地六步 村ノ北ニスアリ

大聖院持 ○第六天社 除地六步 村ノ北ニスアリ 下 ○熊野社 除地十八步 村ノ北ニスアリ

宇佐八幡宮 除地五畝 德院殿ニ任ハ奉リ 御代官ニテ此邊ヲ支配セリ 其頃勸請セシニヤ

大神宮 除地十五步 畝 ○淺間社 除地十八步 畝 ○山王社 除地一畝 二十步 村ノ民 ○諏訪社 一段

餘村ノ東 ○御嶽社 二字 共ニ村ノ東方ニテ年 寶積寺 除地二畝 村ノ北ニスアリ 古義具首宗石川寶生寺末明玉山不動院ト號ス 本堂

順ト云 僧再ヒ中興ス ト云 本尊不動 太子堂 四間ニテ間ノ堂 海照寺 除地一段 二畝 是モ長四尺 二寸 聖德太子ノ作 寬永八年 僧某中興ス ト云

大聖院 除地一段 二畝 村ノ長ニスアリ 同宗同末ニテ 根岸山ト號ス 天文五年ノ起立ト

五寸安阿彌 寺寶 不動畫像一幅 智證大師 觀音堂 除地一畝 六步 村ノ申西ノ方ニスアリ ○地藏堂 除地二畝 村ノ東ノ方ニスアリ

不動堂 除地六步 是モ同邊ニスアリ 堂ハ四間ニテ間ノ堂ニテ 元祿 ○藥師堂 見捨地村

ハ六間ニテ三間 戸部村

戸部村ハ郡ノ北橋樹郡ノ界ニアリ 東海道保土谷宿ヨリ二十八丁ヲ隔ツ古當所ニ戸部民部トイヘル者居住セシ故村名起リシナラントイヘト却テ此人在名ヲ稱號トセシモ知ヘカラス其居蹟ハ村ノ字御所ノ上ト云所今陸田トナリ僅ノ古塚存スルノミ其事跡年代都テ詳ナラス又村名ノ文字舊クハ富部トモ書セリ北條役帳ニ久良岐郡富部トアリ永祿ノ頃北條氏ヨリ出セシ文書ニハ富部トモ或ハ戸部トモ記セリ下ノ文書證スヘシ又都筑郡市尾村ニ傳ル天文十二年同キ十七年ノ文書皆戸部ト見ユ戸富通用セシ事知ヘシ六浦庄ニ屬シ江戸日本橋ヨリ行程八里村ノ四境東ハ海濱ニ限リ南ハ山ヲ界トシテ太田村ニ隣リ西ハ橋樹郡保土谷宿ノ内岩間町ニ錯リ北ハ入海ヲ隔同郡神奈川宿ニ對シ巽ノ方ハ洲乾ノ湊ニテ對岸ハ當郡横濱村ソレヨリ南ニヨ

新編武蔵風土記稿 久良岐郡卷五 十

リテハ大岡川ヲ限トシテ吉田新田ナリ東西十五丁餘南北十一丁許地形南ノ方高クシテ其餘平地ナリ土性野土ニテ陸田多ク水田少シ天水ヲ滲ヘテ耕作スレハ旱損多シ家數百五十一農隙ニハ海濱ニ出纒ニ漁獵及海草ヲ採テ生産ノ資トス此村古ノ領主ハ傳ヘサレト前ニ云市尾ノ文書ノ内天文十七年五月七日北條氏康ヨリ上原出羽守ニ與ヘシ文書ニ武州之内戸部之郷七十貫文之地進之候可有御知行候云々又同年八月十日ノ文書ニ戸部郷末年之年貢之内中村平四郎給二十貫文此内兩度ニ十五貫文謂取殘テ五貫文請取殘テ五貫文未進早々被申付可被相渡候トアレハ此年出羽守ニ與ヘ且其以前中村平四郎カ給地アリシコト知ラル北條役帳ニ上原出羽守カ所領六十七貫七百八十文久良岐郡富部大鏡寺分ト載又柚井領七十二貫四百二十三文富部臨江寺分トアレハ北條陸奥守氏照モ當村ノ内ヲ領セシコト知ヘシ役帳ニ云大鏡寺ハ何ノ頃廢セシニヤ臨江寺ハ今ノ林光寺ナルヘシ御打入ノ後ヨリ御料所ニシテ今ハ御代官大貫次右衛門支配ス檢地ハ文祿三年原田佐左衛門承應三年八木次郎右衛門貞享三年八木仁兵衛元祿七年細井九右衛門同十三年阿部飛騨守享保十八年寛保曆八年志村多官寛政九年野田文藏糺セリ

高札場ニケ所ニハ村ノ東ニアリ一ハ浦高札

小名 野毛村ト別ニ一方洲乾湊ニ傍シ所チ云元祿改定ノ國圖ニハ戸部ノ内野毛十家許愛ニ居住セリ西ノ方位文字 石崎北ノ方 羽澤中程ニ

山ノ方ニテ本牧ニ通スル往還此山ヨカ

海ノ方ナリ

洲乾湊 巽ノ方ニアリ江戶マ船路八里ナリ此湊ノ入口ニ大石ニツアリ一ハ水面近キ頃荒浪ニ碎ケテ僅ニ殘レリ是ヲ燒嶋ト呼又夫

大岡川 南ノ方ニテ洲乾湊ヘ入リ幅十間許

溜井 巽ノ方ニテ洲乾湊ヘ入リ幅十間許

杉山明神社 除地五畝十二歩西ノ方ニアリ小社南向上屋二間ニ三間拜殿二間

官司社 除地二畝

○稻荷社 除地少許

第六天社 除地二畝以上三社モ同

○太神宮 除地三畝

寺持 第六天社 除地少許

○山王社 除地少許

○天神社 除地少許

○稻荷社 除地少許

子神社 除地三畝野毛ノ鎮守ナリ村内大

南ノ方ニテ

田村普門院 持

姥神社 除地少許野毛ノ内ニテ海邊ニアリ本地佛十一面觀音

林光寺 除地五畝二十六歩南ノ方字寺山ニアリ禪宗臨濟派相州鎌倉建長寺末禰樹

右如此定末代不可有相違然者五年一度宛可仕直猶善九郎隨觸可走廻此上致浦

沙汰付而者諸百姓一々ニ可被爲頸切旨被仰出處仍如件

北條氏虎印アリ
己巳七月七日

戸部大經寺

百姓中

戸部出

右當郷於三〇上原甚次郎仕〇就不足被相押〇當年〇領主へ相渡只今郷中ニ殘
〇分明白ニ書立來三日小田原江參可申上〇少〇致用捨慮〇書付申上〇者後日
御耳ニ入次第百姓頭可被爲切頸者也仍如件

北條氏虎印アリ
巳十月廿六日

山角刑部左衛門尉 奉之

大草左近大夫

一當郷人改之儀者信玄相豆武之間ニ出張〇者途ニ可遂一戰事人數ニ相極〇間
御扶助之〇悉一頭ニ可被召仕其時者三ヶ國之城々留守可爲不足此度可爲是非

弓箭間御出陣御留守番其模寄之城爲可被仰付〇在城之間者兵糧可被下〇御國
ニ有之役一廻可走廻事 付此度張面御披見上有之指引摸
様ハ重而以御印判可被仰付事

一さかゝく走廻者ニ〇者隨望何様之儀成共可被仰付事

一當郷ニ有之者一人〇隱置此帳ニ不付者後日聞出次第小代官名主可切頸事

一若々此帳ニ不載者〇出者大忠也何にて〇永代望〇儀可被仰付〇田地成共可

被下又者當分御褒美成共可被任望事

以上

北條氏虎印アリ
未三月七日

安藤豐前守 奉之

富部兩分 小代官
名主

禁制

一軍勢甲乙人等濫妨狼藉事

一放火之事

一對土民百姓等非分之儀申掛事

右條々堅令停止訖若於違犯之輩者忽可被處嚴科者也

本間秀吉印アリ

天正十八年四月日

尾張屋新田

尾張屋新田ハ郡ノ西南ノ端ニテ東海道保土谷宿ノ東十一丁ヲ隔テアリ此地ハモト
 入海ノ内寄洲ナリシヲ橘樹郡大師河原村ノ民池上太郎左衛門所ヲ見テ新墾セント
 海水ヲ埋メ築立テ村民武平次カ曾祖父太仲ト云ル者ヲシテ開發セシメ其子武平次
 カ時ニ至リ新田ノ四方ニ高五尺敷四間ノ水除堤ヲ築キテ開墾ノ功ヲ全セリ其年代
 詳ナラサレト池上太郎左衛門カ子孫太郎右衛門カ家ノ傳ニ寶曆十三年池上太郎左
 衛門卒豊ヲシテ荏原郡麴谷村邊ヨリ久良岐戸部村邊ニ至ルマテノ間海濱ニテ新墾
 スヘキ地ヲ求シメラルトイヘハ當所開墾モ此時ナルヘシ太仲カ家ヲ尾張屋ト呼ヘ
 ル故新田ノ名トス此人一旦尾張殿ニ仕ヘシカ致仕セシ後深川築地ノ鐵座トナリ又
 甲斐國ニ至リ御普請ノ御用ナト勤メ其地ニテ死セリト云當所開發ノ後安永八年飯
 塚伊兵衛檢地シテ高入トス高四石七斗九升六合段別二町七段二畝二十一步ナリ江
 戸日本橋ヨリ行程八里餘家數二軒四境北東ニヨリテハ入海ニ限リ東南ニ亘リテ戸
 部村及橘樹郡保土谷宿ノ内岩間町ニ隣リ西ハ帷子川ヲ隔同郡芝生村ナリ東西南北
 共ニ二丁許地形低クシテ砂地ナリ水田少ク陸田多シ水旱共ニ患アリ開墾以來御料
 所ニシテ今ハ御代官大貫次右衛門支配ス

稻荷社除地四歩北ノ方ニ
 小祠村民持

新編武藏風土記稿卷之七十七終

新編武藏風土記稿卷之七十八目錄

久良岐郡之六

本牧領

龍頭村

岡村

太田村

詩田村

磯子村

吉田新田

井戸谷村

久良岐郡之六

本牧領

瀧頭村

瀧頭村ハ郡ノ巽ノ方ニテ東海道保土谷宿ヨリ一里九丁ヲ隔テリ禪馬郷平子庄ト呼
フ古ハ當村及岡磯子ノ村々ヲ合テ一村トシ禪馬郷ト唱ヘシト云正保改定ノ國圖此
三村ヲ載タレハ其前既ニ分村セシコト知ヘシ按ニ石川寶生寺所藏寶德二年ノ文書
ニ禪馬之村ト記シ及磯子村眞照寺文明年間ノ寄進狀ニ據ハハヤク禪馬ヲ村名ニ呼
シナリ又當時禪馬ハ村ニシテ小ニ平子カヘリテ郷名ニシテ大ナリシ由見エタリ四
界東ハ根岸村ニ交リ南ハ海濱ニシテ西ハ磯子村ニ隣リ成ノ方ハ岡村ニ續キ北ハ山
丘ニテ女坂トイヘル山道ヲ越レハ堀之内村ナリ東西六丁餘南北十七丁許平地ニシ
テ土性砂利眞土等交レリ田畑相半シ用水不便ナレハ旱損ノ患アリ家數四十八江戸
日本橋ヨリ行程十里眞照寺文明五年ノ寄進狀ニ久良岐郡平子郷内禪馬根岸兩村三
分一之所領依爲圓鎮之亡父師道道久禪定門譜代知行嫡子圓鎮法印相續之仍以此所
帶爲亡父道久并簾綱簾提同先祖之菩提永代當寺之阿彌陀三尊奉寄進云々トアレハ

新編武藏風土記稿卷之七十八

久良岐郡之六

本牧領

瀧頭村

瀧頭村ハ郡ノ巽ノ方ニテ東海道保土谷宿ヨリ一里九丁ヲ隔テリ禪馬郷平子庄ト呼
 フ古ハ當村及岡磯子ノ村々ヲ合テ一村トシ禪馬郷ト唱ヘシト云正保改定ノ國圖此
 三村ヲ載タレハ其前既ニ分村セシコト知ヘシ按ニ石川寶生寺所藏寶德二年ノ文書
 ニ禪馬之村ト記シ及磯子村真照寺文明年間ノ寄進狀ニ據ハハヤク禪馬ヲ村名ニ呼
 シナリ又當時禪馬ハ村ニシテ小ニ平子カヘリテ郷名ニシテ大ナリシ由見エタリ四
 界東ハ根岸村ニ交リ南ハ海濱ニシテ西ハ磯子村ニ隣リ戌ノ方ハ岡村ニ續キ北ハ山
 丘ニテ女坂トイヘル山道ヲ越レハ堀之内村ナリ東西六丁餘南北十七丁許平地ニシ
 テ土性砂利真土等交レリ田畑相半シ用水不便ナレハ旱損ノ患アリ家數四十八江戸
 日本橋ヨリ行程十里真照寺文明五年ノ寄進狀ニ久良岐郡平子郷内禪馬根岸兩村三
 分一之所領依爲圓鎮之亡父師道道久禪定門譜代知行嫡子圓鎮法印相續之仍以此所
 帶爲亡父道久并兼綱兼提同先祖之菩提永代當寺之阿彌陀三尊奉寄進云々トアレハ

禪馬三村ノ内當時僧圓鎮カ所領アリテソレナ阿彌陀堂領ニ寄進セシナリ圓鎮ハ石川寶生寺第三世ノ住僧ナリ其父何人ナルコトヲ知ス御入國ノ後御料所ナリシカ寶永七年小濱志摩守ニ給リ今子孫佐右衛門カ知ル所ナリ

高札場 海濱ニヨ

小名 玄蕃屋敷 村ノ成ノ方ニア 砥石 同邊ニ 曲松 亥ノ方ニアリ古屈曲セ

本根ノ跡今ニ五間 供養塚 戌ノ方 月見塚 未ノ方 畑塚 巳ノ方 經塚 海濱ナ

四方ノ見捨地アリ 龍頭塚 中程ヲ云爰ニモ小塚アリ來由詳ナ 平右馬允井戸 同邊ナ

高六七尺 戸云テ平子平右馬允カ汲シ井ナリ 山 北ノ方堀之内村界ニアリ

海 南ノ方ナリ村民漁獵

八幡川 當村及岡根岸等ノ村々ヨリ出ル水一條ノ流トナ

三島八幡氷川合社 除地二段異ノ方ニアリ社ハ三間半ニニ間社内ニ東照宮ヲ祀奉

末社稻荷社 辨天社 〇神明社 年貢 〇山王八幡合社 見捨地二十歩

稻荷社 年貢地以上ニ社 〇貴船社 見捨地廿四歩村 〇山王八幡合社 同邊ニアリ

神明社 見捨地十四歩 〇子神社 見捨地二十歩

密藏院 年貢地北ノ方ニアリ古義真官宗石川寶生寺末流頭山ト號ス客殿六間半ニ

三日 化ス 地藏堂 除地五畝北ノ方ニアリ 〇毘沙門堂 西ノ方ニアリ小

磯子村 磯子村ハ郡ノ良ノ方ニ當ル東海道保土谷宿ヨリハ南ニテ一里九丁ヲ隔テリ此村古

ハ岡龍頭ノ村々ト一村ナリシユト及郷庄ノ唱江戸日本橋ヨリノ行程等前村ニ同シ

家數八十五東ハ龍頭村ニ隣リ西ハ上大岡村南ハ森公田村此西南ノ二方ハ山ヲ以テ

村界トス巽ノ方ハ海濱ニ至リ北ハ岡村ニ錯レリ地形高ク土性ハ砂利赤土眞土ノ三

種交レリ岡村ヨリ流來ル水ヲ田間ニ沃ケトモ水少クシテ早損ノ懸アリ御打入ノ

後御料所ナリシカ寶永七年御代官樋口又兵衛支配セシトキ星合攝津守小濱志摩守

二人ニ賜リ今子孫星合鍋五郎小濱佐左衛門知行ス檢地ハ文祿四年糺アリシ後寛文

十三年成瀬五左衛門再檢地セリト云當村ノ飛地龍頭岡兩村ノ内ニアリ

高札場 村ノ巽ノ

小名 塚堀 ヘニトリ 鳩打 間坂 數谷 大久保 山王前 磯口 山田谷

入之谷 以上十ヶ所ハ 室木 東ノ方 峰 城堀 徳ナギ 馬渡リ ナコウ 以上

新編武藏風土記稿 久良岐郡卷六

二

所ハ西ノ 腰越北ノ方ヲ 小谷

山別六町四畝一步又南ノ方ナリ山上ニ地頭林アリ段別三段三畝十步

海引網或ハ手操綱ナトイヘルヲ以テ漁獵ス村内ニ極印ノ羅船十六艘藁草船四艘

ヲ定數ノ資トスレト當村ハ最盛ナリト云

山王社除地一段七畝十八歩坤ノ方山ノ中腹ニ安ス萬治三年九月七日御代官嶋田

太郎兵衛社造立ノ棟札アリ ○神明社ニアリ小祠 ○御嶽社方ニアリ ○遮愚爾社

村内金藏院持下四社同シ ○第六天社年貢地西ノ方 ○稻荷社年貢地東ノ方海岸ニ

同方ニアリ ○真照寺東北ノ方ニアリ古義眞言宗石川寶生寺末禪馬山三郷院ト號ス古禪馬郷ヲ

兵衛ヨリ當寺開基ノコトヲ尋シ時書上ニ草稿ヲ綴ス其畧ニ當寺ハ元曆元年平子

平右馬丞再興スル所ニテ後文明五年ニ圓鎮トイヘル僧造營ヲ加ヘト云サレ

ト此舊記ノ外考證トスヘキモノナリ且平子野平右馬丞カ事跡等其傳ヘテ又東鑑

建久四年五月二十八日ノ條ニ爲祐成等多以被統所謂平子野平右馬丞カ事跡等其傳ヘテ又東鑑

々會我物語十番切ノ條ニ武藏國住人タイノハイマノスケ一本ニ當寺ヲ再興セ

シ人ナルヘ今當郡ニ平子庄アリ圓鎮ハ本寺開山ヨリ三世ノ住僧ニ當寺ヲ再興セ

一七貫三百五十五文ノ内實生寺ニ實生寺ニ寄附シ三百五十五文ハ每年眞照寺ニ納

鎮シ次役在家ノ佃公事ノ分同ク實生寺ニ納ヘキ由テ實生寺ニ納メテ寄附シ

年ニ納メテ其寄進狀ハ阿彌陀堂ニ書上ニ出セリ寺領四石九斗餘ノ御朱印アル由載タレ

ハ慶安ニハ先規ニヨリテ賜リシコト知 三島明神社 客殿ノ西 阿彌陀堂 客殿ノ

眞照寺

武州久良岐郡平子郷内禪馬根岸兩村三分一之所領依爲圓鎮之亡父師道ニ久禪
定門譜代知行嫡子圓鎮法印相續之仍以此所帶爲亡父道久并簾綱簾提同先祖之
菩提永代當寺之阿彌陀三尊奉寄進處實正也若於譜代諸緣類他人以下於彼所帶
致競望及違亂之輩ニ者相伴于惡神善神而爲其身作大鐘等若爾者弓矢員加永絕
子孫悉滅己爲出家人者疾病七難忽起法命頓損失矣變時刻到來而彼本尊可奉修
理再興間如彼寄進狀別而一通認之可奉納本尊頭頂者也爾者付寺領仁故障尋有
輩者蒙本寺御罪於現世者得種々之災難於後生者隨無間獄者也依之圓鎮志願之
旨定本尊哀愍納受不可有疑兼又地中之諸神天上之諸天悉皆可守護當寺者也
仍爲後代寄進狀如件

文明五癸巳年五月十四日

眞照寺法印圓鎮花押

鐘樓門ヲ入テ右ニアリ寶曆五 門四足ノ門ナリ一
鐘樓門ヲ入テ右ニアリ寶曆五 門間半ニ一間二尺

金藏院 除地境內三畝山一段七畝廿一步南ノ方ニアリ同宗同末海向山岩松寺ト號三年理空トイヘル僧遺立シ後僧頼殿天正四年中興セリト云

不動堂 年貢地未ノ方ニアリ ○阿彌陀堂 除地一畝五步 ○阿彌陀堂 年貢地金藏院ノ向堂ト呼フ

岡村

岡村ハモト龍頭磯子ト一村ナリサレハ郷庄ノ唱檢地ノ年代等スヘテ彼ノ村々ニ同シ郡ノ中ヨリ辰ノ方ニ在テ東海道保土谷宿ヨリハ巳ノ方一里七丁餘ヲ隔ツ江戸日本橋ヨリ九里半村名ハ土地高クシテ岡ナルヲモテ呼ヘリト云家數五十三東ハ龍頭村西ハ上大岡村南ハ森公田村北ハ詩田村ナリ又巳ノ方ニ磯子村カ、レリ東西十八丁南北十九町土性砂地ニ眞土交レリ用水ハ谷合ノ細流ヲ引用ニ田畑山皆等分ナリ天正以來御代官所ニテ間官權三郎世々支配シ其後細井九左衛門代リシカ元祿九年七月藤川庄右衛門竹尾戸市郎ニ頒テ賜ヒ其餘モ同十一年久世平九郎ニ賜ハリ今子孫藤川甚之丞竹尾平右衛門久世丹波守等カ知行所ナリ龍頭村內ニ飛地三段許アリ高札場ニケ所ハ西ノ方小名竹ノ谷ニアリ一 小名 堀込谷 竹谷 石長谷 以上皆西ノ 矢久保谷 小谷 泉谷 山下 未

明田 以上共ニ南 砥石 曲田 以上東ノ 傳馬坂 北ノ方 奥谷 西北ノ

山 巽ノ方磯子龍頭ノ接地ノニ平地ニ連リ 溜池 長三十間横二十間

杉山明神社 除地一畝五步村ノ東ノ方ニアリ村

太神宮 除地十六步村ノ南山上

天滿宮 除地一畝十五步村ノ東南山上

龍珠院 境內年貢地禪宗曹洞派郡內町屋村傳心寺末泉谷山ト號ス本尊十一面觀音ハ北條氏ニテ大永二年造立スト云常陸介氏繁カ文書ニ據テ考フルニ其父上總介綱成カ開基セシニヤ氏繁及其子左衛門大夫氏勝カ文書凡三通アリ常陸介氏繁ハ上總介綱成ノ子ニシテ母ハ北條氏綱ノ女ナリ天正八年十月三日卒ス歳四十三法名龍寶 寺寶 古文書三通

龍珠院目前々相付ル寺領并寺中竹木以下地頭代官百姓横合不可有之ハ次與樂庵末寺之由ハ是又當寺可爲御同意ハ恐々敬白

元龜三年壬申正月廿六日

龍珠院衣鉢閣下

北條常陸介ナリ 氏繁花押

當寺寺領之儀老父被付之始末不可有横合御證文被進之間於拙者同前之由申届只今領主違亂之由一段之非分老父御直々御寄附殊更拙夫行肥へ當郷進置高辻

之外ニハ之間彼於寺領分者領主綺一圓不可有之ハ爲後日委細書認ハ猶相違之儀有之ハ々々可及其理ハ者也仍如件

天正六戊寅年二月廿六日

氏繁花押

龍珠院

龍珠院寺中從前代御證文被任置ハ於當代其分一點被口不可有相違ハ如御證文可然ハ若々從橫合相違ハ者此方江可承ハ爲目今以後當代之證文違ハ者也仍如件

天正十一年癸未十二月廿四日

北條左衛門大夫ナリ 氏勝花押

龍珠院

與樂庵 境内年貢地龍珠院文書ニ與樂庵末寺之由トイヘル是ナリ今モ龍珠院末寺三月化ス 客殿四間 延命山ト號ス本尊地藏開山ハ本寺二世ノ僧異相一無天文二十年

金剛院 境内年貢地古義具言宗石川實生寺之ノ末瑠璃山ト號ス開山長樂元祿九年正月十五日化ス古老城ハ古刹ニシテ長樂ハ中興ナリト云本尊藥師置

阿彌陀堂 境内年貢地村ノ北ニアリ三間龍珠院ノモナ

吉田新田

吉田新田ハ郡ノ北ニアリ東海道保土谷宿ヲ去ルコト三十丁江戸日本橋ヨリ行程九里此地モト入海ナリ萬治二年江戸材木町ノ商勘兵衛願ヒ上テ大丸小丸二山ノ土ヲ

モテ四方ニ長三千五百五十間餘ノ堤ヲ築キ入海ヲ埋メテ新田ヲ開ケリ大丸ハ中村小丸ハ太田村ニアリ功畢テ後己カ苗字吉田トイヘルヲモテスナハチ新田ノ名トス勘兵衛此功ニヨリテ苗字ヲ名乘帶刀スルコトヲ許サル四隣東ハ洲乾湊ニテ對岸ハ横濱村南ハ蒔田中ノ二村ニ及西ハ太田村北ハ戸部村ニ接セリ此三方共ニ大岡川ナ境トス東西六丁南北八丁許土性砂地ニテ水田多ク陸田少シ大岡川ノ水ヲ引テ用水トス水旱共ニ患アリ村高千三十石ハ勘兵衛カ子孫二人ニ賜ハリ其餘民家八十軒餘ニ及ヘト皆俗ニ小作百姓ト稱スルモノニテ田畑ニ至リテハ勘兵衛カ子孫ノ持ナリ開發以來御料所ニシテ今ハ大貫次右衛門支配ス檢地ハ延寶二年八木仁兵衛糺スト云

高札場 北ノ方

小名 町屋 北ノ方

太田前 西北ノ方

上新田 南ノ方

中新田 東南ノ方

下新田

東ニ

大岡川 南西北三方ノ村境ヲ流ル蒔田村ヨリ來リ西南ノ方ニテ二流ニ分レ一ハ南洲乾湊東ノ方ナリ說横濱戸

洲乾湊 東ノ方ナリ說横濱戸

山王社 除地西ノ方アリ村 ○稻荷社 除地同ノ方ニ

常清寺 除地三段五畝十歩東北ノ間ニアリ法華宗甲州身延山久遠寺末榮玉山ト號
勘兵コテ貞享三年七月二十六日死
ヲ法名日涼ト云本尊三寶祖師ヲ置

太田村

太田村ハ郡ノ西端橋樹郡ノ堺ニアリ古ハ六浦庄ヲ唱ヘシト云今ハ庄名ヲ稱セス村
内ニ昔太田持資入道道灌ノ屋敷アリシユヘ太田ノ地名起リシト云ノミニテ明據ナ
シ日本橋ヨリ行程前村ニ同シ四隣巽ノ方大岡川ヲ隔テ吉田新田ニ隣リ南モ同川ヲ
隔テ蒔田村ニ對シ坤ノ方井戸谷村ニ續キ西ハ永田村乾ノ方橋樹郡保土谷宿北ハ戸
部村ニ接ハレリ東西二十二丁南北六丁餘陸田多ク水田少シ地形西ニ山丘重リ麓ニ
陸田アリ東ハ川邊ニ添ヒテ水田連リ高低多キ村ナリ溜井ニテ所用水トスレトヤ、
モスレハ旱損スト云吉田新田開墾セサリシ頃ハ此邊海濱ニシテ鹽竈アリシト云今
モ鹽タレ坂ナト云ハ其遺名ナリトシ村内ニ條ノ道アリ一ハ保土谷ヨリ入テ井戸谷
村ニ達テ村ニカ、ル事十丁許幅二間ヨリ三間ニ至ル是ヲ金澤道ト云一ハ東ノ方ヨ
リ入西ノ方井戸谷村堺ニテ前ノ道ニ合ス道幅九尺ヨリ二間ニ至ル村ニカ、ル事二
十丁許民家八十三多ク西ノ方山麓ニ住ス當村古ノ事ハ傳ヘス御入國ノ後ハ御料所
ニテ八木次郎右衛門等支配シ其後シハ、遷替有テ今ハ大買次右衛門光豐カ支配ニ
屬シ其餘東福寺領三石アリ檢地ハ文祿三年原田佐左衛門改メ其後寛永十八年八木
次郎右衛門承應三年延寶二年八木仁兵衛享保十八年寛播磨守寶曆八年志村多官新
墾ノ地ヲ糺スト云

高札場 村ノ西井戸谷村

小名 上組 中組 西組 原組 村内ヲ四區ニ分テ新唱フ中ト西トハ文字ノ
東ニヨリ此四區ノ内 渡戸 東南ノ 岸ノ前 渡戸ノ東 谷前 東福寺ノ 子チ

キハナリ 天神下 山ノ下ヲ云 町田 前ノツ、 池上 東北ノ方 塔崎 蓮華院ノ
前ヲ 富士下 此所ニ道灌富士見ノ山 清水下 富士下ノ東 猿田 西北ノ方永

松葉 蓮華院ノ北ノ方太田道灌屋敷アリシ所ナリ跡ナ 大臺 松葉ノ北 獅
子ノ子 同シ續 夜見 東北ノ 塔腰 東ノ 清水臺 御林アリ 清水上 前ノツ、

富士塚 北ノ方

富士見山 淺間社ノ側ニアリ相傳フ昔太田道灌
此ニ登リテ富士ヲ眺望セシ處ナリト

大丸山 村ノ西方ニアリ萬治年中吉田新
田築立ノ時土ヲ此山ニ取リテ云

天神山 東ノ方ニアリ天神鎮座ノ地ナレハ名ト
松ノ御林アリ廣サ六段二畝二十歩

富士塚 北ノ方戸部村ノ境ニアリコトモモ松

大岡川 西ノ方井戸ノ方ニ谷田ニ村ニカ、ルコト流レ來リ南ノ方村界ヲ經テ吉田新田

溜井三ヶ所 一ハ字上ノ谷ト云所ニアリ廣サ十五間一ハ東ノ方ニアリ廣サ二十間

川除堤 設ケ高サ八尺九寸長千四百六十六間

杉山明神社 除地五間四尺九寸往還ノ西山ニ三間異向ノ鎮守ナリ前ニ鳥居ヲ建本

本地ハ藥師ニナリ長一尺二寸例祭九月十二日接スルニ都筑郡吉田村杉山社ハ延

喜式神名帳ニ載ル所ナリ天ト云近郷同祭神ノ社多シ皆彼神ヲ勸請セシナルヘ村

内大光院 持本ニ太神宮ニ天羅ノ二社アリ

淺間社 除地十五間ニ富土塚ト云小社ニテ覆屋アリ東ノ方ニ當テ社アル

天神社 除地十八間ニ富土塚ト云小社ニテ覆屋アリ東ノ方ニ當テ社アル

稻荷社 除地二間ニ富土塚ト云小社ニテ覆屋アリ東ノ方ニ當テ社アル

第六天社 除地十三間ニ富土塚ト云小社ニテ覆屋アリ東ノ方ニ當テ社アル

華院持 ○太神宮 除地五間四方長ノ方ニ ○稻荷社 除地二十間四方

東福寺 除地九段六畝七步原組ノ内ニアリ古義具言宗紀州高野山末光明山遍照院

鐵院ノ勸願所ナリト云傳フレト明證ナシ古ハ海邊ニヨリテアリシカ盜賊ニ燒亡

資入道 贈ナリト云今モ堂舎ニ枯椽ノ枝ヲ付ク寺領御朱印三石ハ天正 寺寶

短刀一腰 長一尺餘太田道灌ノ守刀ナリト云古物 佛像三軀 製作泥塑ノ如クニ

分一ハ二寸許共ニ古佛ナリハ長四寸許ノ坐身後光アリハ同形ノコト長三寸八

ノ正面ニ建 鐘樓 鐘造ノ右ニ銘文ナシ 大日堂 本堂ニ向テ長二尺ニ

上ニアリ 塔頭 西福院 長温院 成勝院 松南院 大元寺 成テ再建ニ及

普門院 永引三畝一步中組ノ内ニアリ同宗東福寺末福智山不動寺ト

藥王寺 永引三畝四間半異向本尊坐像長一尺四寸五分

蓮華院 永引六畝二間半異向本尊坐像長一尺四分

身長八寸許春日ノ昔ハ其所ニ藥師ノ除地別ニ五畝 藥師堂 本堂ニ向テ

許村ノ西方ニアリ六間半異向本尊坐像長一尺四分

大光寺 永引一畝二間半異向本尊坐像長一尺四分

觀音堂 上組ニアリ二間半異向本尊坐像長一尺四分

地藏堂 除地三間半異向本尊坐像長一尺四分

舊跡太田道灌別業蹟 西組ノ内ニアリ土人ノハ的場ト唱フヘキヲ轉訛シテカク呼

ナラント云云五六段塚ノ跡四ヶ所アリニハ相對シテアリ
ハ一丁許ヲ隔ツ一ハ其間ニアリ別業ノ所ハ全ク島トナレリ

吉祥寺跡ヲ本尊ハ本寺東福寺ニ置ク

舊家者名主勘七氏ヲ櫻井ト稱ス家譜ヲ按スルニ先祖ハ櫻井玄重政ト云永正十
三年四月六日七十歳ニシテ死ス其子孫將監重信ハ北條氏康ニ仕ヘ天正十一年五
月二十九日死ス重信ノ子將監宗信ハ北條氏政ニ仕ヘ宗信ノ子將監宗重モ氏政ニ
仕ヘシカ天正十八年小田原落城ノ時民間ニ下リ終ニ正保三年三月七日死ス其孫勘
七郎重喜慶長元和年間江口御城小買物御用ヲ勤メ正保三年三月七日死ス其孫勘
後ハ仕官セズ今ノ勘七マラスヘテ十五代ヨリ家ニ小買物御用ヲ勤シ時用ヒシ
小職及給一筋短刀一口アリ給ハ金剛兵衛盛孝ト銘スコハ北條氏ヨリ與シ時用ヒシ
云傳フ短刀ハ
吉久ノ作ナリ

井戸谷村

井戸谷村ハ郡ノ西方ニアリ多々久郷小机庄ニ屬ス古ハ當村及弘明寺中里完戸久保
五ヶ村ヲ通シテ多々久郷ト唱フ此地殊ニ地窪ナルユヘ井戸谷ノ名起リシト云或云
鎌倉將軍時代村内ニ清冽ノ井ニアリシ故村名起リシト小田原北條ノ頃ハ其臣森氏
ノ知行所ナリ北條役帳ニ五十八貫三百二十九文久良岐郡井戸谷十八貫六百文同郡
井戸谷癸卯増共森新三郎ト見ヘタリ東西十丁南北五丁許東ハ大岡川ニ添テ對岸ハ
蒔田村西ハ永田村ニ接シ南ハ弘明寺村北ハ太田村ニ隣レリ地形平行ニシテ土性ハ
赤黒ノ砂地及眞土モ雜レリ水田多ク陸田少シ引越村ノ溜井ヲ引テ用水トス江戸マ
アノ行程前村ニ同シ民家四十七外長吏小屋五村内ニ條ノ道アリ一ハ北ノ方ヨリ東
ニ通ス是金澤道ナリ村ニカ、ル事四丁許幅二間餘一ハ鎌倉道ト云是モ北ヨリ入テ
南ニ達ス村内ヲ過ルコト七八丁幅二間許一ハ小徑ナリ南ヨリ入西ノ方ニ達ス長四
丁許幅九尺程御入國ノ後ハ御料所ニテ間宮權三郎等支配シ其後元祿四年ヨリ聖堂
領トナリ今御代官大貫次右衛門支配ス檢地ハ天正十九年八月改メシト云

高札場小名下ノ前コアリ
小名 西方山村村ノ中央ヨリ少々太田 下ノ前巽ノ方 蒔田橋前ノツ、イロ
シ袋蒔田橋ヨリ少々 鶴巻南ノ 大界南ノ村 鳥井戸中央ヨリ西 坂本同邊
順禮橋コレモ 川田乾ノ方 八段目上ニ同 沖田 久傳田中ホト 宿前上
法心下何ノ頃ニヤ隣村永田村ニ法心坊ト云僧居シ由居跡ニ穴アリ今
山西南ノ方ニアリ高 一丁程雜木ヲアリ

大岡川下大岡弘明寺兩村ノ界ヨリ流來リ東北ノ方蒔田村ニ達ス村
住吉社乘蓮寺御朱印地ノ内ニ八尺上屋三間ニ四間異向村ノ鎮守ナリ例祭九月十
四日乘蓮寺 末社稻荷社本社ニ向 秋葉社左ニモ
持下同シ

大神宮是モ乘蓮寺御朱印地ノ内ニ立小社ニシテ山上ニテ前ノ住吉
一層高シ中腹ニ鳥居ヲ立小社ニシテ山上ニテ前ノ住吉

十二天社 除地一畝小宮ノ前ニアリ是モ

第六天社 除地十歩小名宿ノ前ニアリ ○稻荷社 除地七歩同邊ニアリ ○白山社 除地七歩小名宿ノ前ニアリ

乘蓮寺 永田村ノ境ニアリ古義具言宗石川實生寺末西向ト云傳フ本堂六間ニ五月十日再興棟札ノ銘ニ奉造立鐘舎二位尼御影堂一宇云々大檀那間宮彦次郎忠次襄

面ニ二位尼者北條四郎時政息女則右大將北御方頼家實朝兩公之爲慈母頼朝公逝

去之後經二十六年嘉祿元年乙酉七月十二日卒法名如實世人號尼將軍則是也井土

谷郷依爲尼公分願存日立影堂號乘蓮寺雖然度々兵亂破滅今秀譽法印發分信憑他

力令建立者也伏願以此功德每登上品蓮臺六趣類同開覺眼矣ト記ス開山ノ照

清法印ト云寂年詳ナラス慶安二年十月十七日寺額三石六升ノ御朱印ヲ賜ヘリ

寺寶 卷物一軸 尼將軍ノ一代記ニナリ 掛物二軸 繪トアノハ二軸トモニ條時政江軍緣起

籠ヨリ尼將軍臨終マテ一條ノ圖ヲ繪カシ 尼將軍堂 本堂ニ向テ右ニ坐身ニ長二

尺五寸許玉眼ヲ入テ威嚴ノ姿ナリ此堂ハ政子ノ向テハ木ノ坐身ニ長二間ニ

ノ爲ニ破壞セラレテ後寛永十年再建スト云前ニ記ス棟札ハ此堂ノ中頃兵亂

常福寺 除地八畝小名西方山ニ立像長七寸許開山開基ノ由緒詳ナラス 熊野社 本

ニ向テ左ノ方ニ祭九月十四日村內住吉ト隔年ニ執行フ 末祇稻荷社 本社ニ向テ

木ノ鳥居ヲ立例祭九月十四日村內住吉ト隔年ニ執行フ 末祇稻荷社 本社ニ向テ

地藏堂 永田村境ニアリ佛坐清心法印延享甲子年ト刻ス永田村西光寺持

尼將軍墓 太田村境ニアリ位牌ハ清福寺開山堂ニアリ如實妙觀ト題ス墳墓ノ事ハ載テ

院ニ葬セシナラシ地ニテ火葬スト東鑑ニ載セタレハ恐クハ勝長親

古蹟尼將軍化粧井 小名宮下ニアリ一ハ水涸テ廢井トナル一ハ石ニテ壘ム大ナ

名ノ起ルト云モ一説ニ村

塚四ヶ所 小名順禮橋ニ二アリ直徑二間半餘高六尺許又一ハ澁谷ノ勘解由塚ト稱

云此者ノ家號澁谷氏ナレハカク呼

ヘリ一ハ齋藤塚ト云由來詳ナラス

詩田村

詩田村ハ郡ノ北ニテ東海道保土谷宿ヨリ八丁餘ヲ隔ツ江戸日本橋ヨリ行程八里半

郷庄ノ唱ヲ傳ヘス石川實生寺應永二十年ノ文書ニ詩田郷彦四郎在家事右花ノ木カ

イト畠一段田二段云々トアリテ國郡ノ名ニ及ハサレト村ノ小名ニ花木ト呼所アレ

ハ是當所ノ地名ナルコト知ヘン當村ハ昔世田ヶ谷吉良氏ノ所領タリト云按ニ詩田

家譜ニ吉良左兵衛佐成高關東ノ公方 或説ニ持氏ヨリ武州世田ヶ谷相州詩田ヲ賜ト云

又荏原郡世田ヶ谷村蒙德寺開基ノ碑字ニハ成高カ父吉良左京大夫政忠ノ時此兩所ヲ

賜トアリ何レカ是ナル事ヲ知ラス但詩田ヲ相州ニ繫シハ誤ニテスナハナ此所ノコ

トナリ相州ノ内ニハ詩田ト稱スル地名古ヨリ聞エス且村内ニハ吉良氏ノ居蹟アリ

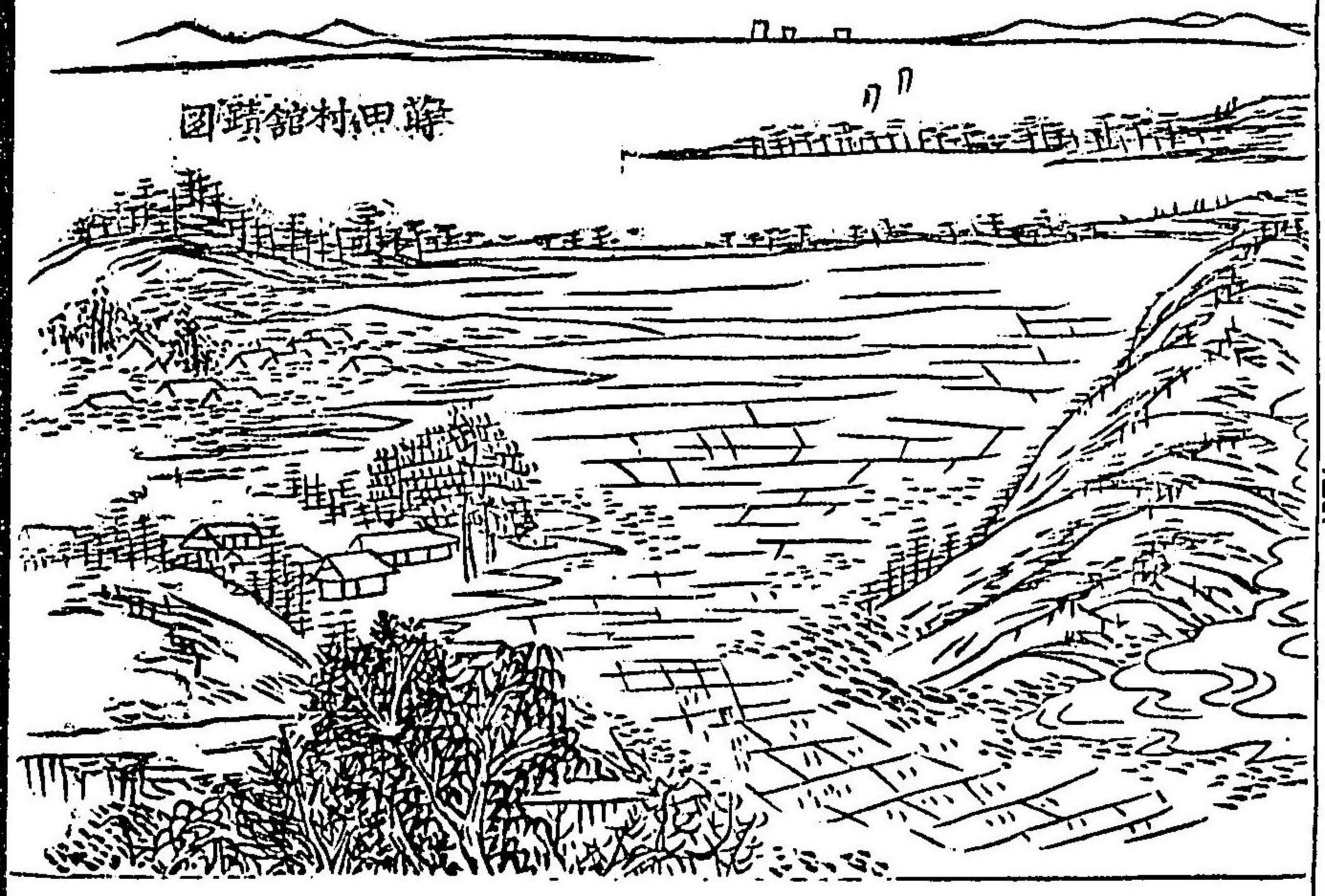
又軍記等ニ當所ニ吉良住セシコト著シ國境ノ地此彼混雜シテ記スコト其例少カラ

ス御入國ノ後御料所ニシテ間宮彦次郎支配シ正保ノ頃ハ八木次郎右衛門カ支配タ
リシコト物ニ見ユ後正徳二年村内ヲ裂テ大久保大隅守ニ賜リシヨリ御料私領入會
トナリ今御料ハ大貫次右衛門支配シ私領ハ大隅守カ子孫大久保甚四郎知行ス民家
三十餘地形平カニシテ水田多ク陸田少シ大岡川ノ水ヲ引テ用水トスレト不便ニテ
早損多シ又水溢ノ患モマ、アリト云村ノ廣狹東西四五丁南北七八丁東ハ堀ノ内村
ニ界ヒ南ハ岡村ニ接シ西ハ下大岡村ニテ北ハ大岡川ヲ境ヒテ井戸谷村及吉田新田
ニ隣リ檢地ハ文祿三年原田佐左衛門改ム其後開墾ノ新田ハ享保十八年杉庄右衛門
糟谷金右衛門等糺セリ

高札場

小名 花木 北ノ方ニシテ花ノ木カイトハ此所ナルヘシ 宿 西北ノ方金澤 城 根 原 花田
以上四ヶ所ハ村ノ中程ヲ云此内原トモ呼ヘリ 宿 西北ノ方金澤 城 根 原 花田
トチ合テ城山トモ或ハ清水トモ呼ヘリ 宿 西北ノ方金澤 城 根 原 花田

大岡川 北ノ方村境ヲ流ル下大岡村ニ板橋ヲ架ス新田橋ト呼フ御料所ナリ
杉山神社 除地四歩内無登寺持
社 除地四歩内無登寺持
勝國寺 除地四歩内無登寺持
二年六月十七日卒ス境内ニ墳墓アリ法名勝國寺殿照岳道旭大居士或ハ洞春院殿
トモ稱セリト云荏原郡世田谷村泰徳寺ニモ此人ノ墓アリ其碑面ニハ洞春院殿
ハ所見ナシ開山ハ本寺七世天永琳達ナリテ元和二年八月十一日寂スレト云當寺草創
ト年代齟齬スルニ似タレト此宗門ノナラヒ寺格曉キ時ハ開山ト稱スルコトナリ
ス此寺若シハ當寺格曉カリト此宗門ノナラヒ寺格曉キ時ハ開山ト稱スルコトナリ
達テ請テ開山トシテアルナ初ノ開山ハ詳ナラヒ寺格曉キ時ハ開山ト稱スルコトナリ
天文十年九月十日トアルナ初ノ開山ハ詳ナラヒ寺格曉キ時ハ開山ト稱スルコトナリ
佐頼康ノ孫吉良左兵衛 鐘樓門 四年入テ左ニ鐘アリ 白山社 是モ左ノ方 吉良政忠
墓 本堂ノ西ノ山上ニ五輪ノ石塔ニ居士高ニ尺五寸許正祖師西來ノ四字
足利左馬頭義氏九代ノ孫ニ田吉良左兵衛ノ子ナリ事蹟詳ナリ此人其伯
母弘徳院善提ノ爲ニ荏原郡世田谷村ニ建立ス今ノ事蹟詳ナリ此人其伯
餘モ政忠ノ墓ニ五輪ノ石塔ニ田吉良左兵衛ノ子ナリ事蹟詳ナリ此人其伯
知ス想フニ其墓五輪ノ石塔ニ田吉良左兵衛ノ子ナリ事蹟詳ナリ此人其伯
許其形傘ニ似タル下ニ稻荷社アリ又門外ノ岳上ニ稻荷
無量寺 寶生寺末南龍山ト號ス本尊眞言宗石川
阿彌陀堂 平貢地是モ村中
古跡館蹟 東南ノ方ニシテ土人城山ト呼或ハ清水臺トモ云又此内ヲ別テ原花畑ナ
高ハ右京大夫政忠ニ住セシ孫カ關東ノ公方ニ成高ノ子北條左京大夫氏綱トナリ父成
田ヶ谷ニ移住ス是ヲ世田ヶ谷ノ吉良トモ稱シ又世田ヶ谷ノ康モ初ハ世田ヶ谷ノ住シ後當所
ニ移ル是ヲ世田ヶ谷ノ吉良トモ稱シ又世田ヶ谷ノ康モ初ハ世田ヶ谷ノ住シ後當所



ノル輕部豐前守ハコノ人
高岳鏡心庵主ト證ス
村内勝國寺ニ墓アリ

○同安左衛門豐前守ト號シ永祿六年正月朔日死ス御森院

武田信玄小田原出張ノ時信玄片倉神太
寺山ヲ近所ト云ハ其頃大橋山城
勢居此ナリ左衛門佐殿ハ其頃小田原
服城北見關加賀守ト相具シ御也接
在城アリ此吉良康ハ氏康ノ御孫ト
其細注ニ書ク又氏康ノ御孫ト云フ
モト氏綱ノ愛女ト云フ所ノ室ト云フ
防ノ女ヲ頼康ノ室ト云フ所ノ室ト云フ
命ヲ生テ専ラ殿ノ御所ヲ燒セテハ
藤巻ト云フ折心共テ召マレテ守
ス輕部豐前守ト云フ折心共テ召マレテ守
其殿ノ數ノ前折心共テ召マレテ守
ケ待クレハ敵是ヘモ來ラズ云々
或何レノ頃カホ正保ノ頃マテハ
四年十二月五日卒ス法名勝光院
淨森大居士ト云フ内勝國寺ニ葬セリ
舊家者百姓又左衛門村ノ名主ト勤ム
木伊賀守高連ト稱ス吉良氏ニ從ヒ
郡世田ケ谷ニ住シ後當所ニ移リテ
ス卒年等○同太郎兵衛ヲ部氏ナリ
詳ナラズ○同太郎兵衛ヲ部氏ナリ
稱ス是モ吉良氏ノ家臣ト云フ原記ニ
ス法名是モ久宗清居士ト云フ原記ニ

新編武藏風土記稿卷之七十八終

新編武藏風土記稿卷之七十八終

新篇武藏風土記稿

久良岐郡 卷七
卷八

二十四

405

30

東京圖書館

八〇	一	一〇		
冊	號	架	函	類

東國館

永清縣

新編武藏風土記稿卷之七十九目錄
久良岐郡之七

本牧領

上大岡村
森田村
森中原村
中里村
峰村
田中村

下大岡村
森雜色村
杉田村
矢部野村
栗木村

新編武藏風土記稿卷之七十九目錄

新編武藏風土記稿卷之七十九

久良岐郡之七

本牧領

上大岡村

上大岡村ハ郡ノ中程ニアリ保土谷宿ヨリ南一里餘平子庄ト號ス小田原役帳ニ荻野
カ知行九十九貫四百卅二文久良岐郡大賀郷七十八貫三百文同所癸卯檢地増トミヘ
タリ今モ土人ハ多クナホガ村ト稱ス又正保改ニハ上下ノ別ナシ元祿郷帳ヨリ二村
ニ分テ記ス江戸日本橋ヨリ行程九里餘家數五十一村ノ四境東ハ山ヲ隔テ磯子村南
ハ關村西ハ松本久保最戸ノ三村ニテ北ハ下大岡村巽ハ山ヲ越テ森公田村ニ隣ル東
西ノ徑十五丁餘南北十三丁許天水ヲ待テ耕ス水田多ク陸田少シ溜井ニケ所アレト
水乏ケレハシハ、旱損ス村ノ西ニ金澤道係ル下大岡村ヨリ入テ松本村ニ達ス幅二
間許御入國後ハ御料所ナリシヲ元祿十一年荒川丹波守ニ賜ヒ又何ノ年ニヤ倉橋某
ニモ賜ヒ今子孫荒川三郎兵衛倉橋惣三郎知行ス檢地ハ文祿三年七月六日近郷ヲ押
ナヘテ寺田右京改ム今當村ニハ水帳ノ寫ノミアリ上書ニ大岡郷ト記ス元祿年間上
下二分ナシ時村民持地ノ雜揉アリシ故今モ飛地多クシテ境界定カナラス

高札場二ヶ所ハ村ノ中程一

小名 大入 村ノ南ニ寄テアリ 臺村 同邊山ノ 表村 中ホトテ

八郎谷 村ノ北 官之前 村ノ南 鎮守森ノ邊ヲ云此以 中之町 中程ナリ 櫻町

堂下 十王堂ノ 岐宮 下邊ヲ云 竹下 村ノ北

山村 東ニテ民家ヨリ登リ四丁餘段別四丁七段八段十七步

大岡川 西ノ方久保村界ヲ流ル當村ヨリ上流ヲ新川當村ヨリ十間餘ニ至ル長十間ノ板橋ヲ保村持

鹿島社 免田一段五畝十九步見捨地六段四畝南ノ方山上ニ具アリ本社二間 末社辨

天社 〇白幡明神社 見捨地村ノ南

眞光寺 境內見捨地二畝外境內付山四畝村ノ東南ニアリ古儀眞言宗石川寶生寺末

安樂院 境內見捨地三段三畝十步村ノ中程ニアリ當院モ 山王社 境內ニシテ

社 岐宮社 方一尺許ノ石室ニテ四面ニ佛像ヲ彫タリ覆屋ヲ建ツ土人ハ愛宕ナリ

地藏堂 年貢地ニ畝許村ノ北

十三坊塚 東ノ方ナル山上ニアリ中央ノ塚ハ高五六尺餘三四間許其餘ハ形小ニシ

下大岡村 大岡郷ト唱フ庄名前ニ同シ沿革及江戸行程等既ニ上村ニ辨ス家數六十

八東ハ山ヲ隔テ岡村ニ隣リ南ハ上大岡村ニ並ヒ西ハ中里弘明寺ノ二村ニ續キ北ハ

詩田井土谷ノ二村ナリ東西ハ僅ニ四丁半南北二十丁餘土地高クシテ山畑ハ赤土田

方ハ黒キチハ土ニテ田ハ少ク畑多シ溜井ハ村ノ南小名岩ノ谷ニ一ヶ所小谷ニ二箇

所アレト埋モレテ形ノミ存シテ用ユヘカラサレハ今別ニ上村内ヨリ大岡川ヲ引來

テ水田ニ注ク故ニ數々早損スト云村ノ中程ニ金澤道アリ北ノ方詩田村ヨリ入テ南

ノ方上大岡村ニ達ス幅二間餘當村モ古クハ御料所ナルヘシ何ノ頃ヨリカ佐野某ニ

賜ヒ今モ子孫肥後守知行ス捨地ハ上村ニ同シ

高札場 村ノ中程

小名 下北ノ方 小谷 南ノ方 千保 同邊 岩谷 同 久能 東ノ方

岸谷 東北ノ方

新編武蔵風土記

久能 東ノ方

岸谷 東北ノ方

竹内 寺下町 中町 此二名北ノ方ニアリ土

山 東南北ノ三方ニアリ東ノ方ハ高七丈餘北ハ高五丈餘ナリ東ノ山ニ村民ノ林十二町一段三畝十五步東北ノ山ニ秣場アリ一町三段餘

大岡川 村ノ西北界ヲ流ル上大岡村ニ神明社 除地一段五歩村ノ西南ニアリ鹿島社 除地一段七畝村ノ南ニ

若官社 除地二畝半萬福寺持下同シ 〇第六天社 除地一畝村ニ

諏訪社 二字 一畝村ノ南ニアリ 〇淺間社 除地一畝村ノ南ニ

熊野社 除地一畝村ノ南ニアリ 〇淺間社 除地一畝村ノ南ニ

吉祥寺 境内見捨地ノ北ニアリ 〇淺間社 除地一畝村ノ南ニ

法名覺榮 八カ先祖ノ文安元年十二月朔日死ス

萬福寺 境内見捨地ノ南ニアリ 〇淺間社 除地一畝村ノ南ニ

法積院 境内見捨地ノ北ニアリ 〇淺間社 除地一畝村ノ南ニ

不動院 境内見捨地ノ北ニアリ 〇淺間社 除地一畝村ノ南ニ

千日堂 境内見捨地ノ北ニアリ 〇淺間社 除地一畝村ノ南ニ

兒塚 境内見捨地ノ北ニアリ 〇淺間社 除地一畝村ノ南ニ

行人塚 境内見捨地ノ北ニアリ 〇淺間社 除地一畝村ノ南ニ

物見塚 境内見捨地ノ北ニアリ 〇淺間社 除地一畝村ノ南ニ

森公田村 境内見捨地ノ北ニアリ 〇淺間社 除地一畝村ノ南ニ

森公田村ハ巽ノ海濱ニアリ東海道保土谷宿ヨリ巳午ノ方二里半餘江戸日本橋ヨリ

行程十一里餘ヲ隔ツ昔ハ當村及ヒ森中原森雜色ノ三村ヲ合テ森村ト號ス文祿三年

ノ水帳ニ武州久良岐郡杉田森村ト記ス是ヨリ此邊ハ山麓ニ村落ヲナシ樹木特ニ繁

茂セルヲモテ起リシ名ナリト云正保ノ改ニモ森村ト載セ寛文四年ノ水帳ニ至テ森

郷公田村ト記ス此頃ヨリ漸分レシ事知ヘシ元祿ノ國圖ニハ既ニ當村及中原雜色ノ

三村ニ分テ皆森ノ字ヲ傍標ス又同時ノ郷帳ニハ今ノ如ク森ノ字ヲカキツ、ケタリ

ト當時區々ニ記セシト知ラル今ハスヘテ三トモニ書連ヌルヲ常トス公田中原雜色

ノ名ハ土地ノ中央ニテ平行ナレハ中原ト名ツケ水田多クシテ貢税ニ充ルニ宜キヲ

モテ公田トイヒ其餘ヲ雜色ト名ツケルハ貢稻ヲ出サシメスシテ課役ノ諸色雜費ニ

充シ所ナレハ此名アリト云當村今モ森郷ト唱フ庄名ハ六浦平子杉田等ノ唱アリ戸

數六十村ノ四隣東ハ海濱ニシテ上總浦マテ海上七里南ハ森雜色村巳午ノ方ハ森中

原村坤ノ方ハ田中村西ハ山ヲ隔テ上大岡關ノ兩村北モ山ヲ隔テ磯子及ヒ岡村ナリ

新編武藏風土記高

八頁支那卷七

三

東西九丁許南北十丁餘西北ニ山ヲ負テ其餘ハ平行ナリ土性ハ赤黒ノ砂真土ニテ山
畑ハナホコ土ト云最モ下品ノ土ナリ田ハ四分畑ハ六分天水ヲ仰テ耕セハ屢旱損ア
リサレハ村内ニケ所ニ溜井ヲ設ク一ハ小名清水坂ニアリ長三十間横二十七間一ハ
荻久保ニアリ段別三畝十八歩共ニ當村ト森雜色村人會ノ溜井アリ又當村西方ノ山
上所々ニ小塚アリ百八塚ト云此外大塚經塚ナト云アリ大塚ハ東南ニテ高五六間經
塚ハ乾ニテ高三四間皆雜木生茂レリ當村古ヨリ御料ニシテ御代官屢代リ正徳二年
ニ至テ大久保甚四郎ニ賜ハリ今子孫甚四郎知行ス檢地ハ文祿三年十月寺田右京紀
セリ其後ノ新墾ハ寛文四年十月改ムト云

高札場ノ村ノ中央ヨリ少シ

小名 御屋敷 陣屋川 此地三四尺ノ悪水堀ナリコノ土名ハ古ヘ間宮豊前守康俊

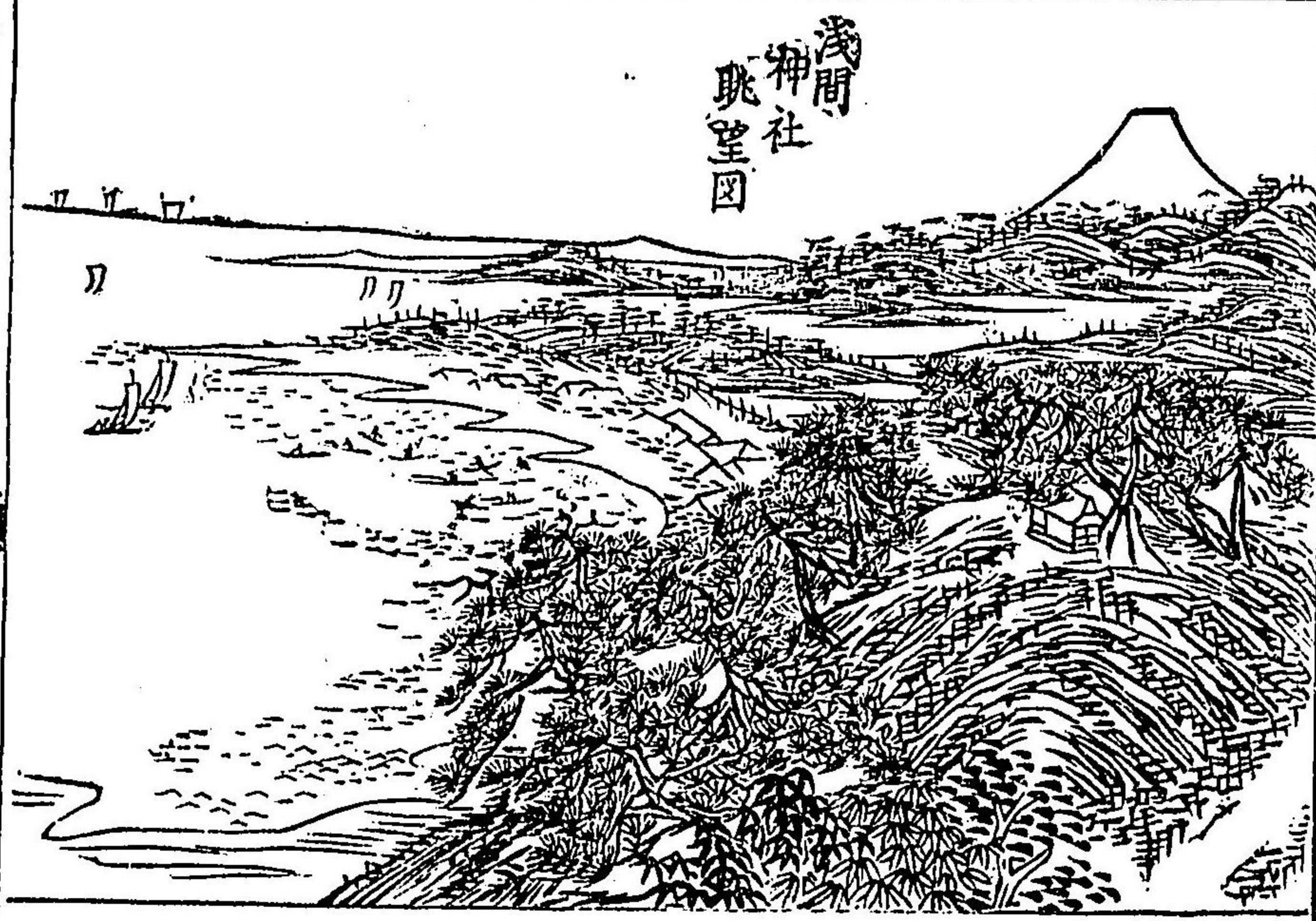
唱ル地モ今ハ陸田トナ 北谷 南向坂 松之内 富士之越 鹽汲坂 京塚

レリ村ノ中程ニ當ル 以上ノ小名ハ 大塚 馬飼谷 長畑 鹿島脇 鳥打 百

赤穂 峰岸 カイト村ノ北ニ當ル 八塚 一本樓 稻荷谷 清水坂 東谷 西之谷ノ西ヲ云 向谷 御嶽前 八

臺 左藤内 逸見 岩井土 荻久保 荒神臺 臺之下 出口 飛鳥谷 アダ

イ 越之浪 白幡 橋川通ノ唱ナリ



淺間社 眺望圖

山村ノ西北ニアリ北ノ方ナリ橋落山淺間
山ノ方ニ至ル登リ二三丁許又
上ノ方ニ南坂ト云アリ至ル
北ノ方ニ南坂ト云アリ至ル
子ノ方ニ通ス中ノ所ニ登リ
アリ段別合九段二畝ニ歩
林ノ村ノ東ニ當ル小名荒神山
海ノ村ノ東ニ當ル小名荒神山
鼻ノ方ニ當ル小名荒神山
里ノ方ニ當ル小名荒神山
專トス夏ハカツラ此網又手操網冬ハケ
ハト云網捕下具ナリ
淺間社 除地五畝歩村ノ北ノ方山上ニ
掛ノ持故ニ本鎮守ナリ松木村修驗權
堂ノ相傳フ此本地ノ金像ハ常ニ現
安ス佛ニテ坐像長三寸七分守邦親王
御作ニシテ建武年中親王御立シ
守安置セラレ建武年中親王御立シ
後ナレハ年代誤アル云又寺傳ニ其
房州里見氏此邊亂妨ノ時堂宇以下
セト祠云本此邊亂妨ノ時堂宇以下
池石小祠云本此邊亂妨ノ時堂宇以下
張出タル高山ニテ眺望開ケ上總ノ海嶺ニ

天際ニ連テ波濤ノ如シ右ニ當テハ富ケ岡ノ鼻張出シ夫ヨリ二里餘ヲ隔テ本牧ノ出崎突出シ又遙ニ富ケ岡ノ先ニ張出シタルハ相州三浦郡觀音崎走水ノ出崎ニシテコノ山ノ眺望殊ニ美ナリ圖右ニ載ス

天照太神宮 除地十五歩村ノ西南ノ方ニアリ九尺一尺六寸元
○神明社 除地二畝二十ノアリ社二間ニ立像長五尺二寸
○牛頭天王社 除地六歩村ノ北ニアリ社ハ二間ノ棟札アリ神體ハ立像長五尺二寸
○御嶽社 除地十五歩社

稻荷社 二字 貞享二年造立ノ棟札ヲ納ム一ハ除地六歩一ハ除地五尺ニ神體ハ立像長四寸七分村ノ北ニアリ

三寶荒神社 除地十八歩二間ニ立像長一尺三寸
○御嶽社 除地十五歩社
○荒神社 年貢地東北ノ間ニアリ六尺ニ七尺以

篁修菴 除地一段ニ立像長一尺三寸
○御嶽社 除地十五歩社
附スル所ナリ其前ノ本尊ハ詳ナラス 鐘樓ノ境內ニ異ノ方ニアリ延享元年四月鑄造

林香菴 年貢地村ノ西ニアリ本山前ニ同シ雨峯山ト號ス本尊六間半ニ四間半
音堂 境内ニ異ノ方ニアリ本尊
十王堂 除地二畝村ノ東ニアリ三間四方ノ堂ナリ

森雜色村 戸數三十八東ハ海ニシテ南ハ森中原村西北ノ方ハ森公田村ナリ東西二

丁許南北四丁程田少ク畑多シ地形スヘテ平行ニシテ天水ヲ仰テ耕セリ村名ノ義ハ

前村ニ辨セリ方位及分村檢地ノ年代郷庄ノ唱ヘ江戸ヨリノ里數土性御代官ノ遷替

等スヘテ前村ニ同高札ハ森公田村ニ立ルヲ兼用ユ

小名 赤穂 西北ノ方 稻荷谷戸 西ノ方 臺 下 柳作 南ノ方 腰根 白蟻

海村ノ東ニアリ土民魚獵ノ利アルコト總テ前村ニ同シ海岸ヨリ五六丁ヲ隔テ水

尺程モ起出ス圓徑五尺許凹キ處圓徑一尺許相傳フ源氏ノ旗竿ヲ立シ石ナリト

白旗明神社 除地六畝村ノ東ニアリ坐像長五寸五分天照大神稻荷ノ二坐ヲ合祀ス長各

四寸三分大神宮ハ元來字臺原ト云所ニ別ニアリ修驗權現堂ノ持

第六天社 除地一畝村ノ東ニアリ坐像長五尺七寸正
○子權現社 除地十五歩村ノ東ニ

神明宮 村ノ西北ノ方ニアリ坐像長五尺七寸正
○子權現社 除地十五歩村ノ東ニ

森中原村 戸數四十九名義ハ森公田村ニ辨ス東ハ海邊ニシテ西ハ山ヲ隔テ栗木田

高札場村ノ中程

小名 桐谷前南ノ方

山 餘山上ニ秣場アリ

海 村ノ東ナリ漁獵等

諏訪社 除地一畝五歩

熊野社 除地五畝村ノ

願行寺 除地一畝五歩

六間半 東向ナリ

如來寺 除地二畝歩

誓上人 名號一幅

谷田入口西ノ方

山 栗木田中當村入會

諏訪社 除地一畝五歩

熊野社 除地五畝村ノ

願行寺 除地一畝五歩

六間半 東向ナリ

如來寺 除地二畝歩

誓上人 名號一幅

出口方北ノ

山 坂ノ島居坂ト唱

諏訪社 除地一畝五歩

熊野社 除地五畝村ノ

願行寺 除地一畝五歩

六間半 東向ナリ

如來寺 除地二畝歩

誓上人 名號一幅

離山當レノ方

山 坂ノ島居坂ト唱

諏訪社 除地一畝五歩

熊野社 除地五畝村ノ

願行寺 除地一畝五歩

六間半 東向ナリ

如來寺 除地二畝歩

誓上人 名號一幅

泉藏院 年貢地本山

月二十六日 年中行事

新願所ノ一郡中

法大月朔 二日

三寸餘 遷ノ本堂

畫像一幅 丘筆

界曼陀羅二幅 右何

七尺 長刀一振

立九行 基ノ作

立像長一尺六寸

寸惠心ノ作

觀智國師名號一幅

荒神社境內ニ

寺寶 不動畫像一幅

寺寶 祐天僧正名號一幅

寺寶 祐天僧正名號一幅

寺寶 祐天僧正名號一幅

寺寶 祐天僧正名號一幅

寺寶 祐天僧正名號一幅

寺寶 祐天僧正名號一幅

寺寶 祐天僧正名號一幅

寺寶 祐天僧正名號一幅

武藏國紀州山桐谷乘寺鐘銘并序

夫鐘也者。以音聲爲佛事也。所以懸於給孤之園。開覺八萬大衆。扣於須彌之頂。結集十二分教。業林禮樂。自此以興。隆地獄辛酸。賴是而解脫。凡佛祖示生說法。靡不用之。況此

新編武藏國志卷之十一

八更支那卷七

六

方教體。實在于音聞也。武藏州紀州山桐谷乘寺者。蓋智覺僧都所創之基。而鎌倉右幕下皈依之道場也。然岳師不肯自居開山之位。乃請真淨榮源僧都爲第二世。蓋德厚而守之以謙也。建久丁巳春。遷移攸之變。幕下輒重新輪奐。殿堂門廡無不備矣。但未有巨鐘。甲子冬。寺主榮公募衆檀聚赤金而範之。重若干斤。晨昏考擊。貴乎妙音常住。廣演大千之教。圓根清淨。頓脫萬劫之機。情與無情。同證寂滅者矣。予適寓鄰寺。開講楞嚴。寺主請予銘。爲之銘曰。

桐谷淨刹 紀州梵筵 分天台教 輝四明燈 範成巨鼎 永鎮山川
 虛空口豁 金剛體堅 長鯨吼浪 神龍出淵 遠徹三世 普及大千
 本聞常住 妙音密圓 既離動靜 豈藉因緣 三昧成就 般若現前
 得一生果 脫萬劫纏 頓起菩提 高遊義天 佛日果々 聖曆縣々
 維時建永元年丙寅二月吉日

洛陽賜紫沙門

賢道謹誌

當山第二世傳燈佛子

榮源造建

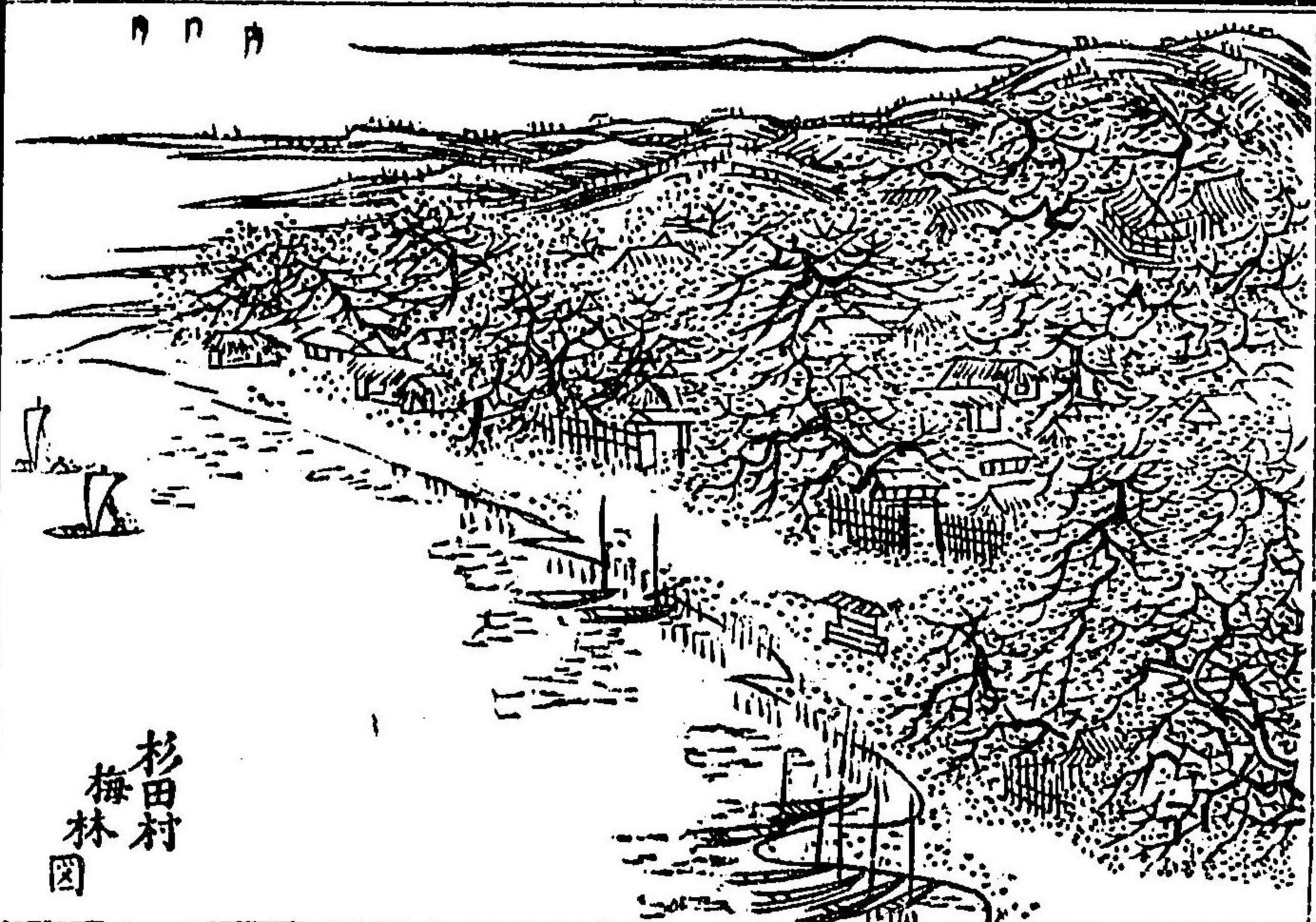
鑄物師

圓井和泉守春宜

六境 境内ノ名勝ナリ下 凌雲巖 後背ノ山頂ヲ云 歡喜巖 前ノ山ヲ云古聖天社
 踊躍峰 北ノ方 觀海臺 絶頂ノ山ナル 觀梅亭 西方山ノ半腹ニアリ門前ニ杉田ノ
 此名ヲ得ルカサ 熊野社 熊野社ヲ云 五名水 華嚴水 五世ノ僧華嚴ノ一室ニシテ故ニ
 レト今亭ナシ 休メントテ岩ヲ穿テ呪詛セシカ 白露泉 水勢白露ノ如シ故ニ此名 蕪梧池 前ノ
 ハ甘泉湧出ス故ニ此名アリト云 琴糸龍 本堂ノ後ニアリ今ハタニニ 以上
 カリ殘レリ 岩間井 北ノ山麓ニ湧出ス 世ノ僧ノ時ニ全ク成レリ ○不動堂 除地ニ四畝村ノ乾ニアリ
 世ノ僧ノ時ニ全ク成レリ

杉田村

杉田村ハ東ノ方海濱ニアリ正保元祿二圖ハ寺家村ト記ス杉田ハ古名ニア妙法寺大寺ナリシ故中頃寺家ト號シ今又古名ニ復セリ彼寺緣起ニ古此地杉多シ故ニ杉田ノ名起レリ今此邊二十二ヶ村皆其地ナリシトイヘリ又小田原役帳ニ間宮豐前守三百貫文久良岐郡杉田云々但杉田郷丑年之増分ハ惣檢地上改可被仰付又鶴岡領五十貫谷宿ヨリ金澤鎌倉ニ達スル往來ヲ隔テ中里村ニ隣リ南ハ富岡村ニ接シ北ハ中原村



ニ界フ東西南北皆其徑十二丁ニ餘ル土地
 多斥鹵ナレハ穀類野菜相應セサルヲモテ
 殊ニ梅樹ヲ多ク植テ其子ヲ採ル今江戸ノ
 人杉田梅トテ花時觀賞ノ遊客至ルモノハ
 即此所ナリ初梅樹ヲ種シハ百餘年前ノコ
 トナレト六七十年前迄ハ畠ノ周廻ニスヘ
 ナ竹藪アリテ梅花ノ賞今ノ如ク盛ナラス
 年ヲ逐テ多ク種樹シモテ行ホトニ土地ノ
 應セシニヤ皆能繁茂シテ梅林ヲナシ近キ
 頃ハ其數幾千株ト云コトヲ知ラス其中元
 ヨリノ老樹モ多シト云此梅ナヘテ單辨ノ
 白花ニテ能實ノレリ後々ハ中原根岸瀧頭
 富岡ノ數村皆當村ニ倣テ梅林ヲ闢キ年々
 梅實數百石ヲ採テコレヲ鬻クモトコレ當
 村ヨリ起ルニヨリ都テ杉田梅ト稱スレト

杉田村 梅林

其味ハ當所ノ産ニ及ハスト云サレハ花時ニハ芳香數里ニ及ヒ景色コトニ勝レタリ
 文人往々雪霜ヲ侵シテ遊賞シ今ハ梅花ノ一名區トナレリ民家百軒水田陸田相半シ
 土性ハ野土ニテ砂交レリ生産梅實ノ外漁獵ヲ事トス海鼠腸珠ニ佳品ニシテ貢税ノ
 定數アリ御用船及浦役ヲ勤ム村內四條ノ道アリ其一金澤浦賀鎌倉ノ街道ニテ當村
 ト中里村トノ境ヲ達ス村ニ係ルコト二丁餘幅二三間是古道ナルヘシト云三條ノ道
 ハ農夫作場往來ノ小徑ナリ古ノ檢地ハ詳ナラス後ノ新田ハ寶永九年志村多官明和
 四年辻源五郎改メシト云トモニ村ノ南ヨリニアリ御入國ノ後モ間官左衛門信繁カ
 知行ナリシニ寛保元年子孫左衛門信勝ノ時家廢シテ御料所トナリ安永七年ニ又村
 内若干ヲ割テ稻葉某ニ賜ヒ文化十四年又少許ノ處ヲ古川山城守ニ賜ハリ今モ御料
 ノ外稻葉遠江守古川山城守知行入會ノ地ナリ

- 高札場 御料ハ小名辻ニアリ遠江
- 小名 青戸 海邊妙法寺ノ前チ
- 原田 前ノ積 新田 門前ヨリ南
- 法寺 通リノ裏 坪香 中町ヨリ西
- 宮田 間ノ坪香 山神 宮田ノ西
- 官原 村ノ中
- 辻 同邊
- 門前 北ノ方ニテ中
- 尾崎 中町ヨリ少シ
- 向谷 中町ヨリ
- 桑原 坪香ニ
- 長作 坪香ノ
- 大谷 堂前ノ
- 雜子 谷ノ西
- カチ 田ノ西

臺南中里村ノ境西 郷戸ニテ南ニコレリ 北風松ノ郷戸ト臺ト 大ドウニアリ

前田通妙寺ノ前

御林山 小名カチニヨリ 御林ノ廣ク九畝六歩又此

遠藤山 大般若塚ニ由リ少ナシク南

大般若塚 小名内山ニアリ 村内東漸寺庫内ニ大般若經ノ

屏風浦 東ノ海邊ニ食マレテアリ 村ノ北ニハ本牧ノ海崖張出テ其形屏風ヲ立

溜井ニケ所 一ハ小名坪香ノ水ヲモ引注ケリ

八幡社 除地一町四方小宮原ニアリ 鎮守ナリ石階敷ノ上ニ石ノ鳥居ヲ立

手ノ軍扇ヲ持ツ勸請ノ年代詳ナク 間東向神體坐像長八寸五分許法體ノ姿ニテ右

五日九月廿五日社勸請ノ山上ヨリナク 間宮某納メタル像ト云例祭六月十 末社稻

荷社 本社ノ右ニアリ 地頭稻葉 別當妙觀寺 本社ニ向テ右ニアリ 法華宗江戶丸山

東漸寺 境内除地三丁ノ二丁凡十八間ニアリ 禪宗臨濟派關東十刹ノ一ナリ 靈桐山

見圓覺殿 前ノ内左右ニ塔頭ナク 下ニ出ス相傳フ正安三年北條備前守シテ本堂

基壇越トシテ開山宏覺禪師ヲシテ 當寺ヲ創建セシムト 遠江守朝時カ子ニ備前守

時長アリ 備前太郎定長ハ正安四年八月二十六日卒セシ 父時長善提ノ爲ニ當寺ヲ開

延賢傳燈錄云 釋德悟開武之東漸寺 靈桐爲開山祖 本朝高僧傳釋德悟字桃溪 晚依

檀越之謂 閑居武之東漸寺 其地臨海風景鮮也 一時名宿多以題贈 溪亦作偈曰 冥心

丘壑絕道攀 放曠希夷宇宙寬 重疊山遮名利路 渺々海隔是非關 蒼松翠竹烟籠淡 古

岸平沙月照寒 即此逍遙無外事 白雲鏡得伴清閑 釋德詮字無及 弘安壬午春 與佛光

無家諸師遊東漸寺 各有賦詠 詮所賦曰 峭壁嵯峨碧浪深 樓臺倒景蘸波心 前盡是

普門境 時聽海潮鼓梵音 釋宗鑑字明窓 不詳其姓其許 弘安四年住武之東漸寺 嘗題

偈曰 此地分形隣少林 二株嫩桂綠陰深 前村不斷漁歌曲 遠谷遙聞石磬音 親話古頭

無味話 全提鼻祖正傳心 但仰聖加頻懇禱 締構速成容衆襟 釋文岑字象先 桃溪悟公

弟子 有東漸寺作 日徑邇幽處海天寬 潮落沙汀鷗鷺閑 憶得高秋清夜景 寒濤搗月浸

欄干 釋月翁元規禪師嘗遊東漸寺作 日滄溟渺々接天遠 月落波心鏡樣新 夜靜扁舟

歌宛轉 蓬窗多有不眠人 元規禪師康元 釋道通字大川有題 東漸寺作 日山圍平海

小坤維 白鳥衝潮映落暉 空盡十霜飄泊浪 水天上下碧瑤璃 大川和尙曆應二 釋道昭

子靈巖 嘗遊東漸寺賦 日水遶山腰 碧似藍 月離雲 嶠落波瀾 數聲欸乃漁歌外 風捲蘆

宗長ノ普ノ長ニシテハ考ヘシメ

キナルヘン故ニ父子ノ名ヲ混シテカク傳フルニヤ 此人時政五代ノ孫ナレハ世 數ハ符合セリ 忌日ヲ七月二十三日トスルモノ 東漸寺長ノ卒日ト合ハサレハ恐ク

ハ定長ノ卒日ニテ紀年ヲ失セシナルヘン 開山宏覺禪師ハ鎌倉 建長寺開山大覺禪師ノ高弟ニシテ嘉元四年十二月六日歿ス

花洲渚寒。釋德瓊字林叟。遊東漸寺。偈曰。寺在江濱。馴白鷗。石屏如畫。入幽。昨釣船一曲。漁歌曉。明月露花。天地秋。釋德紹字無絃。題東漸寺作曰。一節扶過幾重山。歷盡崎嶇沙。際寬。與未窮。今回首。去松風。帶波海風寒。釋本立號千峰。嘗題東漸寺曰。千載桃翁舊典。刑於修。繼續德。惟馨。門庭臨岸。接蛟室。殿閣倚空。對石屏。氣霽前灘。烟浪濶。風回別海水。雲腥。奇蹤恰。類焦山景。只闕沙頭。瘞鶴銘。釋祖裔字竺芳。東漸寺作曰。傑出東州仙境地。千峰環拱。鎖雲煙。杖頭活活。落生平眼。月卯海心。玉一痕。竺芳和尙。應永元年七月。

千峰環拱。鎖雲煙。杖頭活活。落生平眼。月卯海心。玉一痕。竺芳和尙。應永元年七月。コレ等ノ作ニ據ハ當時寺域ノコト推テ知ヘ小田原役帳ニ五十五貫文東漸寺分ト記ス頗大寺ナリシコトヲ示ラシテ天正ノ始房州里見氏渡海シテ取守ノ地ニ當リシカハ伽藍モ衰廢ニ及ヒシト又寺傳ニ中興開基間宮左衛門尉教信ナリト云間宮系圖ニ教信ノ孫恐ヲクハ左衛門教信ノ誤歟教信ハ寬永ノ頃ノ人ニテ當時ノ地頭ナリ地域今モ結界清寂ニ本堂六間ニ五間東向本尊釋迦坐身長二尺四寸許ノ地頭作モ安置ス開山堂本院ノ後ニアリト云又外庭ニ見性ノ二字ヲ扁ス是開山安覺ノ花園長四寸安覺ノ像ハ椅子ニ倚ル狀也長二尺餘傍ニ開基北條備前守宗長ノ像アリ坐身長二尺餘名字異同ノ說既ニ前ニ辨セリ觀音堂門ノ内池ノ傍ニアリ身長四尺餘辨財天社坐像長一尺八寸池淵凡二百坪ハ觀音堂門ノ内池ノナリ立身長四尺餘音辨財天社坐像長一尺八寸池淵凡二百坪ハ觀音堂門ノ内池ノ社小稻荷社開山堂ノ後ニ鐘樓本堂ノ左ニアリ鐘高三尺四久良岐古招提。號曰東漸。前主山僧宗鑑。緣契檀門。掃蟻窟蜂房。革爲禪刹。幢々雲水。交武於途。然視諸方叢林。所宜有者。闕典。住山了欽。獨病無洪。鐘諭晦明。自知一力。難成。旁募衆緣。得辦大器。既成矣。無銘其可乎。

銘曰
大器圓成。遐邇旬旬。覺夢孤客。息苦幽生。聲不到耳。耳奚到聲。無來無去。非虧非盈。根塵消殞。自他齊平。圓通三昧。觸處洞明。烏回兔轉。海晏河清。板圖傳遠。帝基不傾。
時永仁六年戊戌孟春望日
住山比丘了欽謹

塔中 眞樂庵 本堂ニ向テ右ニアリ六間ニ四間本尊正觀音ヲ安置ス妙多福院ニ
向テ左ニアリ四間ニ三間子安觀音ヲ本尊トス象先保福院蹟覺禪師ノ西方ニアリ廣
文岑和尙ノ草創ナリ文岑ハ康永元年十月八日寂ス
モ再建ニ及ハス成願院蹟三年七月二十三日寂ス禪師ノ起立ト云佛地ハ應永二十
モ再建ニ及ハス直傳庵起立ト云東震ハ應永十八年六月五日寂ス和尙ノ長慶庵東ノ方ニ
陀實堂和尙當庵ヲ創シ正長正永院境外巽ノ方ニアリ三間ニ二間半本尊地藏ヲ
元年五月十一日寂ス云
堂ト唱フ悦山和尙起立ス悦山東光庵間半本尊藥師僧嶽崇草創ス此僧應永十九
ハ至德三年十月十三日寂ス
年十一月二
十一日寂ス

妙法寺 除地三町餘ニ二町餘小名大戸コアリ法華宗下總國中山法華經寺末牛頭山
ト稱シ後又因橋大塚ト改メ晩ニ染シテ日荷ト號シ俗々リシ時荒井平次郎光善
當寺ヲ起立シテ中山法華經寺日祐ヲ請テ開山トシ已ニ世ヲ繼キ同十二年六月十

三日化ス今村民ニ日荷カ子孫ト云者アレト事跡ノ詳ナルヲ傳ヘス又六浦上行寺
モ日荷カ起立ノ梵刹ナレト是モ詳ナル傳ナシ又桶樹郡南加瀬村ニ妙法寺跡ト云
ハ詳ナラス又當所日蓮上人船中問答ノ古蹟ナリト傳レト上行寺及町屋村安立
寺ニ本堂七間ニ傳ヘアレハ何レヲ實蹟トスヘキヤ定カテ 三十番神堂アリ九尺四
方 牛頭天王社 門外ニテ駿河國ヨリ武藏國渡海ノ時杉田ノ沖ニテ俄ニ難風ニ遇
ヒ漸ク濱邊ノ山岡ニ上リ是ナル松樹ヲ神トナシテ渡船アリシ故此松ヲ神松ト名付
テ所誓ヲ給ヒシカハ忽風止ミ波靜リ願ヲ遂ナシテ渡船アリシ故此松ヲ神松ト名付
夫ヨリシテ當所チ牛頭山ト號ストモ呼リ 祖師堂跡 鐘樓 堂ニ向テ右ノ方ニ

武陽久良岐郡牛頭山妙法寺者正中嶺第三住日祐上人創造之靈地一乘廣宣之精
舍也。蓋夫舊牛頭天王所鎮坐。故以名山。妙法上人所寄附也。故以名寺。妙法上人者誰
也。荒井因幡大掾是也。一乘之信力確乎不可拔矣。是則勇猛也。是則精進也。其行秀于
凡。其迹等干權。宜哉稱妙法也。其實無差也。聖人以此勝地。投于祐聖人。爲蘭若來。三百
三十有餘歲。粵延寶申歲。有大風巨難。舊所筍簾梵鐘。忽及破却。故以予雖欲再營之。乏
其費用。徒經歲月。如今憤然發起善願力。近募助資於當境之檀家。遠請達觀於武城之
信扉。命武都之良冶。鑄鎔亟成矣。夫爲梵鐘之德也。不可思。不可議矣。若夫報時驚眠。夢
微幽濟罪苦。矧集衆聞法乎哉。願梵鐘無邊之音聲。遍法界。無量之利益。到永劫。然則檀
度之功。亦豈一旦一方之謂哉。仍忘蕪陋。以記其梗槩。銘曰

牛頭山上 新繫華鯨 和風響嶺 侵濤鳴瀨 入雲音遠 吼月聲清
廣遍渚法 遙傳妙名 自應實清 忽曉迷情 億々萬劫 大利縱廣

維時貞享元年龍集甲子秋七月十九日

牛頭山妙法寺十七世詮量院日東

神松 由來ハ天王 六浦上人墓 境内山頂ニアリ正中央ニ首題左右ニ開山日祐上
進上人當山二十世日選上人ト形此餘墓所ニ間宮兵庫頭 塔頭 觀成坊 四間ニ
常信以下子孫ノ碑并立ツ常信カ家系陣屋跡ノ條ニ具ス 塔頭 觀成坊 四間ニ
尊三寶祖師ヲ安置ス開基觀成院 寶藏坊 六間ニ三間大永六年間宮兵庫頭常信ノ
日慶寛永二年四月二十三日寂ス 寶藏坊 六間ニ三間大永六年間宮兵庫頭常信ノ
禮ハ天文八年五月廿三日寂ス 眞如坊 四間ニ三間大永六年間宮兵庫頭常信ノ
文十一年十月十三日寂ス 眞如坊 四間ニ三間大永六年間宮兵庫頭常信ノ
坊大門ノ左右ニ在リカ回祿ノ後未タ再建ナラス 眞如坊 四間ニ三間大永六年間宮兵庫頭常信ノ
舊跡陣屋蹟 小名辻ニアリ方一町許ノ地ナリ間宮左衛門尉信次或ハ常信ニ作ル以
テ北條氏綱及ヒ氏康ニ仕リテ云傳ノ家譜ニ據ルニ信次ハ常信ニ作ル以
法名法西妙法寺ニ墳墓アリ其子左衛門尉信忠初メ藤太郎ト稱ス氏康及ヒ氏政ニ
仕テ北條氏綱及ヒ氏康ニ仕リテ云傳ノ家譜ニ據ルニ信次ハ常信ニ作ル以
貫九百四十四文間宮藤太郎領分トス貫九百四十四文同所稱シ後左衛
門尉ニ改メ北條氏綱ノ内杉田中里雨村五百石ノ禄ヲ賜リテ忠御使番御處方ヲ兼勤ス殿長
十年正月十五日武藏國久良岐郡杉田村ノ内五百石ノ禄ヲ賜リテ忠御使番御處方ヲ兼勤ス殿長
江國伊香郡ノ内五百石ノ禄ヲ賜リテ忠御使番御處方ヲ兼勤ス殿長
年東照宮ニ仕ヘ奉ル次ヲ武田徳院殿ニ仕フマツル元初氏政及ヒ氏直ニ賜ハル或ハ

ノ士間宮傳次郎寛永二十年左衛門信秋願ヨリ七百石ノ地庶孫太郎俊信ニ配當ス同左衛門信カ四男伊太夫信明カ子孫ナリ等カ宗家トス此家元文五年左衛門信勝没シ子ナシシテ封邑ヲ除カル家譜及ヒ御朱印皆今傳スル地アリ是モ又間宮氏ノ百姓源左衛門舊家ノ條ニ詳ナリカ庭園ニ與屋敷ト稱スル家記ニ往々見ユリ陣屋ノ蹟ナリト云傳フ按正ノ間宮一族杉田ニ住シ此地ニ聚居ルナリ此往々見ユリ開基ノ寺院本郡ニ多ク東照宮江戶御在城ノ後支流ニ至テ北條長氏及ヒ氏綱ニ衛門信冬及豊前守信盛信川崎城主タリ橋樹郡川崎村ノ至テ北條長氏及ヒ氏綱ニハ信元ノ作リ又大將ト信盛信川崎城主タリ橋樹郡川崎村ノ至テ北條長氏及ヒ氏綱ニト稱ス氏康及ヒ氏政綱ニ作ル事跡本郡松本村ノ詳ナリ盛願ノ子康及ヒ氏綱ニ開寺年七十三法名宗開或譜ニ宗覺エ作ルハ誤豆州山中城ニ於テ建テ其内宗ノ五百文久岐郡杉田七十五貫九百文同所高六百九十貫ニ地アリ後寺ノ建テ其内宗ノ後及テ一族御家人トナリモ

舊家者百姓源左衛門荒井氏ナリ家譜ニ據ニ先祖荒井因幡守光善此所ニ住シ後裔アリ頃ノ子胤アリト改ム天正十八年東照宮ニ仕奉リ間宮左衛門信繁ニ屬シト云モトナル替テ奉命テ承テ總州行徳村農民ノ争論ヲ鎮メ御紋ノ遺服ヲ賞賜セラル又關原役ニモ供奉ス初威忠裕毛領北加瀬村ニ争論ヲ鎮メ御紋ノ遺服ヲ賞賜セラル又關原産米ニ替賜フ元和二年没シテ妙法寺ニ葬ル子孫平右衛門信保彌兵衛信行皆野村ニ左衛門山本藤右衛門後其長間宮左衛門職ヲ移方御勤ム此時江戶ニ移リシナラシ住スル今ノ代官職荒井平等兵衛保惠カ祖ナリ源左衛門ハ其庶流ニテ世々祖先ノ居跡ト左衛門カ許ニハ縁ニ五衰天ノ古誓ヲ傳フルノ源

○百姓佐次右衛門是モ荒井平次郎入道光善カ子孫ナリト云平次郎ハ因幡守カ始名ナルヘシ氏ヲ改メシハイカナル故ニヤ○百姓徳右衛門川原氏ナリ先祖ハ高直トテ盛州一谷合戦ニ兄弟同ク討死セシト云源平盛衰記平家物語等ニモ其事ヲ載ス按スルニ東鑑及盛衰記平家物語皆河原兄弟ヲ武州人トス正保元祿ノ國圖埼玉郡河原村ノ傍ニ河原兄弟ノ墓ヲ記ス家傳相州人ト云ハ誤ナラン高直ノ子小太郎某鎌倉將軍頼朝ニ仕シカ後ニ民間ニ下リシト云ノミニテ其餘ノ事實ヲ傳ヘス又同族佐兵衛彦兵衛三左衛門三流アリトモコ家系ヲ傳ヘス

中里村

中里村ハ杉田村ノ西ニアリ笹下庄ト唱フ郡中同村名アルニヨリ當所ヲ笹下中里ト呼テ辨別ニ便ス日本橋ヨリノ行程十二里民家二十八四境南ハ氷取澤村西ハ赤井峰ノ二村乾ヨリ良ニ廻リテ栗木村東ハ杉田村巽ハ富岡村東西二十二丁南北七八丁許土地高低多ク眞土黒野土等入交レリ又川ニ邊セル地ハ砂ノ處モアリ水田多ク陸田少シ水利不便ニシテ旱損ノ患アリ鎌倉及金澤ニ達スル道アリ栗木村ヨリ赤井村ニ通ス幅六尺或ハ九尺ノ處モアリ村民農耕ノ間鹽ヲ煮或ハ薪ヲ伐テ橋樹郡大師河原村ニ出スナ餘業トス前村ニ文祿元年間官左衛門信盛ニ舊領ノ中里ヲ賜ルト云モノ則當村ナリ後元祿十六年十一月二十五日末家孫太郎俊信カ三男伊大夫信明ニ配當シ今子孫彌吉某知行ス

高札場 小名槽木

餘田中村ニアリ

高札場村ノ中程ニアリ

小名 東谷 ト、ノカイ 四田 高松 赤松 島田 カラサハ東ヲ云 西

谷 竹花 地藏下 杉谷 淨阿彌陀 カヤカバ 笠松 以上村ノ

山村ノ東ト西ニアリ高何レモ六七尺アル 山シ山中ニ村民ノ林散在ス段別合テ五段餘

金山權現社年貢地村ノ東ニ寄レリ秋葉牛頭天王ヲ相 ○稻荷社年貢地村ノ西ニアリ

又同邊ノ山上ニ近キ頃建シ石碑アリ土人ハ是ヲ太神宮ト稱スレト社アルコトラス

來迎寺年貢地村ノ南寄ニアリ淨土宗松本村正覺寺末無量山尋經院ト號ス開山僧

金山寺年貢地村ノ東ニアリ村內來迎寺末村松山ト號ス是モ住僧ナク社堂ニヒト

二十二番ナリ堂大

峰村

峰村ハ郡ノ坤ニアリ郷庄ノ名前村ニ同シ此邊山多シトイヘトモ就中當所ハ高峰突

兀タリ故ニ此村名ヲ得ルトナリ古ハ笹下上郷ノ内ニテ後四村ニ分テルコトハ前村

ニ云カ如シ江戸日本橋ヨリ行程十二里民家十八軒村ノ東ハ中里村南ハ氷取澤村北

ハ田中矢部野ノ二村西北ノ間ハ路ヲ隔テ下村西ハ相州鎌倉郡上之村ナリ東西十二

三丁南北二十丁許地勢谷間甚狹ク水利不便ナリ用水ニハ谷々々清水ヲ引用ユ此清

水數流集テ大岡川ノ源トナレリ土性ハ野土赤土ニシテ山々ハ皆砂岩ナリ早損ノ地

ニテ村民農業ノ暇ニハ薪ヲ伐笹ヲ刈テ橋樹郡大師河原村ニ鬻キ鹽ノ薪トシテ生産

ノ資トセリ村內一條ノ往還アリ則鎌倉道ナリ北ノ方ハ田中村ヨリ入テ相州鎌倉郡

上之村ニ達ス村ヲ經ルコト三十二丁許幅一間餘ナリ村ノ西北ノ方ニ小塚三アリ三

ツウ坊塚ト呼由來詳ナラス塚ノ邊最高クシテ眺望殊ニ勝レタリ北ハ本牧ノ方ヲ見

オロシ東ハ一圓海面ニシテ西南ノ方ニ富士箱根ノ高嶺連リ好景イハシ方ナシ當所

モ御入國ノ後御料所ニテ後ニ星合氏ニ賜ヘリト云今其子孫星合鍋五郎知行セリ檢

地ハ天正十九年ノ繩ナリト云

高札場小名サイノ 小名 サイノ神村ノ中程 サイマ 犬澤 臺目 角田 以上村ノ 柳内 巽ノ方

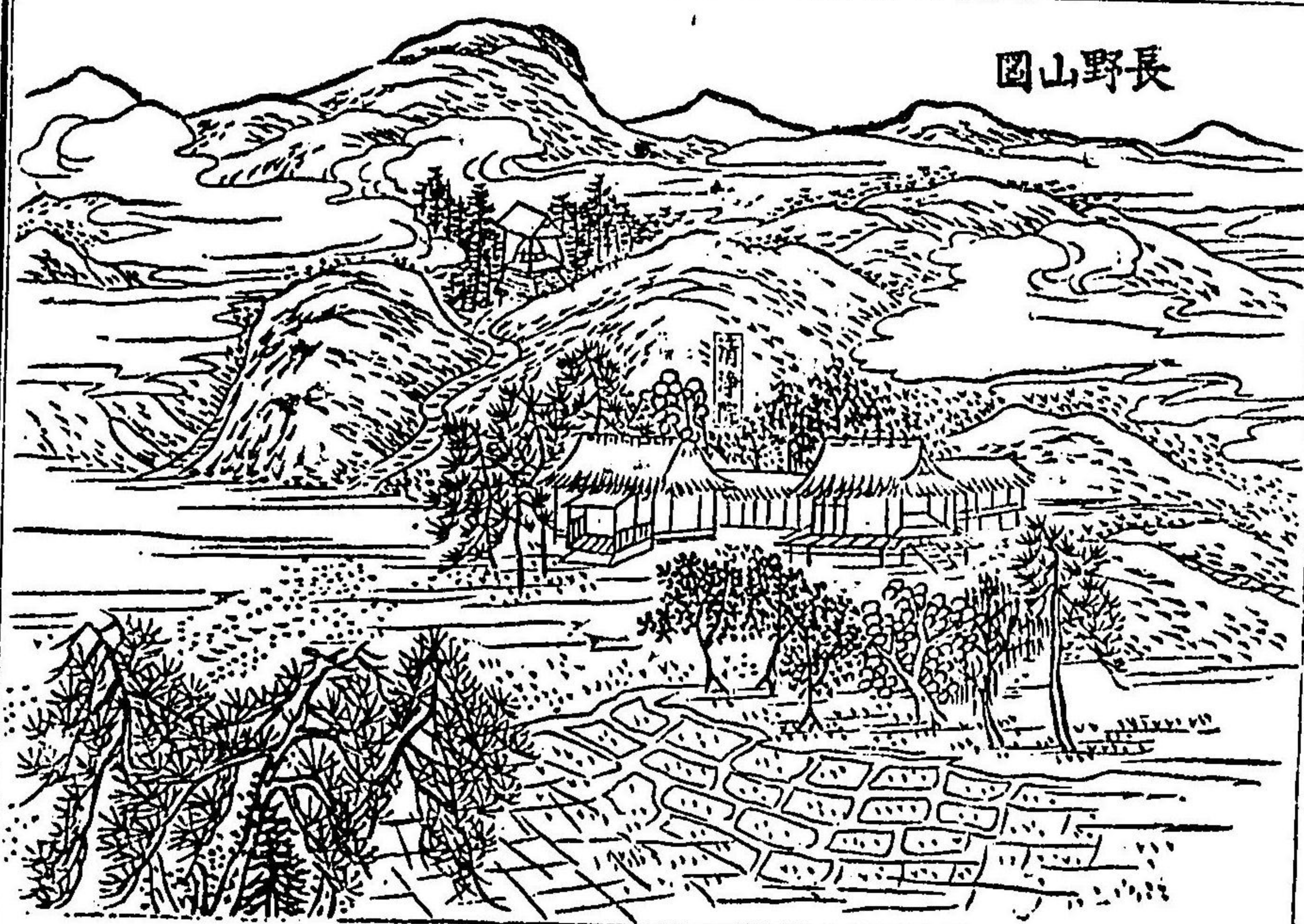
長野澤 長谷 以上南 一心堂 西南ノ方ヲ云此邊ヨリ古碑ヲ掘出セシコ 落合

同方ニアリ相傳フ往古戰爭ノ時 念佛谷 狼久保 金山 以上坤ノ方ニアリ相

兵卒ノ落合ヲ所ユヘ此唱アリト 此邊町屋軒ヲ並ヘテ賑ヘリ其內此所ハ鍛冶ノ聚住セシ所ニテ自ラ土中ニ鉄屑

斤謂ク鐵屑ト上巳言 十四

長野山圖



長野山眺湖園

道場 ナサ久保 權現 犬久保 何レ
ノ東北 ヒロフ北ニアリ 由王下
後田 赤井 牛カホ

長野山 呼内南方一ノ高土俗ニ海山ト
ノ類ナシ相州鎌倉山前コニアタリ
シテ大房ノ諸山ヲ望ミ遠クハ伊豆箱根
富士ノ山ノ波ノ光ヲ見テモ呼コトシテ
見テ内ニ或ハ八州見テモ呼コトシテ
望ノ内ニ或ハ八州見テモ呼コトシテ
ノ陸上野ノ先年立カレニ山ノ上ニ
常ノ松アリ野ノ先年立カレニ山ノ上ニ
側ニ木ヲ以テ標トスリ是海山往來ノ舟
此ノ木ヲ以テ標トスリ是海山往來ノ舟
ヘニ小塚ノ半腹ニ小松二株アリ由來ノ
山ノ創後トシ今却テナク山號院建リ以
草ノ創後トシ今却テナク山號院建リ以
ナ 稻荷社ニテ北向木ノ鳥居ヲ建阿彌陀
持ノ

白山權現社 除地三畝小名權現ニ木アリ
居ヲ建村ノ鎮守ナリ例祭九月二十二日
瀬戸明神ノ下社佐野掃部來リテ湯立
ナナス是モ阿彌陀寺ノ持右ノ二社
共ニ山上ニシテ大木老樹數多アリ
阿彌陀寺 除地五畝餘村ノ中程ニアリ
院ト號ス本堂ハ六間半四方東向本尊坐
像ニテ名道場ト云所ニシテ故ニ其邊ノ
内小名道場ト云所ニシテ故ニ其邊ノ
田間ヨリ出現セルニシテ故ニ其邊ノ
トモ呼ヘリ鎌倉戰争ノ時火災ニ罹リ
話ニ移倉争戰死事ノ屍ヲ理メ菩提ノ
此ニ移セリト云中興山覺夢永十八
年六月二十九日寂又第七世ノ僧清譽
モ寺ニ功勞アリ本堂ニ向テ是ヲ中興
云ト 觀音堂 四方本尊ハ春日ノ作長一
尺七八寸金澤第二 鐘樓 門ヲ入テ左
知

竊以真如廣大五乘不測其邊法性深高
十聖莫窮其際真如之體量々性不出蓋
蠢之心法無邊體則元來不動無塵法界

凡聖齊圓兩垢之則普該於含識恒沙功德寂用湛然但以垢障覆深淨體無由顯照矣
愛願主某謹法界之群品不論諸宗貴賤遠近村里老若勸化道俗男女當鐘奉鑄者也
願以此功德 普及於一切 我等與衆生 智共成佛道

當時第七世中興淨蓮社清譽上人曆傳大和尚于時元祿四年辛未年閏八月下旬

地藏堂 當寺ノ西ノ方一丁許隔テアリモトヨリ寺中ノモノナリト云堂ハ
清淨院 長野山ノ半腹ニアリモトヨリ寺中ノモノナリト云堂ハ
關ノ後寶曆二年地頭星谷治兵衛具久志願ニ因テ長野山ノ内十丁四段二畝十九步
サレハ後寶曆二年地頭星谷治兵衛具久志願ニ因テ長野山ノ内十丁四段二畝十九步
勸請開山トモシナリ海ノ初香海ト號ス後國柳川ノ産ニテ俗姓ハ大島氏ナリ
實曆ノ頃マモ在世人ナリトイフ法雲ハ鎌倉光明寺歴世ノ餘人ハ明和三年八
月二十一日寂ス本堂五間四方南向本尊阿彌陀立像ニテ長一尺餘作人ハ傳ヘカレ
ト此像ハ傳信院殿手樹ノ給フ櫻ノ木ヲ以テ形刻ス故ニ腹中ニ尊牌ヲ置セシメ
云又威徳明王ノ像ヲ安ス長一寸七分八分昔當寺ノ向ノ山上ニ堂アリテ尊像
ナリ堂破損セシメシヨリ今始ニ威カテ以テ本尊トテ得奉ニ長年中弘法大師守教僧
都ト法カテ争ヒ大ニ明王ノ威カテ以テ本尊トテ得奉ニ長年中弘法大師守教僧
形刻スカク靈驗アル像ナレハ清和天皇ノ守本尊トテ得奉ニ長年中弘法大師守教僧
津家ニ傳リ嶋津又三郎女竹姫開山淨譽上人ニ歸依ノ餘リ附屬セシメカナル故ニヤ
鐘樓 境内ニ當寺草創ノコトヲ載ス大零前ニ云ルカ如ク
栗木村

栗木村ハ郡ノ中程ニアリ保土谷宿ヨリハ南ニ當リ二里半餘ヲ隔ツ郷庄ノ唱ハ前ニ
同シ江戸日本橋ヨリ行程十二里ニシテ近シ當村モ上郷四村ノ内ニテ元祿ノ頃分村
ス上郷下郷ノ別既ニ關村ニ載タリ村ノ四境東ハ山ヲ隔テ杉田村南ハ中里村西ハ又
山ニ續キテ峰村北ハ田中村ナリ東西南北ノ丁數各十三四丁程土地ハ山及岡ニ續キ
テ高場ナリ土性ハ眞土野土交テ水田多ク陸田少シ水旱ノ患アリ水溢殊ニ多シトソ
東寄ニ金澤往還カ、レリ田中村ヨリ中里村ニ通ス道幅一間半又杉田邊ヨリ鎌倉ニ
通スル路ハ金澤道ヨリ西南ニ折テ峰村ニ達ス幅一間餘古ハ御料ニテ元祿九年星合
攝津守ニ賜ヒ今子孫鍋五郎知行ス檢地ハ文祿三年寺田右京糺セリ村ノ飛地畑十二
步峰村ニアリ又田一段十五步畑六畝二步田中村ニアリ彼村ノ飛地水田一畝四步許
當村ノ内ニモアリ

高札場 村ノ中程
小名 イハセ谷方村ノ東ノ 夕テノ谷同ノ邊 ハギノダイ 鹽木戸 岩崎以上
所共ニ村ノ 夕、カイ村ノ西 シマツボナリ北
山 西ト東トニアリ其高キ所凡三丈
新川 村ノ東テ流ル中里村入會大崎堰ノ下流ニテ中里
新川ヨリ來リ田中村ニ達ス幅一間餘村内ノ用水ト云 ○鹽木戸橋新川ニ架ス長四

橋ノ橋ナリコノ餘字岩崎ト云所ニ三間許ノ板橋アリ杉田村ノ方ヨリ流來ル小渠ニ架ス

山王社 年貢地村ノ中程ニアリ一丈四五尺許高キ石神社 年貢地村ノ北寄ニアリ ○駒形社 年貢地村ノ北寄ニアリ

地村ノ北 ○稻荷社 年貢地村ノ御嶽社 年貢地村ノ東ニアリ以

金臺寺 年貢地村ノ南ニアリ浄土宗峯村阿彌陀寺末稻 稻荷社

田中村

田中村ハ郡ノ中央ヨリ西ニ當ル保土谷宿ノ南ヲ距ルコト二里半餘郷庄ノ名及中古笹下上郷ノ一ナルコト前村ニ同シ江戸日本橋ヨリ行程十一里餘民戸二十二軒東ハ栗木村南ハ山ニ續キテ峰村西ハ矢部野村北ハ雜色村ナリ東西三丁程南北十丁餘當村ハ北ニ向ヒ南ノ方ハ山ヲ負ヒテサシ塞レリ土性陸田ハ赤土水田ハ黒土ニテ畑多ク田少シ天水ヲタ、ヘ其足サルハ峰村内山間ノ細流ニ小堰ヲ設ケ總ニ引來リテ用水ノ補トス故ニ旱損ノ患アリ村ノ東寄ニ金澤道係レリ北ノ方雜色村ヨリ東ノ方栗木村ニ達ス道幅二間中途ニ南折シテ峰村ニ達スル道アリ是鎌倉道ナリ幅五尺餘當村私料トナリシ年代及檢地等栗木村ニ同ク今子孫星合鍋五郎カ知ル所ナリ村ノ飛地二段九畝九步矢部野村ノ内ニアリ

高札場 村ノ南

小名 坂ヒタヒ 村ノ東 松内 同邊 天谷 村ノ北 左右手 村ノ南 島腰 村ノ西

ムジナ 郷程ナリ

山ノ坂村及栗木村等ノ續ニアリ東邊金澤道ノ内ニ登リ三十間程幅二間許

天谷川 村ノ東ヲ流ル幅三間餘大岡川ノ上流ニテ粟木村ヲ新川ト呼ヘルモノ是

村ニ ○天谷橋 天谷川ニ架セリ川幅六間半幅一間ノ板橋ナリ



神明社 除地二畝歩村ノ東コア
御嶽社 除地二十歩村ノ南コアリ社ハ九尺

藥王寺 除地二畝北寄ノ山上コアリ
淨土宗江戶深川靈巖寺末東方山濟生院ト號ス

田中ヨリ 堀ノ里ノ人宇田川氏當所字兼田コト云ヘル水
稻荷社 千本松 堂ニテ左

方ニテ 茂ル尺許中幹アリ古植タル方ニ分レテ生
妙道寺 山ノ頂地高九石二斗一升六合ノ山ニアリ法華宗總州中山法華經寺末常林

性院 法祐日寂ス元和元年ノ寶曆起テ安基ハ時ノ御代官間宮彦次郎忠次ノ母法名智

誤リモ 或ハ同彦十郎ナリ共云傳フ誤ルニ左衛門ノ子彦次郎忠次ノ母法名智

左衛門 直元ノ像ナル 什物涅槃像 一幅 乙亥年八月本願主酒井因幡守殿又實相院

日林聖人 三十番神堂

褒善者 スエ 村民岩次カ母ナリ早ク夫コオクレ母ト共ニ居リ孝養至リシカハ地頭

其後程 へ 星合鍋五郎ヨリ官上シテ寛政八年公ヨリ二十圖ヲ賜ヒテ實カハ地頭

新編武藏風土記稿卷之七十九終
久良岐郡之八

本牧領

雜色村

關村

久保村

中里村

永田村

松本村

最戸村

別所村

弘明寺村

引越村

久良岐郡之八

本牧領

雜色村

雜色村ハ郡ノ乾ニ當リ東海道保土谷宿ヨリ南ノ方二里半餘ヲ隔テ江戸日本橋ヨリ行程十里餘杉田郷六浦庄ニ屬セリ按ニ正保國圖此邊ニ上郷下郷ノ名ヲ載セ元祿ノ圖ニハ田中峰矢部野栗木ノ四村ヲ載セテ各上郷ト傍ニ記シ又雜色松本關ノ三村ヲ載共ニ下郷ト傍記ヌサレハ元祿前上下二郷ヲ分テ七ヶ村トナシ當村元ハ下郷ト唱ヘシコトシラル土人ノ傳ヘニ往昔上郷四村ヲ上笹下ト唱ヘ下郷三村ヲ下笹下ト唱ヘシトイヘハ上郷下郷ノ唱ヘハ上笹下郷下笹下郷ノ中畧ナルヘンサレハ今モ七ヶ村ノ地多クハ郷名ニ笹下ヲ以テ唱ヘリ當村及關村ノミ杉田ノ郷ヲ唱ルハ後世他ノ郷名ノ波及セシナラン戸數四十二軒村ノ四境良ノ方ヨリ東ニ亘リテ關村東南ニ田中村午未ノ方ハ矢部野村申酉ノ方ハ宮下村乾ノ方ハ松本村及吉原村ナリ境界松本關二村ニ犬牙シ凡東西ヘ五丁餘南北ヘ六丁餘地形西ハ山東ハ平行ナリ土性ハ白眞土赤砂赤土黒土等ナリ天水ヲ待テ耕セハ屢旱損ス寛永中間宮新左衛門栗木村新川

ニ堰ヲ設ケ開村ト同ク其水ヲ引沃シカ元祿中廢シテ今ハ當村松本關三村入會ノ地
小名明澤打越二所ノ溜井ヲ引用ユ此溜井ノコトハ松本關二村ノ條ニ出ス村ノ東方
ニ金澤道係ル關村ヨリ入り田中村ニ達ス幅二間此道ノ中程ヨリ東ニ分ル、道アリ
幅五尺關村ニ達シ夫ヨリ森公田村ノ方ニ通ス此地天文年中小田原北條家ノ旗下間
官豐前守信元領地ニシテ夫ヨリ引續天正ノ頃ハ間官新左衛門直元采邑ナリシニ御
入國ノ時召出サレ則當所ヲ預リ奉リ支配セシニ寛文二年久世大和守ノ領分トナリ
同九年再ヒ御料所トナリ元祿六年柳澤出羽守領分トナリ翌七年又御料所ニ復シ細
井九左衛門支配シ同十一年加藤源太郎大津駿河守ノ二人ニ賜ハリ今子孫加藤多官
大津新右衛門カ知ル所ナリ檢地ハ文祿三年寺田右京延寶元年八木仁兵衛成頼五左
衛門坪井治右衛門紀ス

高札場二ヶ所一ハ村ノ中程
一ハ北ノ中程

小名 曲田 村ノ東 立野 同シ方 笹下 此唱アリ此古ヘ笹下上郷下郷ノ本郷ヨリ
東ハ當村對岸ハ松本村入會ナリ 大久保庭 久保氏ノ屋敷ナリ門前チ古ヘ大
云ヘルヤ土 木戸澤 村ノ南チ 立山 明澤 小入道 大月 以上三ヶ所村
人ハ傳ヘス 塚山 此所ニ經塚アリ高三尺餘古兵亂ノ時一切經ヲ埋メシトモ云リ
或ハ村內東福寺ノ開基海辨改宗ノ時經卷ヲ埋メシトモ云リ 杉本 ヲ

トフ坂 以上三ヶ所
村ノ北チ云

山 段別五町四段一畝二十歩ノ内五段五畝ハ地頭ノ林ナリ
新川 關村ニ沃ク幅二間餘大岡川ノ上流ナリ

成就坊 除地ニ段一畝二十歩村ノ異ノ方ニアリ淨土眞宗伊勢國一身田專修寺末梅
現住祐玄法師眞宗ニ歸依シ親鸞ノ弟子トナリ改宗スヨリ祐玄ヲ開基ト稱ス文
永元年十一月六日歲七十五ニシテ寂スモトハ西本願寺ノ末ナリカ元文三年十
六代ノ寺號ニ替シト云山號ハ本願寺良如武州江戶ヘ下向ノ時九條殿下ト共ニ金澤
元ノ寺號ニ替シト云山號ハ本願寺良如武州江戶ヘ下向ノ時九條殿下ト共ニ金澤
遊覽ノチリカラ當寺ニ逗宿アリ時ノ住僧第十三世了善ヲ招キ梵區ノ勝樂ヲ贊
美シ戲ニ庭前ノ梅花ヲ手折リテ詩ヲ詠シ梅花山ト呼ヘシトアリシカハ古ノ山
號ヲ改メシトナリ親鸞ノ室惠信尼ノ作ナルニヤ惠心院ノ源信ニハアサハシ本
堂ハ間口七間 寺寶 親鸞壽像一軀 倉常盤ニ逗留ノ時自作ス親鸞 六字名號
與行六間半

一軸ノ親鸞 善導大師木像一軀 長八寸法 聖德太子二歳肖像一軀 御長一尺五寸ノ
十五歳ノ時自カラ幼穉ノ形ヲ彫刻アリモト傳テ開基祐玄習學ノ時南都興福寺祐
賀僧都ヨリ師弟契約ノ驗ニ授與セシモノコト此チ南無佛ノ尊像ト號ス當寺ノ祐
號ハ則コレニ 六字名號一軸 遺如 大經ノ文一卷 三部經ノ内無量壽經ナリ伏見
ヨレリト云

正觀音像一軀 長八寸相傳フ右大將朝義兵ヲ率ルトキ文覺其成否ヲトセシ
朝ノ守護佛 鐘樓 享保九年五月鑄造ノ鐘ヲカク 藥師堂 行基ノ作此堂ハモト三分
ナリト傳フ 鐘樓 享保九年五月鑄造ノ鐘ヲカク 藥師堂 行基ノ作此堂ハモト三分
外東ノ方ニアリテ一ニ香林寺ト號セシカ數度ノ賊難ヲ恐レ承應年中境内ニ移セ
リ古ヘノ堂地二十歩餘ノ除地ハ今ニ存ス此堂文化九年十一月ノ地震ニ破壞シイ

新編正統風土記 久良山郡 二

ハ假ニ再建ニ及ハス。像門四ツ足門ナリ古ヘ間宮氏征下ニ陣屋アリシ。塔頭林。貞寺本尊彌陀開基林貞ハ元和元年三月三日寂ス。境内ヨリ異ノ方一町。乘船寺本。彌陀開基乘船天文二年八月二日寂ス。此モ良ノ方境内ツキ年貢地ニアリシカ中古廢シテヨリ未タ再造ニ及ハス。

東福寺 除地二段五畝餘村ノ中程コアリコノモ同宗コト云者。京都西本願寺末杉本山三。藥師ノ像ヲ負フテ當所ニ來リ一字ヲ創建シ妙法山一乘寺ト號シ。天台宗ナリ其後。永曆元年七月十世ノ僧明道ノ時ニ當リ雷火ノタメニ堂宇有トナリシカ再建力。及ハスシテ長寛二年ノ春明道遷化シ一時無住トナリ本尊藥師モ雨露ニ侵サレ。ヨリ村民等小堂ヲ建テ安置ス其後數年ヲ歷テ觀覽ノ法弟トナリ名ヲ海辨ト改メ遂ニ改宗スヨリ此ヲ開基トシ密辨眞宗ヲ信シ觀覽ノ法弟トナリ名ヲ海辨ト改。僧ノ說ニ古ヘ當村小名杉本トス永三年三月朔日八十九歳コナリ名ヲ海辨ト改。康正二年八月十六日卒シ法名春光院東福壽元居士ト號ス此ノ當寺ヲ中興セシ人。孫アリ下ノ舊家ノ條ニ出セリ又院號ヲ三月ト云ルハ親當寺ニ三ヶ月逗留アリ。テ化導アリシ靈場ナルコトヨリカク號スト云本堂六間半ニ六間本尊阿彌陀長二尺。三寸餘裏ニ慶長九年甲辰七月十一日釋准如願主東福寺釋海順トアリ古ノ本尊藥。師ハ村ノ西北笠松塚前ノ堂ニ安置セリ又當寺文祿中鑄造ノ大鐘アリ古ノ本尊藥。今ハ失ヒテ銘文ノ寫ノミヲ存ス頗ル考證ニ益アレハ其文ヲ左ニ載ス。

順彌南畔吠瑠璃樹下日域關東道武南笹下雜色村杉本山三月院東福寺鐘銘并序。當山之起興者。往昔護妙法印之草創。台家習學之梵區。而宗祖親鸞聖人施化之法窟也。由基海辨上人。成宗祖之法弟。而開眞宗念佛之道場所也。經二百餘歲之春秋。而第。

九世之寺主釋海弘代。大永三癸未秋。依多年之志願。而新懸洪鐘。佛閣之莊嚴。變場之規模。當此時而悉滿足。于時永祿之度。爲兵亂失之。予雖不敏。次十二世之傳燈。而悲無佛器。勸進徒衆。而再鑄蒲牢。鎮護國家之懇禱。滅罪生善之指南。出離生死之眞因。速證涅槃之正路。都而無過洪鐘之功德。晨昏發響。驚無常之日々。近五更醒眠。識壽算之夜々。促雲上天衆五衰之憂。休一聲之響。浪下龍神三熱之苦。息半時之鐘。蓋聞魏皇帝懸玉殿之鐘。表金輪萬機政。漢高祖收金樓之鐘。示玉體千秋之樂。所賴者洪鐘之利益。所仰者佛陀之護念。然則生死忘想之夢。驚一聲之鐘。寂靜無爲之樂。得須臾之響。重乞六八弘願之月光。照鐵圍之外。一向專念之花句。薰有頂切利大天。預參之道俗。宿善忽開。速證法性。常樂之妙果。則是報攝取不捨之廣恩。銘曰。

洪鐘一口 再懸道場 見聞得益 普到西方 于時文祿元壬辰曆仲春 傳燈佛子海運謹誌

寺寶 親鸞自作木像一軀 親鸞七十二歲ノ像ニテ長一尺五寸除ノ坐像ナリ。光明本ノ筆 六字名號一軸 同 一軸 速如 阿彌陀畫像一軸 善導大 塔頭 憶念寺基。唯願寬永二年九月三日寂ス。此寺今破壞ニ及ヘリ。本尊彌陀ハ本坊ニ安置ス。

太子堂 除地二十五步村ノ北小名塚山ニアリ元ハ除地三畝二十五步アリシカ山
 像ニテ長二尺二寸許自作ト云相傳フ親鸞東福寺ニ逗留ノ時靈夢ニ依テ佛舍利堂
 感得シ又土中ヨリ此像ヲ掘出ノ同寺開基海辨ニ授與ヒシト云佛舍利ハ今ニ此堂
 ノ寶物ナリ其後應永十年村民清兵衛カ先祖北見掃部太子ノ告テ東福寺ヘ寄附シテ
 合セテ太子堂ヲ己カ持地經塚山ニ建立シテ彼像ヲ安シ此地ヲ東福寺ヘ寄附シテ
 鎮守トス後天文二年領主間宮豐前守信元モ信仰ヲテ一村ノ鎮守トシテ此堂ヲ
 明ノ頃ヨリ大破ニ及ヒシカハ再建中太子ノ像ハ同寺ノ持テレハ假ニ移シ置リ
 藥師堂 除地二十五步餘村ノ西北ノ方ニ故笠塚ト呼ヘリソレヨリ當地ニ古塚アリ
 唱フト云彼松ハ枯シヤ今ハナシ堂三間ニ東福寺ノ條ニ本尊藥師ハ坐像長一尺一
 寸許行基勅命ニ依テ彫刻セシモノト云來由東福寺ノ條ニ本尊藥師ハ坐像長一尺一
 安ノ東福寺成就坊兩持ニテ今東福寺支配ス
 十王堂 除地二十五步村ノ東ノ方ニ長三尺一寸本地地藏長二尺二寸ナルシカ
 舊家者百姓利兵衛氏チ内田ト云居先祖内田對馬守某ハ永正五年三月二日卒ス
 法名淨元居士其子源左衛門ハ天文三年八月七日卒ス其子五郎左衛門弘治二年五
 月十六日死セリト云間宮氏當所ヲ領セシ頃先祖奉仕シテ數度戰功アリ由所藏
 ノ文書左ノ如シ

今度希有之走廻就致之ハ從御大途御褒美自分之面目手前ニモ外聞ニハ間親子
 共受領官途申之付者也仍如件

寅三月廿八日

信親花押

内田對馬どのへ

同源左衛門のへ

右ノ信親ハ間宮氏トス
 傳ヘテ俗稱等詳ナラス
 云村ノ小名經塚山ノ邊ヨリ東北新川ノ岸マテ凡二丁ニ半餘小名杉本ト唱フ
 ル所則掃部カ屋舖ナリ由舊記等モ傳ヘサレハ其事蹟詳ナラスサレト村内東福
 寺ノ縁起ニ此人當寺ヲ中興開基ニ康正二年ニ死セリトアレハ舊家ナ
 ルコトハ論ナシ古クヨリ持傳ヘシトテ二尺三寸許ノ刀一腰ヲ藏セリ

松本村

松本村ハ郡ノ西ニアリ土人云村内正覺寺ノ傍ニ松樹一株タテリ是村名ノ起ル所ニ
 シテ其木ヲ松本ノ松ト呼ヘリトサレト其松圍ミ一丈ニ過スシテサセル老樹トハ見
 エス若クハ古木枯テ後ニ植ツキシモノニヤ笹下郷ニテ庄名ハ前ニ同シ又村内御靈
 社寛永ノ文書ニハ杉田庄トモ記セリ且古ハ杉田領又金澤領ニモ屬セシナトイヘト
 定カナラスモトハ當村及關雜色ノ三村ヲ合テ下郷ト唱一村ナリシコトハ前村ノ條
 ニ辨スレハ合セ考ヘシサレハ此三村ノ接界犬牙シテ定カニ分ナカダシ其大概ナイ
 ハ、東ハ大岡川ヲ隔上大岡村ニ隣リ巽ノ方ハ關村ニシテ南ハ雜色村ニ交リ坤ノ方
 ハ吉原村ニ續キ西ハ相模國鎌倉郡永谷上村ニ至リ北ハ當郡久保村ナリ東西十丁許
 南北十五六丁江戸日本橋ヨリ行程十里地形高低アリ土性ハ黒土眞土赤土等ナリ田
 畑相半シ村内ノ溜井及關村ノ溜井ヲ引テ用水トスント不便ニテ早損アリ家數六十

四軒散住ス村内ヲ貫ケル往還ハ金澤道ニシテ上大岡村ヨリ入關村ニ達ス村ニ係ル
コト凡五丁幅一間許又村ノ西ノ方ニ一條ノ道アリ鎌倉古海道ニシテ七里堀ト呼フ
久保村ヨリ入村内十五六丁ヲヘテ相模國鎌倉郡下野庭村ニ達ス山道ナレハ道幅廣
狹アリ天文ノ頃間宮豐前守信元カ領知ナリシ由寛永二年其子孫間宮左衛門敦信カ
記セシモノニ見エタリ其文ハ村内御靈社ノ條ニ出セリ御打入ノ後御料所ニシテ御
代官ノ遷替前村ニ同シ其後元祿九年三給ニ分ナ賜リ今其子孫服部富藏松風六郎兵
衛藤川甚之丞知行ス檢地ハ寛文十三年成瀬五左衛門改シ後元祿九年私領トナリシ
時糺セリト云

高札場三ヶ所 小名宮田武者ヶ谷

小名 青木 北條役帳ニ多米新左衛門久良岐郡青木永八貫四十文トアリサ
ハ世々多米氏ノ領セシ由其地ニ多米氏ノ墳墓及城跡等アリ 中登村ノ中程
ハ役帳ニ載スル所ハ橋樹郡青木町ニテ郡名ハ誤リシナルヘシ 陣臺南ノ方ニ
間宮豐前守此邊ニ居城セシトキ役所ヲ設ケ貢税ヲ取集シ 陣臺南ノ方ニ
所ナリト云此地ヨリ布目アル古瓦ヲ堀出スコトマヽアリ 陣臺南ノ方ニ
頃何人ニヤ愛テ陣所トセシヨリ此名アリ トウロウ堂村ノ中程ナリ古ノ
云地形高クシテ海面ヲ望ミ風景勝レタリ トウロウ堂村ノ中程ナリ古ノ
代等詳 宮田 宮郷 子神 ウタフ坂 明澤 栗崎 以上六ヶ所南 武者ヶ谷
ナラス 關前 立野 以上三八東 小日野 大谷 室木 以上三八西 赤羽 西北ノ方 井

籠 同シ方 權現堂 西南ノ方ニイカツチナリ方 房坂 東南ノ方ニ橋戸 中程ヨリ少
笹下 金澤道ノ傍川 下笹下 鎌倉街道ノ
大岡川 南ノ方關村ヨリ流來リ東北ノ方上大岡村ニ達ス村内ハ流ルコト凡五丁
日野川 西南ノ方吉原村ヨリ來
溜井ヶ二所 一ハ小名宮郷ニアリ一ハ當村及關雜色三村組合ノ溜井
安房洲明神社 除地一段許小名宮田ニアリ村内ノ方ヨリ紫雲起リ雲中ノ頃
カハ里民奇異ノ思ヘテ是安房洲崎明神ノ飛來シ給フナリ雲消去ス須臾ニ
ル所ニ雲立スヘテ至テ消滅スモヤカテ其前ニ守テ去ス須臾ニ
洲明神ト崇ム夫ヨリ遙ニ星霜ヲ經テ破壞セシコト宮前ニ守テ去ス須臾ニ
聞エタル所ニカ移ニ造營スヘシト云ハモトヨリ信元今且海邊ニ去シ波ノ音
社ハ天文十二年ノ宮ニ古洲崎明神ノ飛來スルコトヨリ信元今且海邊ニ去シ波ノ音
命ヲ祀ルコト安房洲明神ト稱セシヤト信元今且海邊ニ去シ波ノ音
社ナルモ知ヘカニ藏ス東安房國ヨリ飛來セシコトヨリ信元今且海邊ニ去シ波ノ音
損シ何ノ像ヲ社ニカニ藏ス東安房國ヨリ飛來セシコトヨリ信元今且海邊ニ去シ波ノ音
テ石階數級ヲ設ケ上ニカニ藏ス東安房國ヨリ飛來セシコトヨリ信元今且海邊ニ去シ波ノ音
シテ古社ヲ知シ左ノ傍ニ立置リ三圍ノ社邊古木數株茂ク園時ナリ社寶蛇
骨 一个 守カ命ニ代リテ堅死セシ五寸横ナリト云其來由ヲ記セバ元福院持レ

守ハ天正十八年豆州山中落城ノ時戰死シタレハ
命ニカハリシト云合戦ハ遙ニ前ノ事ナルヘシ

御靈權現社 小名下笹下ニアリ森中原村修驗泉藏院持古間宮氏宅地ノ鎮守ナリシ
再興等ノコトヲ記
セリ其文左ノ如シ

武州久良岐郡杉田庄佐々氣村御靈宮天文年中開基願主同國橋郡川崎堀之内城
主ニ々木間宮豐前守源信元當所領内江建立文祿年中信元四代孫間宮彦四郎源
直元造代之云々

右之外修理等數代從當家沙汰之所也今度拜殿造作依從先祖爲嘉例棟札奉納之
于時寶永第二酉孟夏本願主豐前守信元七代之後胤願主武劬久良岐郡杉田村地
頭佐々木間宮左衛門尉源敦信花押

爲天下泰平君臣和合武運長久子孫繁榮家内領分安全

御靈宮別當所

泉藏院

是ニ據ハモトハ拜殿ナトモ有シ
ト見ユレト今ハ僅ノ祠ノミ建リ
○榎名社 年貢地南ノ方耕地ノ内ニアリ石ノ小社
○稻荷社 小名青木ニ村民持 ○山王社 村ノ中程ヨリ少ク北日
○若宮八幡社 小名笹下ニアリ村民持
正覺寺 年貢地小名大谷ニアリ淨土宗樹郡奈川宿慶運寺末松本山法身院ト號
ト入石階五十三級ヲ登リテ本堂ノ前ニ至リ本堂七間半ニ七間南向本

尊阿彌陀ヲ安ス坐像ニテ長三尺餘惠心ノ作外ニ觀音地藏彌陀釋迦勢至ノ畫像一
軸アリ惠心ノ筆ト云開山巡參覺同ハ正長元年七月十六日示寂ストイヘハ古キ草
創ナレト寺傳ヲ失ヒタレ 稻荷社 本堂ノ背 觀音堂 本堂ノ左傍ニアリ二間半ニ
ハ詳ナルコトヲ知ラス 乘願寺 小名宮郷ニアリ淨土眞宗伊勢國一身田專修寺末宮谷山ト號ス本
安立像蓋座共長一尺五寸許行基ノ 福壽院 小名橋戸ニアリ古義眞言宗石川寶生寺末南光山慈眼寺ト號ス本堂六間半
作トイフ金澤札所ノ内十六番ナリ 二ヶ寺今ハ住職ノ僧ナシ 權現堂 小名宮田ニアリ聖護院末修驗龜谷山ト號ス院號ハ住僧ノ名ヲ稱スレ

權現堂 小名宮田ニアリ聖護院末修驗龜谷山ト號ス院號ハ住僧ノ名ヲ稱スレ
ナリシカ何ノ頃ニヤ鎌倉戰争アリシ時當部森村ニ移レリト彼村今ハ森谷田森中
原森雜色ト唱ヘ三村ニ分ナリ其舊蹟ハ傳ヘス所藏ノ文龜三年ノ文書ニ鎌倉扇谷
權現堂福壽寺トアレハ文龜ノ頃ハ猶鎌倉ニアリシナルヘト其後遙ノ今山號ヲ龜谷ト唱
スルモ扇谷ハ龜谷ノ内ナレハ其地名ヲトリスナルヘト其後遙ノ今山號ヲ龜谷ト唱
山長傳ノ時當所ニ移住スト云開山詳ナラス長傳ハ二十九世ノ僧ニテ承應二年六
月二十七日示寂セリ本堂四間ニ開山詳ナラス長傳ハ二十九世ノ僧ニテ承應二年六
慶ノ作ナリ外ニ不動及二童子ノ像ヲ安ス鎌倉ニアリシナルヘト其後遙ノ今山號ヲ龜谷ト唱
藥師ノ像一軀アリコハ森公田村淺間ノ本地佛ナリ彼社當寺ノ本尊ナリト云傳フ又
リケ 寶物 役行者畫像 一軸 會我知石 消息 一涌 消息ナリ其文左ノ如シ

院の御所様より頭ありの歌のたんさく仕ゆ□上いたゝへのよーかーこま

りのく

山花盛はれ行跡の色もわがかりは白雲の
りやうの歌にてくるーかるまーくひや

御意をえられぬて給へり
何時も仰まかせ仕へくひし

御ちやゝへ
道晃

古文書二通

相州鎌倉扇谷權現堂福禪寺名代並諸檀那被下候事任古隆春申置之分如先規可
相計自然競望之輩在之者於京都可被送御糺明白乘々院法印度御奉行所也仍
執達如件

文龜三三月十三日

慶俊花押

快延花押

武州杉田

幸藏坊□□

就先年御入岸之儀頭巾役事爲可之相懸□爲聖護院御門跡様被差下上使畢宜被
致其沙汰之由乘々院大僧正御坊御奉行之處也仍執達如件

大永七

秀榮花押

三月十三日

快延花押

權現堂御許

稻荷社 本堂ノ後

舊蹟間宮豊前守陣屋蹟金澤道ノ傍小名笹下ニアリ平地ニシテ今ハ陸田トナレリ
トモ稱ス小田原北條家ノ惣先手ノ大將ニテ武州久良岐郡佐々木城主アリシト村
内安房洲明神ノ由來記ニモ問宮豊前守信元此邊ニ在城ストイヘハ此墟ハ信元カ
遺跡ニシテ今笹下ト稱スルハ佐々木ノ轉語ナルヘシ又村内御靈社ノ條ニ出セル
間宮敦信カ記セシモノニ信元ハ樹郡川崎堀之内ノ城主ナル由載タレト今堀之
内村ニ其居跡ト云所ナシ但川崎宿ノ内砂子町ニ
信元カ城跡アレハ其所ニモ住セシト見ユタリ

關村

關村ハ郡ノ中程ヨリ乾ニ當リ保土谷宿ヨリ巽ノ方二里半ヲ隔ツ杉田郷ニ属シ庄名
前村ニ同シ江戸日本橋ヨリノ行程十里餘民戸三十四軒東ハ山ヲ境トシテ森公田村
ニ隣リ南ハ田中村ニシテ西ハ雜色吉原ノ二村ニ錯リ北ハ松本村ナリ雜色村ノ條ニ
辨スル如ク當村松本雜色ノ三村ハモト下郷一村ノ地ヲ分テルナレハ入會飛地多ク
シテ村ノ廣狹辨別シ難シ其大凡ナイハ、東西五丁餘南北三丁餘モ有ヘシ畑多ク田
少ク旱損ノ地ナリ土性ハ眞土野土ナリ寛永年中間官新左衛門支配セシ時新川へ堰
ヲ設テ用水ニ引沃キシカ元祿ノ頃廢セシ後ハ天水ヲ仰テ耕種シ其後村内ニ溜井ヲ
設テ用水トセルコトハ雜色村ノ條ニ辨セリ村ノ中程ニ金澤道係レリ幅七尺許又日

野道ト云アリ北ノ方金澤道ヨリ別レ吉原村ニ達ス幅六尺許又一條アリ金澤道ノ中程ヨリ別レ森公田村ニ達ス幅六尺許是ヲ森道ト云此村御入國ノ後御代官及領主ノ遷替雜色村ニ同クシテコ、ハ元祿十一年加藤源太郎ニ賜ハリシヨリ今子孫多官カ知ル所ナリ檢地モ雜色村ト同クシテ延寶元年ニ糶セシ地ハ村內野錢山野錢鹽役山野高錢山ト號シテ野永ヲ出セリ此餘寬文二年久世大和守カ家臣山路久兵衛三溝次郎兵衛香取市兵衛等カ改出セシ新田ハ見取場ナリシカ延寶六年高入トナレリ

高札場 村ノ中程
 小名 天王谷 木下 打越 以上村ノ
 山戸谷 ヒノツベ 曲田 以上南
 明澤
 小入道 以上西 立野谷 武者谷 馬飼谷 赤穂 以上北
 山ノ東ヨリ幅一問許登リ三下餘其傍ニ地頭林百姓林秣場等アリ地頭林ハ雜色村ト入會秣場ハ下
 新川 村ノ西ヲ流ル大岡川ノ上流ナリ田中村ヨリ入
 溜井 小名打越ニアリ廣サ三段許下郷
 稻荷社 除地ニ畝異ノ方ニ引沃ク
 天王社 東ノ方山上ニ間ニテ村內東樹院持

東樹院 除地七段山除地五段村ノ北金澤道ノ傍ニアリ古義眞言宗石川寶生寺末闕ノ僧者圓へ御室ノ宮ヨリ今ノ山號ヲ賜ヘリト云其時ノ文書今ニ藏ス本堂六ノ半ニ五間本尊大日ヲ置坐像長ケ一尺五寸寺傳ト聞スルニ大治二年沙門順玉ルニ至順ト云へル沙門モ又遊歴シテ愛セシカ弘治年間ニ廢セルヲ一廢ニ及ヘリ然ノ宮豐前守ハ藤下郷ニ居城セシニ豐前守ヲ中興基トス其後天正五ノ頃實文僧某イカナル故ニヤ彼寺領寄附狀ヲ地中ニ埋メシヨリテ寺領ヲ没収セラル同十八年七月檢地ノ時辻七助吉次ヨリ出シ文書ノ寫ヲ藏ス其文ニ杉田之内東樹院門前共々棟別無之由候間只今モ指置申候云トアリ其後寬文寺寶 狐玉永三年前御代官問宮彦次郎公ニ達シ境內五石ノ地ヲ除地トナセリ

二顆 渡唐天神畫像一軸 時松樹下梅ヲ持タル像ニテ上ニ文字アリト云傳フ

文書二通

禁制 武藏國久良岐十二郷内 杉田三ヶ村

- 一 軍勢甲乙人等監妨狼藉事
 - 一 放火事
 - 一 對地下人百姓非分之儀申懸事
- 右條々緊令停止訖若於違犯之輩者速可被處嚴科者也
- 大開券吉印アリ
 天正十八年四月日

山號寺號所望之事令披露之處可被稱大圓山寂靜寺旨惣法務官御氣色之處仍執
達如件

寛文十一年十月四日

花押奉

宥圓御房

文中大圓ノ字ヲ紙ヲモテ張リ關宮トアリシ由今其紙ハハナレテ大圓ノ二字見ユ
此餘古文書制札等四通ヲ藏セシカ祝融ノタメニ烏有トナリ今ハ寫ノミヲ載スレ
ハ爰ニ出サス且其内間宮左衛門大夫カ出セシト云制札アリ花押ヲ見ルニ北條スレ
衛門大夫氏勝ノ花押ニ似タリ恐クハ間宮氏ニハアラザラ氏勝ノ田セシモノナルヘ
シ其寫左
ノ如シ

禁制

右當寺中致狼籍之由不及是非候自今以後致狼藉付而者條下土民共與自當城可
打散者也仍如件

四月日

左衛門大夫花押

東樹院

稻荷社 境内ノ山

辨財天社 本堂ノ前

觀音堂 除地一畝十八步村ノ北東樹院ノ向ニアリ如意輪觀音ヲ安ス行基ノ作坐像
セシ由今其
名ヲ廢セリ

阿彌陀堂 除地一畝二十步村ノ東方ニアリ堂ハ四間ニ

三間阿彌陀ノ傍ニ地藏ヲ置ク以上東樹院持

最戸村

最戸村ハ郡ノ西方ニアリ多々久郷小机庄ニ屬ス古ハ穴戸村又鹿戸村ナト書セシト
イヘハ古クハシ、ド、稱セシナラン東ハ大岡川ヲ隔テ上大岡村ニ隣リ西ハ別所村
南ハ久保村北ハ中里村ナリ東西二丁程南北七丁許村内多クハ山ニシテ其谷々ニ田
畑ヲ開墾ス陸田ハ水田ヨリ多シ大岡川ヲ堰上テ用水トシ又別所村ノ谷々ヨリ湧出
スル水ヲモ引沃ケリ民戸十九軒農隙ニハ薪ヲ伐出シテ生産ノ助トス村ノ西ノ方別
所村ヨリ入南ノ方久保村ニ達スル一條ノ往還ハ金澤及相州鎌倉ヘノ捷徑ナリ幅ハ
僅ニ六尺許ニシテ村内ヲ經ルコト二丁餘又西寄ニ鎌倉古街道ト云アリ是モ僅許ノ
道ナリ又西北ノ方字エビガ谷ニ塚三ツアリ共ニ首ベ塚ト云一ハ高サ一丈餘二ハ五
尺程ナリ古ノ領主ヲ傳ヘス御入國ノ後ハ御料所ニシテ元祿四年聖堂領ニ附ラレ寛
政九年御代官ノ司ル所トナレリ檢地ハ天正十九年延寶六年寶永四年ノ三度ニ糺シ
アリ又中里引越別所等ノ三村ニ接シテ村ノ飛地アリ江戸日本橋ヨリノ行程前村ニ
同シ

高札場 南ノ方

小名 根 南ヨリ 北谷 西北ノ 芝際 中央ヨリ少 沼 北ノ方 大山作 同ノ方

餅坂 西北ノ方 大谷 南ヨリ 二段畑 西ノ端 二枚作 北ノ方 大野 西北 星根戸谷

南ヨリ 藤木 東北ニ 甘酒臺 南ヨリ 象淵 東ノ方 大岡 小最戸 龍前 高山 藤

野 順札坂 以上五ヶ所何レモ 大岡川 村ノ東境ヲ流ル幅八間許南ノ方久保村ヨリ入北ノ方別所

十二社 權現社 除地ニテ五歩小名最戸ノ上 藤木橋ト呼長六間幅六尺

稻荷社 除地ニテ五歩小名最戸ノ上 藤木橋ト呼長六間幅六尺

子神社 除地ニテ五歩小名最戸ノ上 藤木橋ト呼長六間幅六尺

千手院 除地ニテ五歩小名最戸ノ上 藤木橋ト呼長六間幅六尺

一尺八寸許銅像ナリ後背ニ銘文アリ左ノ如シ年大歲丙寅九月十五日如來阿彌陀佛

像 本願主勸進聖人後背ニ銘文アリ左ノ如シ年大歲丙寅九月十五日如來阿彌陀佛

生年卅五 本安置出羽國最上郡府中庄外郷石佛此本尊ヲ程見ノ如來阿彌陀佛

ル由其故ヲ尋スルニ信濃國善光寺如來佛ニ先其ホトヲ試シメテ鑄ルモ像

ナレハカク 師テ論セシヘリサレトラス境内ニ大阿闍梨尊繼不生ト刻セシ鑄アリモ

永十一年ニモアリ此僧若ク 境内ニ大阿闍梨尊繼不生ト刻セシ鑄アリモ

來迎寺 堂五間ニテ六間東向本尊阿彌陀ノ上ニ立像ニテ長八寸許開山關基詳ナラス

阿彌陀堂 除地ニテ三間四方ニテ西向ナリ來迎寺持

久保村 久保村ハ土地ノ方位郷庄ノ名領主ノ遷替檢地ノ年代江戸日本橋ヨリノ行程等スヘ

テ前村ニ同シ東西七丁南北三丁許東ハ大岡川ヲ限テ對岸ハ上大岡村西南ハ斜ニ松

本村ニシテ西ハ相模國鎌倉郡永谷上村北ハ郡中最戸村ニ接ス地形ハ西ノ方スヘテ

山ニシテ相武ノ國界ナリ其麓ニ多ク畑ヲ開キ水田ハ僅ニ東ノ方ニアリ土性ハ赤土

眞土黒土ナリ民戸二十四軒東北ノ方最戸村ヨリ入西ノ方松本村ニ達スル一條ノ往

還ハ前村ニイヘル金澤及鎌倉ヘノ道ナリ幅五六尺或ハ八九尺ニ至ル村内ヲ經ルコ

ト四丁許村ノ西北三十丁許ヲ隔テ別所村ノ内ニ飛地アリ小名ヲ大野ト呼フ秣場ナ

高札場 村ノ中程ヨリ少

小名 塚崎 方東北ノ

トウゼイ山 中程ヨリ少シク

官畑 同邊ナリ今ハ森ノミニテ社ハナシ

最戸 下方北ノ

北谷 同邊

田 是モ北 内堀子 邊ナリ

青木官 村ノ巽南木明神 今官 邊ナリ

日影山 地ノ方 高芝 方南ノ

七里堀 西ヨリ

盆堀窪 邊ナリ

尾枝窪 方西ノ

鳥居下 東ノ方

小名 根南ヨリ 北谷方ナリ 芝際中央ヨリ少 沼北ノ方 大山作同方

餅坂西北 大谷南ヨリ 二段畑西ノ端 二枚作北ノ方 大野西北 屋根戸谷

南ヨリ 藤木東北ニ 甘酒臺南ヨリ 象淵川ニ邊セリ 小最戸 龍前 高山 蔵

野 順札坂以上五ヶ所何レモ 大岡川村ニ邊ス境ヲ流ル橋八間許南ノ方久保村ヨリ入北ノ方別所

十二社權現社除地ニテ五歩小名最戸ノ上 稻荷社ニテ二小社上五尺四方

子神社除地ニテ二小社上五尺四方 千手院除地ニテ二小社上五尺四方

一尺八寸許銅像ナリ後背ニ阿彌陀佛アリ左ノ如シ奉鑄移善光寺本師一光三尊如來

像本願主勸進聖人西阿彌陀佛文永三年大歲丙寅九月十五日如來阿彌陀佛

生年卅五本安置出羽國最上郡庄外鑄石佛此本尊ヲ程見ノ如トモ稱ス

ル由其故ヲ尋スルニ信濃國善光寺如來鑄石佛先其ホトヲ程見ノ如トモ稱ス

ナレハカク爾ヲ論セズ開山詳ナラシメ境内ニ大阿闍梨尊繼不生ト刻セシ墓アリテモ

明カナレハカク爾ヲ論セズ開山詳ナラシメ境内ニ大阿闍梨尊繼不生ト刻セシ墓アリテモ

永十一年ニ寂セリ此僧若クハ中興ニテモアリシコトヤ

來迎寺除地ニテ九畝一步是モ最戸ノ上ニテ立像ニテ長八寸許開山關基詳ナラス

阿彌陀堂除地ニテ久保村ノ界ニテ西向ナリ來迎寺持

久保村ハ土地ノ方位郷庄ノ名領主ノ遷替檢地ノ年代江戸日本橋ヨリノ行程等スヘ

テ前村ニ同シ東西七丁南北三丁許東ハ大岡川ヲ限テ對岸ハ上大岡村西南ハ斜ニ松

本村ニシテ西ハ相模國鎌倉郡永谷上村北ハ郡中最戸村ニ接ス地形ハ西ノ方スヘテ

山ニシテ相武ノ國界ナリ其麓ニ多ク畑ヲ開キ水田ハ僅ニ東ノ方ニアリ土性ハ赤土

眞土黒土ナリ民戸二十四軒東北ノ方最戸村ヨリ入西ノ方松本村ニ達スル一條ノ往

還ハ前村ニイヘル金澤及鎌倉ヘノ道ナリ幅五六尺或ハ八九尺ニ至ル村内ヲ經ルコ

ト四丁許村ノ西北三十丁許ヲ隔テ別所村ノ内ニ飛地アリ小名ヲ大野ト呼フ秣場ナ

高札場村ノ中程ヨリ少

小名 塚崎方ナリ トウゼイ山 中程ヨリ少シク 官田東北ノ方 鳥居下大岡川

ノ邊 官畑同邊ナリ爰ニ第六天ノ除地二十五 最戸下方 北谷同邊 迎

田 是モ北 内堀子大岡川ノ 青木官ノ村ノ異青木明神 今官大岡川ノ 向臺

云 日影山 地ノ方 高芝西南ノ 七里堀ニアリ 盆堀窪邊ナリ 尾枝窪方ナ

新編武蔵風土記

西谷 是モ同 藏下 中程 清水山 中程 海道淵 西ノ方山ノ中程

南ノ方相州鎌倉郡永谷上村ニ邊ス幅一間許 權現堂 西ノ方山ノ中程

谷 坂口 乾云 峰下 是モ同 中丸 西ノ方 大丸 是モ同 穴畑 同邊 風

大岡川 村ノ東境ヲ流ル幅六七間村内ヲフル事十三丁程ヤ、モ

溜井 村ノ南ヨリ出ル清水ヲモ水田ニ沃ケリ

青木明神社 除地十八歩大岡川ノ對岸上大岡村ノ方コ向フ社前コ木宮居テ設ク社ハ

性院 持當村及ヒ最戸村ノ鎮守ナリ勤請ノ年代詳ナラセト古社コシテ古ハ多ク

久郷六ヶ村ノ惣鎮守ナリシト云其村々ハ當村及ヒ最戸別所中里弘明寺引越等ナ

大木ノ陰ニ身ヲ隠シケレハ道人遂ニ見失ヒタリソレヨリ此名アリト其盜入社邊ノ

七日鎌倉八幡宮ノ禰宜來 末社辨天社 本社コ向テ右ノ

神明社 除地四畝歩小名鳥居下ニモアリ社ハ三尺コ四尺上

十二所權現社 除地三畝ニ四五歩小名權現堂ニ一丈東向 ○稻荷社 除地十五歩小名根

自性院 除地二畝六畝十五歩小名北ノ谷ニテアリ古義眞首宗石川寶生寺ノ末久保山

別所村

別所村ハ土地ノ方位郷庄ノトナヘ江戸ヨリノ里程等ハ前村ニ同シ東ハ大岡川ヲカ

キリ對岸ハ最戸村ニシテ下大岡村モ少シクカ、レ、西ハ相模國鎌倉郡永谷中村ニ

隣リ南ハ當郡久保村北ハ引越村民ノ方ハ中里村ナリ東西十四丁許南北ハ七八丁ニ

スキス土症ハ眞土ニテ山ニ傍シトコロハ黒土ナリ水田多ク陸田少シ用水ハ所々ノ

清水ヲ引沃ケリ民戸二十八軒農隙ニハ相州箱根ヨリ出ル竹ヲ以テ羅宇ヲ製シ生産

ノ資トナセリ村内ニ往還アリ最戸村ヨリ入テ中里村ニ達ス幅一間許ユノ道ノ中程

ヨリワカレ六丁許ヲ行テ東海道ニ出ル道アリマタ最戸村ト當村トノ堺ニ古ノ鎌倉

街道トイフアリ其頃一里塚ニ植シ松一株今ニ殘レリ御入國後御料所ナリ元祿十二

年安藤平七郎加藤彌次郎ノ二人ニ賜ヒシヨリ今子孫加藤彌次郎安藤一學ノ知ル所

ナリ檢地ハ天正十九年ニシテ其時ノ水帳モ今ニ存セリサレト糺セシ人ノ姓名ヲ傳

ヘス

高札場 村ノ中央

小名 砂押 藤木 瀧前 和田 二段田 堂前 内手 餅井坂 小最戸 蝦

谷 根畠 佐渡山 以上東 大谷 桑原 矢際 善光屋敷 谷臺 ケ谷 深田

ヒヤ田 以上西 水口 峰下 柚木谷 以上南 鳴戸谷 東北ニ 見通 寺谷 大

新編武蔵風土記 卷八

久保 池尻 堂面 池縁 ソツタド 貝塚 山神 愛ニ一段四畝二十歩山神社
テ置リ又愛ヨリ一丁程西ニ山神社ノ除地トテ一畝二十歩
アリコレモ社ハナク石ヲ建リ普門院ノ持以上北ニアリ 中町 小西久保上
中程ニ 二牧畠 大丸 富士塚 愛ニ高サ六七間ノ塚アリ社ハナク淺間
アリ

下山 矢畑 鴻巣 内場畠 水喰戸 打木堀 蕨野 大アツク 高山 木根
坂ニ上西北 鼠谷 谷ニ上西南

大岡川 村ノ東海ヲ流ル幅七八間許
最下村ヨリ入中里村ニ達ス

白山社 除地ニ古木繁茂セル山上ニアリ 本地十一面観音ヲ安ス坐像長五寸許普門院ノ
持 末社稻荷社 小社ナリ向 阿彌陀堂 二間ニ三間東向阿彌陀ハ

八幡社 除地ニ古木繁茂セル山上ニアリ 本地十一面観音ヲ安ス坐像長五寸許普門院ノ
持 普門院 除地ニ古木繁茂セル山上ニアリ 本地十一面観音ヲ安ス坐像長五寸許普門院ノ

普門院 除地ニ古木繁茂セル山上ニアリ 本地十一面観音ヲ安ス坐像長五寸許普門院ノ
持 正月二日寂ス中興慈海寶曆七年寂ス

中里村 中里村ハ郷庄ノ唱及土地ノ方位檢地等前村ニ同シ當村モト井戸谷村ニ隸シ多々久
六ヶ村ノ内中程ノ村ナル故ニコノ唱へ起ルトイヘリ民戸十八軒江戸日本橋ヨリ九
里餘ノ行程ナリ東ハ大岡川ニ限リテ對岸ハ下大岡村西南ハ別所村ニ接シ北ハ引越

弘明寺ノ二村ニ隣レリ東西三十二丁程南北十丁餘モアルヘケント引越弘明寺ノ村
々入會タレハ丁數ハ詳ニ云難シ土地高低アリ土症ハ赤土黒土砂眞土等ナリ畑多ク
田少シ水利不便ニシテ旱損アリサント久霖暴雨ノ時ハ大岡川溢テ水損モアリ農間
ニハ薪藁采ヲ伐出シテ生産ヲ資ク御打入ノ後御料所ニシテ元祿四年其内ヲ裂テ聖
堂領ニ附ラレ其餘ハ同キ十年荒川新右衛門ニ賜ハリ子孫世々知行ス聖堂領ハ寛政
九年ヨリ御代官ノ司ルコト、ナレリ村内一條ノ往還アリ別所村ヨリ入斜ニ弘明寺
河ニ達ス村ニ係ルコト三四丁ナリ別所村ノ内ニ當村ノ飛地三ヶ所アリ
高札場 村ノ中程

小名 田代谷 方 瀧前 前ノ方 町屋川 南ノ方 下三 根畑 沼 佃 大町 東
ノ方ナ 七段目 向田 東ノ方 大岡 内田 中程ナリ 清水 弘僧 南ヨリナ 外
記谷 龜甲 西ノ方ナリ 龜ノ形ニ似タ 溝越 西北 中尾 西ノ方 藤木 東ナ 善佛
谷 東北ノ方 五案畑 西南 堂面 口 西ノ方 大久保 タリガ久保 西北 念佛塚
同邊ニアリ 小キ塚アリ 夕フカ谷 邊ナリ 溜尻 東ノ方 金子屋敷 木根坂 西ヨリナリ少
大岡川 別所村ヨリ入村ノ東堺ヲ流レ下大岡村ニ達ス長サ二百間許幅七八
溜井 村ノ外一ノ小田代谷ニアリ 廣サ一段六畝六歩此水及別所

堤 大岡川ニ傍テアリ川水溢ノ
備トス長サ一丁許高サ三尺程

熊野社 除地一段小名灘前ニテ相州ニヨリ方ノ山頂ニアリ村ノ鎮守ナリ社ハ
三尺五寸ニ七尺上屋二間半ニ三間ナリ例祭ハ九月十六日酉光寺ノ持

道祖神社 此邊ヨリ堀出セシ由五輪ノ石塔アリ八幡ニ崇メ置リ

西光寺 境内年貢地除地三段六畝十五歩村ノ東ニアリ古義具言宗石川實生寺末瑞
日光月光十二神及不動弘法大師等ノ像ヲ變ス中興開山鎮座法印長亨三年八月十
一日示寂ス當寺モトハ村ノ乾ノ方ニアリタ安永ノ頃此所ニ引移シ其舊地ハ元
屋舖ト稱シスヘテ畑ト

弘明寺村 弘明寺村ハ郷庄名前ニ同シ江戸ヨリ九里ノ行程ナリ此邊古ハ井戸谷村ノ内ニ隸セ
シカ中古井戸谷ノ地ヲ分テ數村トセシトキヨノ村弘明寺觀音ノ梵刹アリシニヨリ
カク名ツケリ村ノ四至東ハ大岡川ヲ隔テ下大岡村ニ接シ西ハ引越村南ハ中里村北
ハ井戸谷村ナリ東西二丁南北四丁許村中往來二道アリ一ハ井戸谷村ヨリ中里村ノ
方ニ達ス村ニ係ルコト凡六丁コレヲ弘明寺村通リ金澤道ト云又一ハ東ノ方戸部村
ヨリ井戸谷村ノ堺ニテ前ノ道ニ合ス往還ヨリ東ハ水田ニテ西ハ村内大塚山天神山
ハラ山大丸山ナト云山々相連レリ山下ニ民家十八軒アリ用水ハ引越村ノ内四村組
合ノ溜井ヲ引用ユモトヨリ水利ノ便宜アラサレハ旱損アリサレト久霖暴雨等ノ時

弘明寺村

大岡川溢レ動モスレハ水損モアリ田畑相半ハシ眞土砂交リナリコノ村北條氏ノ
領セシ頃ハ森新三郎カ知行ナル由役帳ニ見エタリ御入國ノ後御代官所トナリテ間
官權三郎等支配セシカ元祿四年聖堂ニ寄附セラレ林大學頭カ家ニテ進退シ後彼領
ハ御代官ノ支配スルコトナリテ今ハ御代官大貫治右衛門進退セリ春秋釋奠ノ時
村民相集リ春ハ祭日ヲ知ラサレハ常憲院殿御代ヨリ今ノ領トナリタレハ其御忌日
ニ神酒ヲ備ヘテ遙拜シ秋ハ新穀ヲ貢キ祭日ヲ知ルカ故ニ其前夜ヲモテ神酒ヲ捧ケ
リ村内ニ米穀ヲ貯ル庫一ツアリコレハ聖堂領六ヶ村ニテ穀ヲ出シ凶年ノ備トナセ
リ檢地ハ天正十九年及ヒ延寶六年寶永四年ニ糺セリト云

高札場

村ノ中程

小名 三段田 南方 下町屋 前ノ續 シツテノ崎 北ノ方チ 八段虫 地藏前 中

北前 北中程ヨリ少シ 沖海道 前ノ續 ウヘノ山 中程ヨリ西北 ホヤ松 西北

山 同ノ邊 下町屋 西方ナリ ワラヒ山 大丸山 大塚 乾ノ方 笹山 前ノ續 ハツ

大岡川 村ノ東南ヲ流ル村ニ係ルコト六町幅ハ五六間ニテ北
ノ方井戸谷村ニ達ス此川ニ橋一ツ架ス弘明寺橋ト云

神明社 除地一畝十八歩小名灘集ノツシカ今ハ廢シテ四畝五歩ノ除地ノミ殘レリ



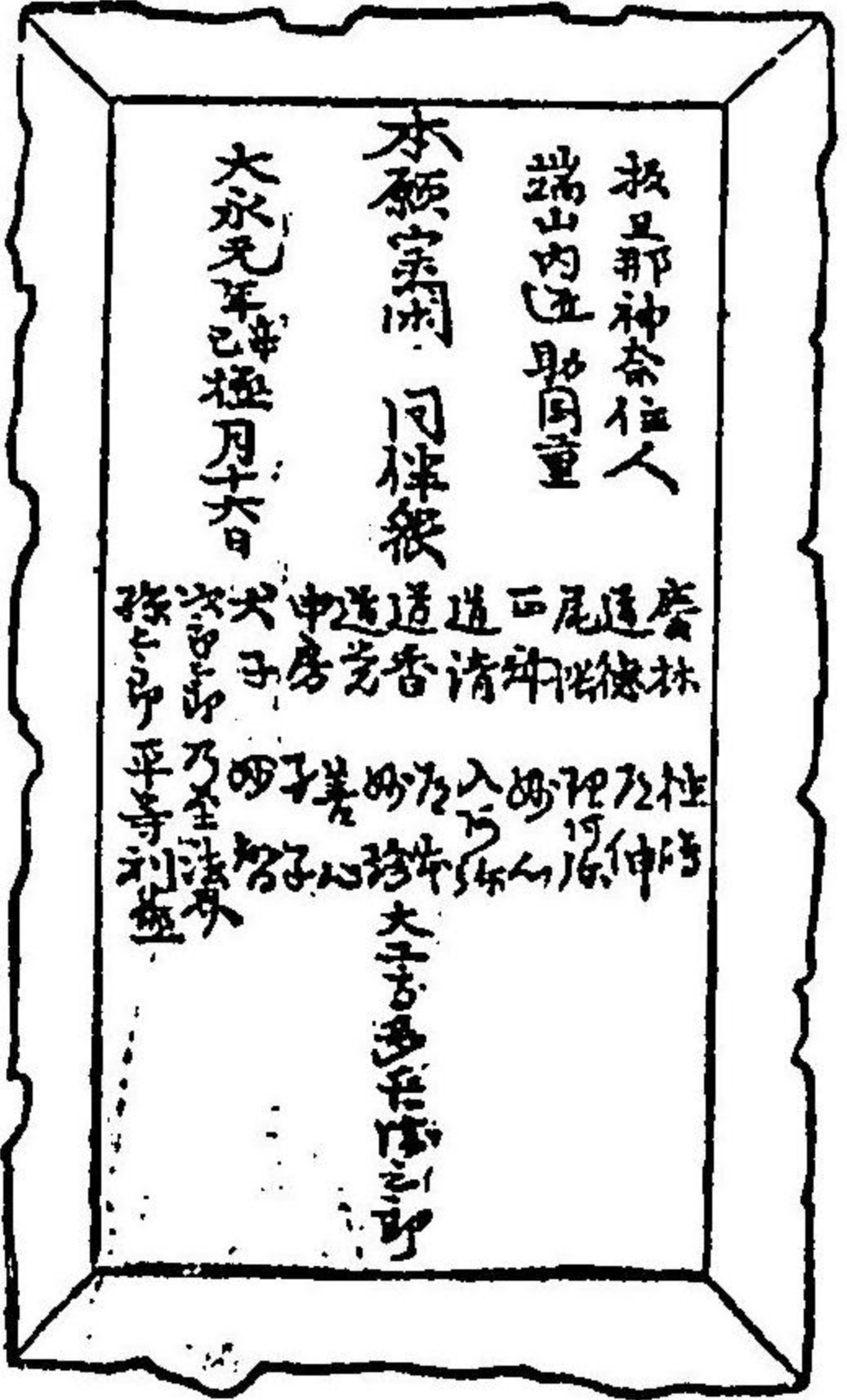
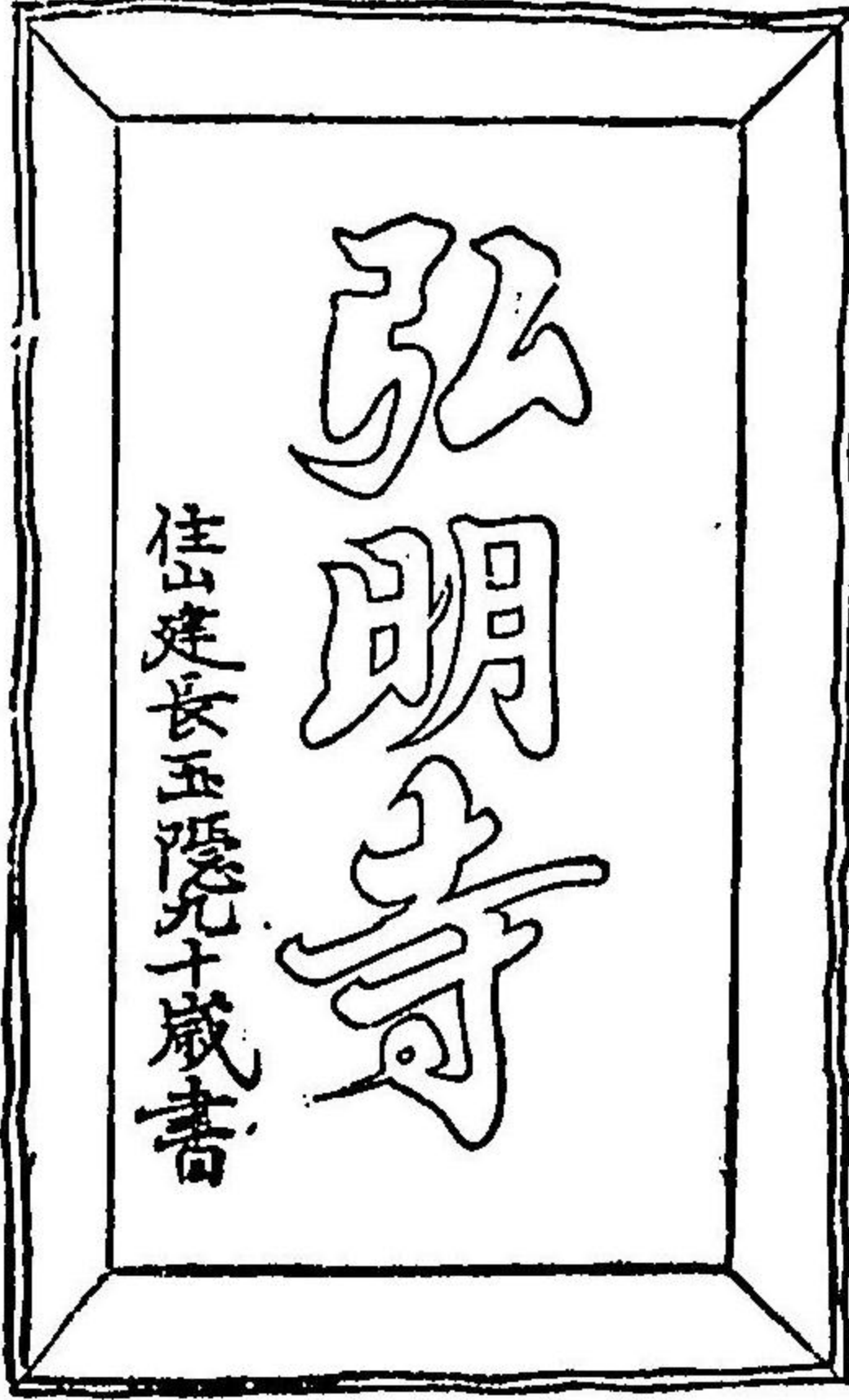
弘明寺
觀音堂圖



新編武州久良岐郡山邊郡郷普門寺住僧

共持
秋葉社 小名ツアノ崎ヨアリモト此所
後其趾ハモトノ神立スト云社邊ナリ
畝六歩ハモトノ神立スト云社邊ナリ
蓮華院 除地三百六坪村ノ西方コアリ
元ハ無本寺ナリ如ク郡内石川實生寺末アリ
ナリシナラシカレト年弘法大師ノ開キ
ト地ニシテ中興ノ其始ハ弘法大師ノ開キ
寺并求明寺等者長榮可沙汰之旨被定下
是源家累代所願也云々長榮ハ威先寺
主ナリシコト同書ニ見ユサレハ録倉代
々ノ武將所願トシテ尊敬アリシコト
知ヘ寄附アリシコト至リテモ寺領等
若千見エタリ御當代ニ至リテ慶安二年寺領
五石ノ御朱印ヲ賜ヘリ緣起ス 寺寶
天神名號 一幅 後陽成 觀音三十三身像
三十三軀ノ大作 藥師像一軀ノ惠心 阿彌
陀像一軀ノ安阿彌 千手觀音像一軀ノ定朝

以上三軀ハ境内熊野社ノ本地佛ナリ 十一面觀音像一軀
作前ニ 誕生釋迦像一軀弘法大師 不
動像一軀 愛染像一軀 虚空藏像一軀
辨財天像一軀 紇里字塔一基 五色佛
舍利一位 光明皇后行基菩薩多田滿仲
聖天像一軀ノ行基 兩部大日像二軀ノ伽羅
作ノ 毘沙門天像一軀運慶ノ作 渡唐
天神像一軀 寶頭盧尊者一軀 葬頭河
奪衣婆像一軀 仁王像二軀 四臂不動
畫像一幅弘法大師 般若心經一卷同地
藏畫像一幅啓書 渡唐天神畫像一幅兆
司 罇口一口 明應九年ノモノニテ殊ニ
二百目徑リ一尺九寸左ノ銘文アリ
奉射武州久良岐郡多多久郷弘明寺
口願主上總州山邊郡郷普門寺住僧



權律師長榮辨祐

爲三界萬靈七世父母六親眷屬菩提也

并道玉淨源

于時明應九年庚申十月一日筆者有辨

上總國一宮庄内金屋大工平賀道鑒同

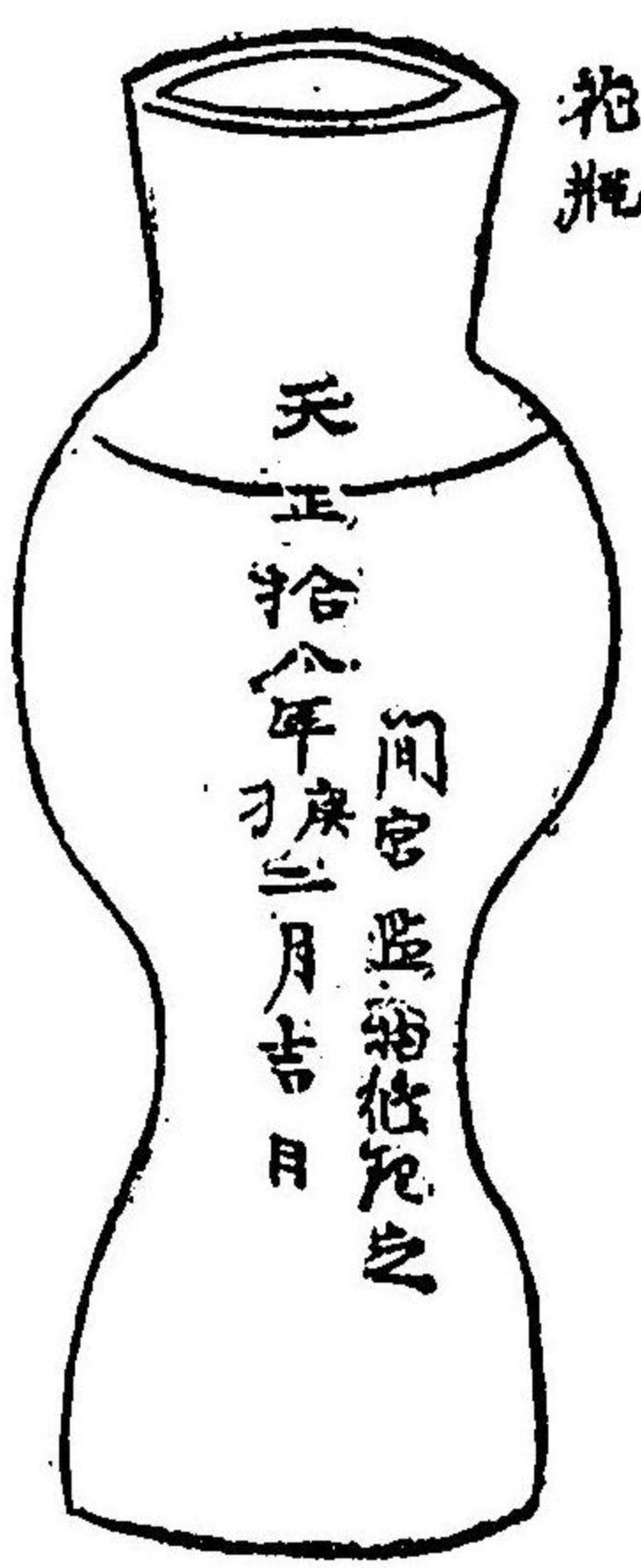
吉久

額一枚 大永中ノモノナ

花瓶一个 行基ノ作ト云天正十八年修理

知ハシ木ニテ作リタルモノノコト

花瓶



駒玉一顆 古文書一通

寺領之事

一 壹貫參百文佛供錢

一 壹貫貳百文定番錢

一 壹貫二百文燼明錢

一 拾貫文修造錢年々造榮可致之者也仍如件

天文二年癸巳三月十八日

弘明寺

石卷勘解由左衛門 奉

本堂 四方六間餘東向本尊十一面觀音ハ行基一ノ刀三禮ノ作ナリ坂東三十三所ノ内
元年 淨泉トイヘルモノ願主ニテ施主禪海修理ヲ加ヘ明應五年沙門源覺又修造セ
リト云今ノ堂ハ明和二年改メ造リシ所ナリ其時古キ堂ノ柱ヲ除キ去リシコトホ
ノ内ニ寛徳元年甲申ト記シアリシテ 客殿 八間餘ニ六間北向本尊十一面觀
村民庄左衛門マサシ見タリト云 客殿 八間餘ニ六間北向本尊十一面觀
王門 二間餘仁王ノ像ハ長九尺許ニテ石階ノ前ニ立リ本堂ト云同シク東向ナリ三間餘
路ニテ毎年七月十日十二月十八日同二月十四日市チ立ツ門ノ入口ニ制札アリ其弘
明寺ト彫リタル石標ヲ建ツ寶曆十四年二月ノ物ナリ立ツ門ノ入口ニ制札アリ其弘
左ニ載ス

制札

山王 眺望図



海上行船ノ目當ト云此邊ノ山ニ穴
 溜井六ヶ所ハ村ノ西ノ段ノ中ノ
 八ヶ所ハ西ノ方ニテ山ノ谷ニテ
 方々ニテ西ノ方ニテ山ノ谷ニテ
 又三ヶ所ハ一ヶ所ハ長クハ八ヶ
 間ニテ一ヶ所ハ長クハ八ヶ
 天ニテ一ヶ所ハ長クハ八ヶ
 春日社ニテ一ヶ所ハ長クハ八ヶ
 腹ニテ一ヶ所ハ長クハ八ヶ
 守ニテ一ヶ所ハ長クハ八ヶ
 竹又ハ牛用ユト云呼 末社太神宮 稻
 荷 辨財天 天神合殿 小社ナリ本社
 山王社 除地ニテ二十歩ノ山王ニテ
 阿彌陀ノ姿ヲ彫ルニ似 ○白幡明神社 除地

六畝字坊入ニテ ○白幡明神社 除地三畝十歩小宮ケ谷ニ
 愛モ小高キ山ナリ ○熊野社 字子ケ谷ノ祠
 リナ ○御嶽 除地二畝七歩小長者ケ谷ニ
 棟建リ木敷 ○白山 除地一畝八歩小
 天是モ同ノ邊ナリ ○山王 除地十歩小宮ケ谷ニ
 寶林寺 除地境内ニテ四畝十七歩外ニ一町六段九畝十四歩小名堂ケ谷ト殿谷ノ境
 六年六月八日示寂開基ハ日營村ノ名主彦六カ先祖服部玄庵ナリ其位牌ニ玄庵道大
 居カ開山セシト云ハ後ニ七間ニテ五間東向本尊釋迦ヲ安ス長二尺程 坐禪堂 本
 開基ト唱ヘシト云ハ後ニ七間ニテ五間東向本尊釋迦ヲ安ス長二尺程 坐禪堂 本
 文殊辨天ノ二像ヲ安ス 西光院 除地境内ニテ一畝二畝外ニ四段六畝一歩小名九文字ニテ保二年ニ古義具官宗郡内石
 治二年六月九日寂スト傳ヘリ寺ヲ建テ保下ルコト六十年ニ開山覺眞ハ建
 隔ナタルニ似タリト云フカシキ寺ナルヘケレト詳ナルコト六十年ニ開山覺眞ハ建
 六間異向本尊地藏ハ立像ニ 御嶽社 山王社 神明社
 東輝庵 除地一段一畝十八歩小名神出ニテ向本尊釋迦立像ニテ長一尺餘開山月十
 寂年ヲ傳ヘス古ハ庵號ヲ稱シ則本山隱栖ノ地トナレリ 鐘樓 本堂ノ東南ノ間ニ
 前ノ頃ヨリ今ノ庵號ヲ稱シ則本山隱栖ノ地トナレリ 鐘樓 本堂ノ東南ノ間ニ
 彫レリ 墳墓高島墓 除地十二歩小名吉ケ谷ノ田間ニテ高嶋ノ墓ト持 ○長者墓 除地八歩

アリ西光院ノ持コレモ長者トノヨ傳
へ姓氏モ詳ナラヌ外ニ斷碑ニツアリ
舊跡義經雷吹松蹟今ニ名堂ケ谷ニアリ松ハ享保ノ頃枯レタリ其木ヲモテ曰テ製シ
ハ失ヘル由且且カノ老松ニハ義經カ馬跡
ノ痕見エシトナト里人ノ口碑ニ殘レリ
陣屋蹟保土ケ谷境ニアリ少許ノ塚アリ今ハ陣屋塚ト
舊家者百姓彦六代々里正ヲ務ム服部氏ナリ先祖ヲ玄庵道甫ト云剛村内實林寺ノ
ハハナシ後故有テ蹟ヲクマシ當所ニ來テ隱栖シ遂ニ農民トナレリサレト系圖
ハナシ先祖ヨリ持傳ヘシモノトテ甲冑二領及刀短刀五振文書四通テ藏セリ其文
左ニ

加敗

右西國衆出勢ニ付而其郷之者共可致治輪候間證文遣之候當城堅固之間者心安
存可相稼耕作者也仍如件

北條左衛門大夫氏嗣ナリ
卯月日

左衛門大夫花押

長田郷

五貫二百八十文永田口錢組本増一倍口當年可致進納辻

此外五貫二百八十文從乙卯歲每年御藏納致來

右先年無檢地郷村就御代替當年雖可被改候其以來被打置只今事六ヶ敷間以段
錢増分被仰付候米穀斗運送之苦勞可存者員數相當次第黃金永樂絹布之類麻漆
等有合之物々以可納之然者十月晦日必可致皆濟所可捧一札旨被仰出者也仍如
件

北條氏虎印アリ
辛巳八月十七日

永田 百姓中

代官

定

- 一 於當郷不撰侍以下自然御國用之砌可被召仕者撰出其名々可記事但三人
- 二 此道具弓鐵炮三樣之内何成共存次第但鎗ハ竹柄トても木柄にてモ二間ヨ
り短ハ無用ニ候然者雖權門被官不致口役者或商人細工人類十五七十ヲ限而
可記之事
- 一 脇さ一類々ひらく武者めくやうニ可致支度事
- 一 よき者之撰殘一夫同前之者申付候者當郷小代官何時モ聞出次第可切頭事
- 一 此走廻之心懸相嗜者ハ侍に而も以下にてモ隨望可有御恩賞事

糸繩明神社 除地一段一畝歩小名宮内コアリ村ノ鎮守ナリ本社三尺五寸ニ二尺五
 寸後長一尺五寸六寸ノ觀音ノ銅像アリシカ先年賊ノ爲ニ奪ハレ
 石像ヲ置リ例祭九月十三日
 山王權現 村ノ南コアリ如意輪觀音ノ像
 定光寺 除地五段六畝村ノ中程コリ少ク異ノ方コアリ古義具首宗石川實生寺末引
 開山覺法寂 年詳ナラヌ

新編武蔵風土記稿卷之八十終

明治十七年四月十六日出版版權屆 壹帙四册 定價金壹圓

內務省地理局出版

東京府平民

近藤圭造

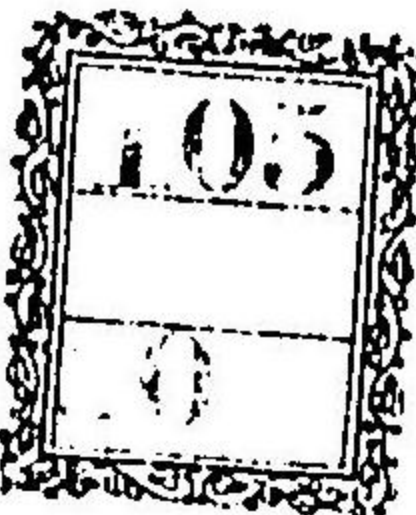
深川區富岡門前町
七十番地

埼玉縣平民

根岸武香

武漢國大里郡青山村
壹番地

發兌人



105

30

